OKAYAMA PREFECTURAL MUSEUM OF ART

ANNUAL REPORT

2021.4–2022.3

岡山県立美術館年報

令和3年度

岡山県立美術館
OKAYAMA PREFECTURAL MUSEUM OF ART

OKAYAMA PREFECTURAL MUSEUM OF ART

ANNUAL REPORT

2021.4–2022.3

岡山県立美術館年報

令和3年度

岡山県立美術館
OKAYAMA PREFECTURAL MUSEUM OF ART

目次

設置目的 ―― 4
設立経過 ―― 5

展覧会事業 ―― 7
1.岡山の美術 ―― 7
2.岡山の美術　特別展示等 ―― 11
3.特別展 ―― 21
4.館蔵品貸出状況 ―― 54
5.入館者数一覧 ―― 56

教育普及事業 ―― 58
1.こんにちは美術館事業 ―― 58
2.博学連携事業 ―― 65
3.交流事業 ―― 75
4.ボランティア活動 ―― 76
5.ホールイベント実施状況 ―― 77
6.刊行物 ―― 80

施設・設備の概要 ―― 82
組織及び職員構成 ―― 86

付録　新収蔵作品 ―― 88

設置目的

岡山県立美術館は、郷土ゆかりの芸術家の優れた作品を収集・展示するとともに、内外の芸術活動を紹介する展覧会等を開催し、県民の幅広い文化活動の発展に寄与することを目的として設置されました。

設立経過

昭和55年1月	天神山地域利用構想懇親会を開催
昭和55年3月	岡山県天神山文化施設整備基金を設置
昭和57年1月	天神山文化施設整備のための基礎調査を委託発注
昭和57年5月－昭和58年8月	天神山地区利用構想懇談会を開催し、整備の基本方針を打ち出す（全体会議3回、小委員会2回）
昭和57年12月－昭和58年8月	「天神山地区利用構想懇談会」の意見を踏まえ、また、中央、地元の学識経験者等の意見を聴きながら「天神山地区文化施設整備基本構想」を策定
昭和58年9月－昭和59年4月	基本設計委託および策定（委託先：(株）岡田新一設計事務所）
昭和59年5月－11月	基本設計に対する意見聴取および修正作業を実施（意見聴取者：学識経験者、各種団体、個人等）
昭和59年12月6日	実施設計委託（委託先：(株）岡田新一設計事務所）
昭和60年3月－昭和61年6月	敷地内既存建物解体撤去工事（岡山東警察署、岡山公共職業安定所、広島高裁岡山支部）
昭和60年4月1日	県企画部に県立美術館開設準備事務局設置
昭和60年8月	岡山県立美術館（仮称）新築工事契約締結
昭和60年10月28日	岡山県立美術館（仮称）起工式
昭和60年10月－昭和62年7月	建設期間
昭和61年4月1日	県企画部県立美術館開設準備事務局組織の変更
昭和62年4月1日	岡山県立美術館開設準備事務局設置（企画部出先機関）
昭和62年7月1日	岡山県立美術館竣工
昭和63年3月11日	岡山県立美術館条例制定
昭和63年3月18日	岡山県立美術館開館
昭和63年5月1日	岡山県企画部から総務部へ移管
平成10年4月1日	岡山県総務部から生活環境部へ移管
平成19年4月1日	指定管理者制度の導入（施設及び設備の維持管理に関するものの一部） 指定管理者：アトラクティブ大永(株)[H19.4.1－H22.3.31, H22.4.1－H25.3.31]
平成22年4月1日	岡山県環境文化部へ移管
平成25年4月1日	指定管理業務の拡大（展示室監視業務、ホームページ管理業務等） 指定管理者：鹿島建物総合管理(株)[H25.4.1－H30.3.31]
平成25年5月23日	第13回日本建築家協会（JIA）25年賞を受賞
平成29年12月－平成30年4月	施設設備メンテナンス修繕による休館（外壁補修）
平成30年4月1日	指定管理業務の拡大（電話交換機保守業務、県外向け広報業務等） 指定管理者：鹿島建物総合管理(株)[H30.4.1－R5.3.31]
令和3年12月－令和4年2月	施設設備メンテナンス修繕による休館（空調工事）

展覧会事業

1. 岡山の美術

岡山県は、室町時代の雪舟以降、浦上玉堂・松岡壽・鹿子木孟郎・原田直次郎・平櫛田中・坂田一男・国吉康雄・小野竹喬・池田遙邨・金重陶陽ら優れた芸術家を現代に至るまで輩出してきた。当館では彼らの卓越した業績を紹介するため「岡山の美術」をメインテーマとして運営している。

令和3年度　岡山の美術一覧

展　覧　会　名	会　期	会期日数
第1期	2021年4月1日（木）－5月9日（日）	29

岡山の美術第1期　会場風景

★印の作品には音声ガイドを付した

第1期(令和3年度)作品目録　4月1日(木)－5月9日(日)

NO	作者名	作品名	制作年	材質・技法	員数	所蔵
洋画						
第1章　国吉康雄、犬飼恭平、野木定次郎　―米国に渡った画家―						
1	国吉康雄	自画像	大正7（1918）年	油彩・カンヴァス	1点	福武コレクション
2	国吉康雄	カーテンを引く子供　★	大正12（1923）年頃	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
3	国吉康雄	二人の赤ん坊	大正12（1923）年	油彩・カンヴァス	1点	福武コレクション
4	国吉康雄	水難救助員	大正13（1924）年	油彩・カンヴァス	1点	福武コレクション
5	国吉康雄	ロバのいる風景	昭和3（1928）年	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
6	国吉康雄	化粧	昭和3（1928）年	油彩・カンヴァス	1点	福武コレクション
7	国吉康雄	日本の張子の虎とがらくた	昭和7（1932）年	油彩・カンヴァス	1点	福武コレクション
8	国吉康雄	もの思う女　★	昭和10（1935）年	油彩・カンヴァス	1点	福武コレクション
9	国吉康雄	逆さのテーブルとマスク	昭和15（1940）年	油彩・カンヴァス	1点	福武コレクション
10	国吉康雄	夜明けが来る　★	昭和19（1944）年	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
11	国吉康雄	今日はマスクをつけよう	昭和21－22（1946－47）年	ワックス・カンヴァス	1点	福武コレクション
12	国吉康雄	ここは私の遊び場	昭和22（1947）年	油彩・カンヴァス	1点	福武コレクション
13	国吉康雄	祭りは終わった　★	昭和22（1947）年	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
14	国吉康雄	鯉のぼり	昭和25（1950）年	油彩・カンヴァス	1点	福武コレクション
15	国吉康雄	ミスターエース	昭和27（1952）年	油彩・カンヴァス	1点	福武コレクション
16	野木定次郎	婦人像	制作年不詳（20世紀）	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
17	野木定次郎	静物	制作年不詳（20世紀）	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
18	犬飼恭平	静物	昭和6（1931）年	油彩・ボード	1点	本館蔵
19	犬飼恭平	習作（酔った男）	大正10（1921）年	油彩・カンヴァス	1点	個人蔵
第2章　松岡壽、原田直次郎、原撫松　―明治時代の渡欧画家―						
20	松岡壽	ピエトロ・ミカの服装の男　★	明治14（1881）年	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
21	松岡壽	凱旋門	明治15（1882）年頃	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
22	松岡壽	父の像（松岡隣）	明治22（1889）年	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
23	原田直次郎	男性像	明治19（1886）年	油彩・カンヴァス	1点	個人蔵
24	原田直次郎	裸体習作	明治17－19（1884－86）年頃	油彩・カンヴァス	1点	個人蔵
25	原田直次郎	上野東照宮　★	明治22（1889）年	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
26	原撫松	西井多吉翁肖像	明治36（1903）年	油彩・カンヴァス	1点	野﨑家塩業歴史館蔵
27	原撫松	老人像　★	明治39（1906）年	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
28	原撫松	横向きの裸婦	明治40（1907）年	油彩・カンヴァス	1点	個人蔵
第3章　外の光と風景						
29	吉富朝次郎	風景	明治44（1911）年	油彩・カンヴァス	1点	個人蔵
30	赤松麟作	橋のある風景	大正7（1918）年	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
31	児島虎次郎	風景	大正2－6（1913－17）年頃	油彩・カンヴァス	1点	個人蔵

NO	作者名	作品名	制作年	材質・技法	員数	所蔵
第4章　松原三五郎に学んだ満谷国四郎と鹿子木孟郎						
32	松原三五郎	桃	明治時代（19－20世紀）	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
33	満谷国四郎	臨江甘露寺（鎮江）	大正13（1924）年	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
34	鹿子木孟郎	婦人像	昭和13（1938）年	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
第5章　坂田一男と中山巍　―フランスからの帰国後―						
35	坂田一男	裸婦	昭和29（1954）年	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
36	坂田一男	コンポジション（メカニック・エレメント）	昭和30（1955）年	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
37	中山巍	緑の窓辺　★	昭和36（1961）年	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
第6章　旅の風景						
38	佐竹徳	清津峡谷　★	昭和28（1953）年	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
39	水野恭子	桜	平成19（2007）年	油彩・画布	1点	本館蔵
40	岡崎信吾	青い麦	昭和62（1987）年	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
第7章　国吉康雄の版画						
41	国吉康雄	乳しぼり	大正11（1922）年	亜鉛版ﾘﾄｸﾞﾗﾌ・紙	1点	両備文化振興財団蔵
42	国吉康雄	籐椅子の女	昭和2（1927）年	亜鉛版ﾘﾄｸﾞﾗﾌ・紙	1点	本館蔵
43	国吉康雄	カフェ　NO.2	昭和10（1935）年	石版リトグラフ・紙	1点	福武コレクション
44	国吉康雄	綱渡りの女	昭和11（1936）年	石版リトグラフ・紙	1点	福武コレクション
45	国吉康雄	彫刻の流し型の上にある葡萄	昭和8（1933）年	石版リトグラフ・紙	1点	福武コレクション
46	国吉康雄	ニューイングランド風景	昭和16（1941）年	石版リトグラフ・紙	1点	本館蔵
47	国吉康雄	仮面	昭和23（1948）年	石版リトグラフ・紙	1点	福武コレクション
48	国吉康雄	カーニバル	昭和24（1949）年	石版リトグラフ・紙	1点	福武コレクション
第8章　宮忠子　墨で描く						
49	宮忠子	風景はただよう雲のようになった	平成元（1989）年	和紙・墨	1点	本館蔵
50	宮忠子	杜鵑啼く	平成2（1990）年	麻紙・墨	1点	本館蔵
51	宮忠子	ここは美しい夏の草原	昭和60（1985）年	和紙・墨	1点	本館蔵
52	宮忠子	レクイエム	昭和51（1976）年	佐治和紙・墨	1点	本館蔵
53	宮忠子	吉備津彦の杜	平成3（1991）年	麻紙・青墨	1点	本館蔵

古書画　雪舟画風の継承と広がり

特別展「雪舟と玉堂－ふたりの里帰り」に繋げ、室町時代の画僧・雪舟等楊（1420－1506？）から影響を受けた作品を中心に取り上げることで、受け継がれた雪舟画風とその広がりを紹介した。

54	惟馨周徳	達磨図	室町時代（16世紀）	紙本墨画	1幅	本館蔵
55	雲渓永怡	雪景山水図	室町時代（16世紀）	紙本墨画	1幅	本館蔵
56	雲渓永怡	文殊羅漢図	室町時代（16世紀）	紙本墨画淡彩	1幅	個人蔵
57	秋月等観	芦雁図	室町時代（15－16世紀）	紙本墨画	1幅	本館蔵
58	承虎	山水図	室町時代（15－16世紀）	紙本墨画淡彩	1幅	本館蔵
59	（伝）拙宗等揚	羅漢図	室町時代（15世紀）	紙本墨画淡彩	1幅	本館蔵
60	（伝）雪舟等楊	神農図　★	室町時代（16世紀）	紙本墨画	1幅	本館蔵

NO	作者名	作品名	制作年	材質・技法	員数	所蔵
61	不詳	花鳥図屏風	室町時代（16世紀）	紙本着色	6曲1隻	本館蔵
62	不詳	千畝周竹像	室町時代（15世紀）	絹本着色	1幅	重玄寺蔵
63	楊富	山水図	室町時代（16世紀）	紙本墨画	1幅	本館蔵
64	雲谷等益	群馬図屏風	江戸時代（17世紀）	紙本墨画淡彩	6曲1双	本館蔵
65	雲谷等益	楼閣山水図屏風	江戸時代（17世紀）	紙本墨画淡彩	6曲1双	本館蔵
66	雲谷等璠	山水図巻	江戸時代（17－18世紀）	絹本墨画淡彩	1巻	本館蔵
67	狩野董川	雪舟筆山水長巻模本	安政3（1856）年	紙本墨画淡彩	1巻	本館蔵
工芸　春のよそおい						
68	小野竹喬	田家之春	明治時代（20世紀）	紙本淡彩	1幅	本館蔵
69	小野竹喬	山邨春日	大正3（1914）年	絹本着色	1幅	個人蔵
70	太田儔	籃胎蒟醤小箱　涼風	平成時代（21世紀）	籃胎蒟醤	1点	本館蔵
71	大林千萬樹	胡笳の声　★	大正2－3（1913－14）年頃	絹本着色	1幅	本館蔵
72	岸田劉生	春日遊戯図　★	大正6（1917）年	紙本水彩	2曲1隻	本館蔵
73	大林蘇乃	べに	昭和時代（20世紀）	木芯陶塑紙貼	1点	本館蔵
74	河井寛次郎	碧釉貼文扁壺	昭和時代（20世紀）	陶器	1点	個人蔵
75	河井寛次郎	鐵釉花絵蓋物	昭和25（1950）年頃	陶器	1点	個人蔵
76	河井寛次郎	呉洲丸紋四方壺	昭和時代（20世紀）	陶器	1点	個人蔵
77	河井寛次郎	辰砂筒描長角陶筺	昭和時代（20世紀）	陶器	1点	個人蔵
78	河井寛次郎	辰砂筒描文扁壺	昭和25（1950）年頃	陶器	1点	個人蔵
79	河井寛次郎	筒描花紋鉢	昭和28（1953）年頃	陶器	1点	個人蔵
80	河井寛次郎	辰砂菱花筥	昭和時代（20世紀）	陶器	1点	個人蔵
81	河井寛次郎	花扁壺	昭和時代（20世紀）	陶器	1点	個人蔵
82	河井寛次郎	三色手壺	昭和時代（20世紀）	陶器	1点	個人蔵
83	久保田厚子	青白磁桜陶匣　★	昭和62（1987）年	磁器	1点	本館蔵
84	太田儔	籃胎蒟醤箱　さくら	令和元（2019）年	籃胎蒟醤	1点	本館蔵
85	小松原賢次	平文蒔絵箱「流るゝ」	平成19（2007）年	平文、螺鈿	1点	本館蔵
（重森三玲書院）						
86	金谷朱尾子	春という名の神話　★	平成6（1994）年	紙本着色	1点	本館蔵
87	岡本欣三	桃壽光香炉	昭和時代（20世紀）	陶器	1点	本館蔵

特集　イラストレーター森本美由紀

同時期開催の特別展で取り上げたせなけいこ（1931－）はデビュー前、勤めながらカットや挿絵を描いては出版社をめぐり、やがて武井武雄と出会い弟子入りした。その後、フリーランスとしてコマーシャルフィルムのコンテを描いたり、幻燈制作に携わる傍ら、長沢節のセツ・モード・セミナーでスタイル画やスケッチを学んだ。

世代こそ違え、森本美由紀（1959－2013）も高校を卒業後、自らカットや挿絵を出版社に売り込み、またセツ・モード・セミナーに学び、イラストレーターとしての造形力を磨いた。絵本作家とイラストレーター、その後の人生は異なるが、絵を志し、行動する姿勢や歩みが共通する。ここでは当館に寄託される森本作品から初期のカラーペン画、カットやイラストを紹介した。

88 森本美由紀	イラストレーション（計30点）	昭和－平成時代（20－21世紀）	紙・着色、ペン、墨	30点	個人蔵

2. 岡山の美術　特別展示等

「岡山の美術」に関して、特別展示等としてテーマを絞った企画をおこない、内容を充実させている。

令和3年度　特別展示等一覧

展　覧　会　名	会　期	会期日数
柚木玉邨・久太・祥吉郎－柚木家三代の絵画と精神	2021年6月22日（火）－8月26日（木）	57
草間喆雄　美しき色彩のコンポジション	10月1日（金）－11月3日（水・祝）	29

岡山の美術展
柚木玉邨・久太・祥吉郎
―柚木家三代の絵画と精神

会　　期　2021年6月22日(火)－8月26日(木)
前期:6月22日(火)－7月25日(日)
後期:7月27日(火)－8月26日(木)
＊但し:コロナウイルス感染拡大のため会期変更

会　　場　岡山県立美術館　2階展示室
主　　催　岡山県立美術館
助　　成　（公財）花王芸術科学財団
後　　援　岡山県教育委員会、倉敷市教育委員会、（公財）岡山県郷土文化財団、（公社）岡山県文化連盟、（一財）岡山県国際交流協会、山陽新聞社、NHK岡山放送局、RSK山陽放送、OHK岡山放送、TSCテレビせとうち、RNC西日本放送、KSB瀬戸内海放送

チラシ（A4表）

チラシ（A4裏）

【趣旨】

穏やかな瀬戸内海に注ぐ高梁川の河口に江戸時代より干拓され、高瀬舟や北前船が数多く出入りするなど備中の玄関口として栄えた港町・玉島。この地で、江戸中期頃より備中松山藩主に代々諸役として仕え、奉行格にまで任じられた柚木家からは諸芸に秀でた人物が多く出た。

実業面で活躍するかたわら水墨画を描いて詩書に通じた南画家・柚木玉邨（1865－1943）、その息子で、フランスに渡って研鑽を積み、帰国後官展系の美術展に出品し続けて清涼な風景画を遺した洋画家・柚木久太（1885－1970）、そして久太の長男で、色彩豊かに幻想的な風景画を描いた洋画家・柚木祥吉郎（1919－2005）。本展では、父子孫三代の絵画を一堂に展示することによって、それぞれの画業を明らかにしつつ、時代を超えた柚木家三代に通底する精神を、玉島の文化的背景を踏まえながら紐解いた。

【関連事業】

●鼎談「玉島と柚木家三代の絵画」
日　時：6月26日（土）14:00－15:30
講　師：鍵岡正謹（顧問）、橋村直樹（学芸員）、八田真理子（学芸員）
会　場：2階ホール

B3ポスター

【出品目録】

★印の作品には音声ガイドを付した　※前後期欄が無記載のものは通期展示

番号	作品名	制作年代	材質技法	員数	寸法	所蔵	前後期
柚木玉邨							
G-01	倣石濤山水図	1908（明治41）年	紙本墨画	1幅	94.2×37.1	個人蔵	前期
G-02	芭蕉美人図　★	1914（大正3）年	絹本着色	1幅	99.2×31.5	個人蔵	前期
G-03	倣董其昌山水図	1916（大正5）年	絹本墨画	1幅	113.1×42.4	個人蔵	後期
G-04	山水図屏風	1921（大正10）年	紙本金地墨画	6曲1隻	154.0×359.7	岡山県立美術館	右：後期 左：前期
G-05	青山白雲図	1923（大正12）年	絹本金地墨画	1幅	144.5×43.3	個人蔵	前期
G-06	太湖石図	1927（昭和2）年	紙本墨画	1幅	144.9×39.8	個人蔵	後期
G-07	江村秋色図	1927（昭和2）年	紙本墨画	1幅	147.5×40.0	個人蔵	後期
G-08	松下高士図	1932（昭和7）年	紙本墨画	1幅	144.1×54.9	個人蔵	前期
G-09	米法山水図　★	1936（昭和11）年	紙本墨画	1幅	132.4×32.8	個人蔵	後期
G-10	西湖図	1937（昭和12）年	絹本着色	1幅	131.2×37.6	個人蔵	後期
G-11	春山小隠図	20世紀前半（昭和時代）	絹本着色	1幅	130.3×43.1	個人蔵	後期
G-12	廬山一角図　★	1938（昭和13）年	絹本着色	1幅	177.2×52.0	個人蔵	前期
G-13	長春平安図	1941（昭和16）年	絹本着色	1幅	131.7×37.3	個人蔵	後期
柚木久太							
H-01	塋門	1908（明治41）年	油彩・カンヴァス	1点	60.7×40.4	個人蔵	
H-02	鞆津の朝　★	1911（明治44）年	油彩・カンヴァス	1点	80.5×55.7	個人蔵	
H-03	巴里の冬	1913（大正2）年	油彩・カンヴァス	1点	71.5×58.3	個人蔵	
H-04	婦人像	1913（大正2）年	油彩・カンヴァス	1点	59.5×71.5	個人蔵	
H-05	ヴェトイユの丘　★	1913（大正2）年	油彩・カンヴァス	1点	44.5×51.6	個人蔵	
H-06	ブルターニュにて	1913（大正2）年	油彩・カンヴァス	1点	38.0×45.5	個人蔵	
H-07	朝霧	1913（大正2）年	油彩・カンヴァス	1点	44.5×37.0	個人蔵	
H-08	モレーの秋	1913（大正2）年	油彩・カンヴァス	1点	45.5×52.0	倉敷市立美術館	
H-09	マロニエ紅葉	1913（大正2）年	油彩・カンヴァス	1点	53.0×45.5	個人蔵	
H-10	フォンタラビアの朝	1914（大正3）年	油彩・カンヴァス	1点	53.0×45.5	個人蔵	
H-11	サンマルタン橋（トレドの橋）	1914（大正3）年	油彩・カンヴァス	1点	45.5×53.0	個人蔵	
H-12	婦人像	1915（大正4）年	油彩・カンヴァス	1点	53.0×45.5	個人蔵	
H-13	新聞を読む人	1915（大正4）年	油彩・カンヴァス	1点	45.5×53.0	個人蔵	
H-14	春潮（玉島港）　★	1917（大正6）年	油彩・カンヴァス	1点	90.0×194.0	岡山県立 玉島高等学校	
H-15-01	中華十題 天壇	1924（大正13）年	油彩・カンヴァス	1点	22.0×27.3	個人蔵	
H-15-02	中華十題 雷神廟	1924（大正13）年	油彩・カンヴァス	1点	22.0×27.3	個人蔵	
H-15-03	中華十題 行人	1924（大正13）年	油彩・カンヴァス	1点	22.0×27.3	個人蔵	
H-15-04	中華十題 姑娘	1926（大正15）年	油彩・カンヴァス	1点	22.0×27.3	個人蔵	
H-15-05	中華十題 牧童	1926（大正15）年	油彩・カンヴァス	1点	22.0×27.3	個人蔵	
H-15-06	中華十題 白藤の花	1926（大正15）年	油彩・カンヴァス	1点	22.0×27.3	個人蔵	
H-15-07	中華十題 永日	1926（大正15）年	油彩・カンヴァス	1点	22.0×27.3	個人蔵	
H-15-08	中華十題 甘露寺庭	1926（大正15）年	油彩・カンヴァス	1点	22.0×27.3	個人蔵	
H-15-09	中華十題 焦山より長江を臨む	1926（大正15）年	油彩・カンヴァス	1点	22.0×27.3	個人蔵	

番号	作品名	制作年代	材質技法	員数	寸法	所蔵	前後期
H-15-10	中華十題 西湖一角	1926（大正15）年	油彩・カンヴァス	1点	22.0×27.3	個人蔵	
H-16	甘露寺	1926（大正15）年	油彩・カンヴァス	1点	45.5×38.0	個人蔵	
H-17	軽井沢の雨　★	1927（昭和2）年	油彩・カンヴァス	1点	45.5×38.0	個人蔵	
H-18	春遠し	1938（昭和13）年	油彩・カンヴァス	1点	41.0×53.0	個人蔵	
H-19	西爽亭秋意	1949（昭和24）年	油彩・カンヴァス	1点	71.2×89.3	倉敷市立美術館	
H-20	閑庭	1950（昭和25）年	油彩・カンヴァス	1点	80.3×100.0	個人蔵	
H-21	備南風景	1951（昭和26）年	油彩・カンヴァス	1点	89.8×116.0	岡山県立 岡山朝日高等学校	
H-22	とあみ	1952（昭和27）年	油彩・カンヴァス	1点	72.7×91.0	個人蔵	
H-23	港口	1953（昭和28）年	油彩・カンヴァス	1点	80.3×100.3	個人蔵	
H-24	朝暾	1954（昭和29）年	油彩・カンヴァス	1点	78.5×98.1	倉敷市立美術館	
H-25	秋の山	1957（昭和32）年	油彩・カンヴァス	1点	80.3×100.0	個人蔵	
H-26	霽後	1958（昭和33）年	油彩・カンヴァス	1点	80.3×100.0	個人蔵	
H-27	夏山の朝	1959（昭和34）年	油彩・カンヴァス	1点	80.3×100.0	個人蔵	
H-28	池畔（奈良蓬莱池）	1959（昭和34）年	油彩・カンヴァス	1点	60.6×72.7	個人蔵	
H-29	山と空　★	1960（昭和35）年	油彩・カンヴァス	1点	80.3×100.0	個人蔵	
H-30	渓流	1961（昭和36）年	油彩・カンヴァス	1点	59.1×71.6	倉敷市立美術館	
H-31	五月の山	1961（昭和36）年	油彩・カンヴァス	1点	79.2×98.8	個人蔵	
H-32	内海展望	1962（昭和37）年	油彩・カンヴァス	1点	80.3×100.0	個人蔵	
H-33	湖雲一帯	1963（昭和38）年	油彩・カンヴァス	1点	91.0×116.7	岡山県立美術館	
H-34	内海雲光る	1966（昭和41）年	油彩・カンヴァス	1点	79.0×98.9	倉敷市立美術館	
H-35	室戸岬	1967（昭和42）年	油彩・カンヴァス	1点	80.3×100.0	山陽新聞社	
H-36	南の海	1968（昭和43）年	油彩・カンヴァス	1点	80.3×100.0	個人蔵	
H-37	五月晴れ	1968（昭和43）年	油彩・カンヴァス	1点	80.3×100.0	個人蔵	
H-38	初夏の内海	1969（昭和44）年	油彩・カンヴァス	1点	91.0×116.7	個人蔵	
H-39	静物（棚と壷）	1969（昭和44）年	油彩・カンヴァス	1点	72.7×60.6	個人蔵	
H-40	甕江風景	制作年不詳	紙本着色	1幅	40.2×49.1	個人蔵	前期
H-41	西湖	1927（昭和2）年	紙本墨彩	1幅	144.2×39.5	個人蔵	後期
H-42	甘露寺一角	制作年不詳	紙本着色	1幅	43.8×48.0	個人蔵	後期
H-43	桜島朝旽図	制作年不詳	紙本着色	1幅	44.1×47.6	個人蔵	前期
H-44	「甕江のおぢいさん」原画	1950（昭和25）年	水彩・板に貼った紙	6点 （久太4点、祥吉郎2点）	68.0×99.5	倉敷市立玉島図書館	

柚木祥吉郎

S-01	祖父の像	1938（昭和13）年	油彩・カンヴァス	1点	65.2×53.0	個人蔵	
S-02	画家の像	1949（昭和24）年	油彩・カンヴァス	1点	116.7×91.0	個人蔵	
S-03	子　★	1951（昭和26）年	油彩・カンヴァス	1点	145.5×112.0	個人蔵	
S-04	父の像	1956（昭和31）年	油彩・カンヴァス	1点	65.2×53.0	個人蔵	
S-05	立体派風の父の像	1957（昭和32）年	油彩・カンヴァス	1点	65.2×53.0	個人蔵	
S-06	節句	1964（昭和39）年	油彩・カンヴァス	1点	130.3×162.0	個人蔵	
S-07	回転木馬の見える風景	1973（昭和48）年	油彩・カンヴァス	1点	130.3×162.0	個人蔵	
S-08	高梁川　★	1981（昭和56）年	油彩・カンヴァス	1点	181.8×227.3	個人蔵	

番号	作品名	制作年代	材質技法	員数	寸法	所蔵	前後期
S-09	風	1983（昭和58）年	油彩・カンヴァス	1点	181.8×227.3	個人蔵	
S-10	遠い花火	1987（昭和62）年	油彩・カンヴァス	1点	181.8×227.3	個人蔵	
S-11	富士に祈る	1996（平成8）年	油彩・カンヴァス	1点	181.8×227.3	個人蔵	
S-12	花と少女	2001（平成13）年	油彩・カンヴァス	1点	60.6×72.7	個人蔵	
S-13	玉島風景（秋）	制作年不詳	紙本着色	1幅	67.7×33.4	個人蔵	前期

岡山の美術
草間喆雄　美しき色彩のコンポジション
Kusama Tetsuo
Beautiful Color and Composition

会　　期　2021年9月8日(水)－11月3日(水・祝)

＊但し:9月8日－9月30日まで、コロナウイルス感染拡大の影響のため臨時休室

会　　場　岡山県立美術館 2階展示室
主　　催　岡山県立美術館
助　　成　福武教育文化振興財団

チラシ（A4表）

チラシ（A4裏）

【趣旨】

日本のファイバーアートの第一人者である草間喆雄（1946－）は、武蔵野美術大学を卒業後京都川島織物に就職し、そこで当時欧米を中心に胎動した新しい〈織〉の造形を知り渡米。クランブルックアカデミーオブアート大学院に学び、1970年代から日米を行き来しながら、ローザンヌ・タペストリービエンナーレ展等に出品を重ね、近年では中国・国際ファイバーアートビエンナーレで連続受賞するなど、国際的にも高く評価されている。岡山県には、1993年岡山県立大学の開学に伴い来住、2011年退官まで指導者として後進の育成に尽力し、現在は岡山県赤磐市の工房で創作活動を続けている。

草間は鮮明で美しい色糸を用い、立体的に構築した織作品、細いワイヤにコイリングし束ねあわせた作品、あるいは小さな丸いフェルトを重ねてピン打ちした作品など、いずれもあふれ出る美しい色と色の響き合いを特徴とする。本展は、50年にわたる草間の創作活動を主要な作品で振り返った。

会場一部で、「響き合う表現　Drawing Melodies」と題し、当館所蔵の絵画や版画作品等と合わせて展示することで、多様な表現の共鳴を演出し、ダンスパフォーマンスやピアノ演奏などを行った。

【関連事業】

●対談「草間喆雄とその時代」
　日　時：10月2日（土）14:00－
　会　場：美術館ホール
　講　師：川嶋啓子氏（ギャラリスト）、草間喆雄氏

●鼎談「伝統工芸 ← 染織 → 現代造形」
　日　時：10月3日（日）14:00－
　会　場：美術館ホール
　講　師：森口邦彦氏
　　（友禅染・国指定重要無形文化財保持者）、
　　草間喆雄氏
　進　行：川嶋啓子氏（ギャラリスト）、
　　福冨　幸（学芸課長）

B3ポスター

●スライドレクチャー
日　時：10月17日（日）14:00－
会　場：地下1階講義室
講　師：草間喆雄氏

●ワークショップ
日　時：10月24日（日）13:30－16:30
会　場：グリーンルーム
講　師：草間喆雄氏

【同時開催】「Drawing Melodies　～響き合う表現～」
協力：株式会社サウンド・スケッチ
●「糸を張る」トークセッションとSpecialアンサンブル
日　時：9月18日（土）　コロナ禍のため中止→配信のみ
出演者：草間喆雄氏、小野耕石氏、上月真子氏（オーボエ）、西室伸也氏（サクスフォン）、
田中郁也氏（ヴァイオリン）、大道真弓氏（ビオラ）、山口里美氏（チェロ）、当真伊都子氏（ピアノ）

●「形の音・音の形」
日　時：10月9日（土）15:00－
会　場：中庭
出演者：岩本象一氏（打楽器奏者）

●「色の軌跡」
日　時：10月10日（日）15:00－
会　場：2階展示室
ダンサー：平井優子氏、演奏者：当真伊都子氏（ピアノ）

●「旅をする」
日　時：10月30日（土）18:00－
会　場：2階展示室
演奏者：トウヤマタケオ氏（ピアノ）

【出品目録】

★印の作品には音声ガイドを付した　※所蔵欄の記載のないものは作家蔵

No.	作品名	作家名	制作年	サイズ(cm)	技法	点数	所蔵
1	Landscape Wall-C	草間喆雄	昭和57(1982)年	191×60×7	2重織	1	
2	Wall-LG	草間喆雄	昭和57(1982)年	190×60×7	2重織	1	
3	Wall ITF	草間喆雄	昭和62(1987)年	430×230	2重織	4点1組	国立国際美術館
4	Windscape 20	草間喆雄	平成3(1991)年	250×110	2重織	1	
5	Windscape 8	草間喆雄	平成3(1991)年	200×100	2重織	1	
6	Flight-6	草間喆雄	平成4(1992)年	100×170	2重織	1	京都市京セラ美術館
7	Vertical	草間喆雄	平成6(1994)年	80×350	2重織　コイリング	1	
8	Flight A	草間喆雄	平成6(1994)年	170×425	2重織	1	
9	Seascape	草間喆雄	平成6(1994)年	250×110	2重織　コイリング	1	
10	Horizontal	草間喆雄	平成8(1996)年	335×58	2重織　コイリング	1	田辺市立美術館
11	Circle 1	草間喆雄	平成9(1997)年	170×170	2重織	1	染・清流館
12	Circle 2	草間喆雄	平成9(1997)年	170×170	2重織	1	染・清流館
13	Circle A	草間喆雄	平成9(1997)年	195×195×35	2重織	1	
14	Spiralring ★	草間喆雄	平成10(1998)年	320×320	2重織	1	田辺市立美術館
15	Nightscape 2	草間喆雄	平成16(2004)年	200×80	2重織	1	
16	Nightscape 3	草間喆雄	平成16(2004)年	200×70	2重織	1	
17	Dawn 1	草間喆雄	平成16(2004)年	200×70	2重織	1	
18	Stripes	草間喆雄	平成21(2009)年	110×110	コイリング	15点1組	
19	Dot ★	草間喆雄	平成21(2009)年	80×80	フェルト	4点1組	
20	Utsurohi	草間喆雄	平成22(2010)年	184×100	コイリング	1	京都市京セラ美術館
21	Horizon-1	草間喆雄	平成22(2010)年	300×150	2重織	1	
22	Sunset 5-2	草間喆雄	平成23(2011)年	200×70	2重織	1	
23	Sunset 4-2	草間喆雄	平成23(2011)年	200×70	2重織	1	
24	Dawn ★	草間喆雄	平成25(2013)年	400×225	2重織	1	田辺市立美術館
26	Layered B	草間喆雄	平成25(2013)年	70×200	2重織	1	
27	Layered OL	草間喆雄	平成25(2013)年	70×200	2重織	1	
28	Layered P	草間喆雄	平成25(2013)年	70×200	2重織	1	
29	Flow-S	草間喆雄	平成25(2013)年	14×100	コイリング	1	個人蔵
30	Koto L	草間喆雄	平成28(2016)年	250×200	コイリング	4点1組	田辺市立美術館
31	Hoko	草間喆雄	平成28(2016)年	295×150	コイリング	4点1組	
32	Koto ★	草間喆雄	平成28(2016)年	295×150	コイリング	4点1組	
33	Flow-1	草間喆雄	平成29(2017)年	14×100	コイリング	1	
34	Flow-2	草間喆雄	平成29(2017)年	14×100	コイリング	1	
35	Flow-3	草間喆雄	平成29(2017)年	14×100	コイリング	1	
36	Flow-4	草間喆雄	平成29(2017)年	14×100	コイリング	1	
37	Flow-5	草間喆雄	平成29(2017)年	14×100	コイリング	1	
38	Flow-6	草間喆雄	平成29(2017)年	14×100	コイリング	1	
39	Flow-7	草間喆雄	平成29(2017)年	14×100	コイリング	1	
40	Flow-8	草間喆雄	平成29(2017)年	14×100	コイリング	1	
41	Flow-9	草間喆雄	平成29(2017)年	14×100	コイリング	1	
42	Flow-10	草間喆雄	平成29(2017)年	14×100	コイリング	1	

番号	作品名	制作年代	材質技法	寸法	員数	所蔵	前後期
43	Koto-B	草間喆雄	平成30(2018)年	125×36	コイリング	1	
44	Koto-V	草間喆雄	平成30(2018)年	125×36	コイリング	1	
45	Flow-R	草間喆雄	平成30(2018)年	120×35	コイリング	1	
46	E×pance-R	草間喆雄	平成30(2018)年	120×35	コイリング	1	
47	Tea-B	草間喆雄	平成30(2018)年	120×30	コイリング	1	
48	W Flow-R	草間喆雄	平成30(2018)年	105×28	コイリング	1	
49	W Flow-B	草間喆雄	平成30(2018)年	105×28	コイリング	1	
50	Seasons Haze L	草間喆雄	平成30(2018)年	230×50	コイリング	4点1組	10月25日から展示
51	Wing-Yh	草間喆雄	平成30(2018)年	106×16	コイリング	1	
52	Horizon 2	草間喆雄	平成31(2019)年	350×95	２重織	1	
53	Octets	草間喆雄	令和2(2020)年	250×250×30	２重織	1	
54	Rainbow	草間喆雄	令和2(2020)年	400×40	コイリング	1	10月25日まで展示
55	Kasumi L ★	草間喆雄	令和2(2020)年	70×70	コイリング	4点1組	
56	Koto B-1	草間喆雄	令和3(2021)年	110×19	コイリング	1	
57	Koto A-3	草間喆雄	令和3(2021)年	110×19	コイリング	1	
58	Rainbow Installation	草間喆雄	令和3(2021)年	250×470×900		1	インスタレーション

Drawing Melodies 響き合う表現

限定プールに於ける増殖性連鎖反応 ★	工藤哲巳	昭和35(1960)年	128.7×160.6	ラッカー、板	1	個人蔵
うるさい午後	野見山暁治	平成9(1997)頃	181.8×227.5	油彩、カンバス	1	岡山県立美術館
夜明け前　No.3、No.4、No.5	児玉知己	令和2(2020)年	各81×73	アクリル、ニス、カンバス、紙	1	作家蔵
地層　陽	高原洋一	平成11(1999)年	110×311.6	シルクスクリーン版画	1	岡山県立美術館
ある場所 ★	小田宏子	平成27(2015)年	150×250×4	雁皮紙、綿、アクリル絵具、ステープル針、木製パネル	1件	岡山県立美術館
the beginning ★	光延由香利	平成26-28(2014-16)年	162×390.9	油彩、カンバス	1	岡山県立美術館
Hundred Layers of Colors ★	小野耕石	平成25-26(2013-14)年	各75×90	スクリーンプリント、油性インク、紙	9点	岡山県立美術館

3. 特別展

特別展では、国内外のすぐれた作品を特定のテーマに沿って大規模に集めて紹介している。

令和3年度　特別展一覧

展　覧　会　名	会　期	会期日数
『ねないこだれだ』誕生50周年記念 せなけいこ展	2021年 4月 2日（金）－ 5月 9日（日）	38
ヨーロッパ絵画400年の旅 ―珠玉の東京富士美術館コレクション	7月 9日（金）－ 8月29日（日）	52
第72回岡山県美術展覧会	9月 8日（水）－ 9月19日（日）	12
星野道夫―悠久の時を旅する	9月28日（火）－11月 7日（日）	41
熊本県立美術館所蔵今西コレクション 肉筆浮世絵の世界　アナザーワールド発見！	11月13日（土）－12月19日（日）	37
第68回日本伝統工芸展岡山展	11月18日（木）－12月12日（日）	25
伊豆市所蔵近代日本画展 修善寺物語―大観と靫彦、紫紅たち―	2022年 2月11日（金・祝） － 3月21日（月・祝）	39

『ねないこだれだ』誕生50周年記念 せなけいこ展

会　　期　2021年4月2日(金)－5月9日(日)

会　　場　岡山県立美術館地下一階展示室
主　　催　岡山県立美術館、朝日新聞社、山陽新聞社
特別協賛　医療法人社団岡山純心会グループ
協　　力　偕成社、KADOKAWA、金の星社、鈴木出版、童心社、福音館書店、ポプラ社
助　　成　公益財団法人福武教育文化振興財団
後　　援　一般社団法人日本国際児童図書評議会、絵本学会、岡山県教育委員会、岡山市、岡山市教育委員会、岡山県公民館連合会、岡山県図書館協会、岡山県私立幼稚園連盟、岡山県私立保育園連盟、一般社団法人岡山県民間保育所協議会、RSK山陽放送、OHK岡山放送、TSCテレビせとうち、RNC西日本放送、KSB瀬戸内海放送、oniビジョン、倉敷ケーブルテレビ、FM岡山、レディオモモ、FMくらしき

チラシ（A4表）

チラシ（A4裏）

【趣旨】

『ねないこだれだ』や『いやだいやだ』の作者として知られるせなけいこ（1931－）は、1969年、子育てに奔走する中、37歳で絵本作家としてデビュー。以来、おばけや妖怪、うさぎなどをモチーフに、貼り絵の手法を用いて生み出したシンプルながらも独創的な絵本は、世代を越え、多くの親子に読み継がれるロングセラーとなっている。

本展では、代表作のひとつ『ねないこだれだ』の誕生50周年を記念し、絵本デビュー作の「いやだいやだの絵本」4冊シリーズをはじめとする、絵本原画など約300点を展覧。これまであまり知られていなかった、絵本作家デビュー前の幻燈や紙芝居の仕事もひもとき、作家せなけいこの創作の全貌を紹介した。

【関連事業】

●おばけの絵を大募集

せなけいこ展にちなみ広く一般から、おばけの絵を募集、応募作品は会期中、地下ホワイエにて展示。

●ワークショップ「すうじのつぶやきをつくろう」

日　時：4月3日（土）、5月2日（日）各日10:30－／13:30－
会　場：研修室
講　師：西森その氏（アーティスト）、
　　湯浅亮氏（warisasi／デザイナー）

『ねないこだれだ』誕生50周年記念

せなけいこ展

出品目録

〔凡例〕
＊本目録は、岡山県立美術館で開催する「『ねないこだれだ』誕生50 周年記念 せなけいこ展」の出品目録である。
＊目録には、作品名、作者名、出版社、掲載頁、制作年、サイズ、材質を記載している。掲載された記録がないものについては、「未掲載」とした。
＊出品作品は予告なく変更されることがある。

1 絵本作家せなけいこ誕生

1-1 「いやだいやだの絵本」

1-1
いやだいやだ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　表紙　1969 年
18.3×19.7　紙・クレヨン

1-2
いやだいやだ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　扉　1969 年
23.3×42.5　紙

1-3
いやだいやだ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.3　1969 年
19.9×19.6　紙・クレヨン

1-4
いやだいやだ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.5　1969 年
20.0×19.5　紙・クレヨン

1-5
いやだいやだ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.7　1969 年
19.8×19.5　紙・クレヨン

1-6
いやだいやだ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.9　1969 年
19.9×19.6　紙・クレヨン

1-7
いやだいやだ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.11　1969 年
20.0×19.5　紙

1-8
いやだいやだ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.13　1969 年
19.8×19.5　紙

1-9
いやだいやだ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.15　1969 年
19.5×20.0　紙

1-10
いやだいやだ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.17　1969 年
20.0×19.6　紙

1-11
いやだいやだ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.19　1969 年
20.0×19.5　紙

1-12
いやだいやだ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.21　1969 年
20.0×19.5　紙

1-13
いやだいやだ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.23　1969 年
19.5×19.9　紙・クレヨン

1-14
いやだいやだ
せなけいこ 作・絵
福音館書店
「いやだいやだの絵本」セットケース表紙　1969 年
23.4×19.2　紙

1-15
いやだいやだ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　ビデオパッケージ表紙
制作年不明
21.0×27.0　紙

2-1
ねないこ だれだ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　表紙　1969 年
20.1×20.0　紙

2-2
ねないこ だれだ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　扉　1969 年
23.4×42.7　紙

2-3
ねないこ だれだ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.3　1969 年
20.1×19.7　紙

2-4
ねないこ だれだ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.5　1969 年
19.9×20.0　紙

2-5
ねないこ だれだ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.7　1969 年
20.1×19.8　紙

2-6
ねないこ だれだ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.9　1969 年
20.0×19.8　紙

2-7
ねないこ だれだ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.11　1969 年
20.1×19.8　紙

2-8
ねないこ だれだ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.13　1969 年
19.8×19.9　紙

2-9
ねないこ だれだ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.15　1969 年
19.8×20.0　紙

2-10
ねないこ だれだ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.17　1969 年
20.0×19.8　紙・クレヨン

2-11
ねないこ だれだ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.19　1969 年
19.8×20.0　紙

2-12
ねないこ だれだ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.21　1969 年
19.8×19.9　紙・クレヨン

2-13
ねないこ だれだ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.23　1969 年
19.9×19.8　紙

2-14
ねないこ だれだ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　裏表紙　1969 年
20.0×18.6　紙

2-15
ねないこ だれだ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　未掲載　1969 年
19.9×18.5　紙

2-16
ねないこ だれだ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　未掲載　1969 年
20.0×19.7　紙・クレヨン

2-17
ねないこ だれだ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　未掲載　1969 年
19.8×19.6　紙

2-18
ねないこ だれだ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　未掲載　1969 年
19.8×19.5　紙

3-1
もじゃ　もじゃ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　表紙　1969 年
27.0×23.0　紙

3-2
もじゃ　もじゃ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　扉　1969 年
23.0×41.8　紙

3-3
もじゃ　もじゃ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.3　1969 年
19.5×20.0　紙

3-4
もじゃ　もじゃ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.5　1969 年
19.5×19.9　紙

3-5
もじゃ　もじゃ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.7　1969 年
19.5×19.8　紙

3-6
もじゃ　もじゃ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.9　1969 年
19.5×20.0　紙

3-7
もじゃ　もじゃ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.11　1969 年
19.5×19.8　紙・クレヨン

3-8
もじゃ　もじゃ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.13　1969 年
19.5×20.0　紙・クレヨン

3-9
もじゃ　もじゃ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.15　1969 年
19.5×20.0　紙

3-10
もじゃ　もじゃ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.17　1969 年
19.9×19.5　紙

3-11
もじゃ　もじゃ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.19　1969 年
19.7×19.8　紙

3-12
もじゃ　もじゃ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.21　1969 年
19.5×20.0　紙

3-13
もじゃ　もじゃ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.23　1969 年
19.6×20.0　紙・クレヨン

3-14
もじゃ　もじゃ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　裏表紙　1969 年
19.9×18.6　紙

3-15
もじゃ　もじゃ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　未掲載　1969 年
19.5×20.0　紙・クレヨン

3-16
もじゃ もじゃ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　初版本表紙　1969 年
19.9×18.3　紙

4-1
にんじん
せなけいこ 作・絵
福音館書店　表紙　1969 年
19.9×18.2　紙

4-2
にんじん
せなけいこ 作・絵
福音館書店　扉　1969 年
23.5×41.7　紙

4-3
にんじん
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.3　1969 年
19.6×19.9　紙

4-4
にんじん
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.5　1969 年
19.5×19.9　紙

4-5
にんじん
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.7　1969 年
19.5×19.9　紙

4-6
にんじん
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.9　1969 年
19.3×19.9　紙

4-7
にんじん
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.11　1969 年
19.5×19.9　紙

4-8
にんじん
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.13　1969 年
19.4×19.8　紙

4-9
にんじん
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.15　1969 年
19.5×20.0　紙

4-10
にんじん
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.16-17　1969 年
20.1×37.6　紙

4-11
にんじん
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.19　1969 年
19.7×20.0　紙・クレヨン

4-12
にんじん
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.21　1969 年
19.5×20.0　紙

4-13
にんじん
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.23　1969 年
19.7×20.0　紙・クレヨン

4-14
にんじん
せなけいこ 作・絵
福音館書店　裏表紙　1969 年
19.9×19.8　紙

1-2 「あーんあんの絵本」

5-1
あーんあん
せなけいこ 作・絵
福音館書店　表紙　1972 年
21.0×19.8　紙・クレヨン

5-2
あーんあん
せなけいこ 作・絵
福音館書店　扉　1972 年
11.5×10.7　紙

5-3
あーんあん
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.3　1972 年
17.5×17.2　紙・クレヨン

5-4
あーんあん
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.5　1972 年
17.5×17.2　紙・クレヨン

5-5
あーんあん
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.7　1972 年
17.4×17.2　紙・クレヨン

5-6
あーんあん
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.9　1972 年
17.5×17.3　紙・クレヨン

5-7
あーんあん
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.11　1972 年
17.5×17.2　紙・クレヨン

5-8
あーんあん
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.13　1972 年
17.5×17.2　紙・クレヨン

5-9
あーんあん
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.15　1972 年
17.5×17.3　紙・クレヨン

5-10
あーんあん
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.17　1972 年
17.5×17.2　紙

5-11
あーんあん
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.19　1972 年
17.5×17.2　紙・クレヨン

5-12
あーんあん
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.21　1972 年
17.5×17.2　紙・クレヨン

5-13
あーんあん
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.23　1972 年
17.5×17.2　紙・クレヨン

5-14
あーんあん
せなけいこ 作・絵
福音館書店　裏表紙　1972 年
21.0×19.7　紙

6-1
きれいなはこ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　表紙　1972 年
21.0×19.8　紙

6-2
きれいなはこ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　扉　1972 年
11.5×10.9　紙

6-3
きれいなはこ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.3　1972 年
17.5×17.3　紙

6-4
きれいなはこ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.5　1972 年
17.6×17.3　紙

6-5
きれいなはこ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.7　1972 年
17.6×17.3　紙

6-6
きれいなはこ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.9　1972 年
17.6×17.3　紙

6-7
きれいなはこ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.11　1972 年
17.5×17.3　紙

6-8
きれいなはこ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.13　1972 年
17.5×17.3　紙

6-9
きれいなはこ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.15　1972 年
17.6×17.3　紙

6-10
きれいなはこ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.17　1972 年
17.5×17.2　紙

6-11
きれいなはこ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.19　1972 年
17.5×17.2　紙

6-12
きれいなはこ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.21　1972 年
17.6×17.2　紙

6-13
きれいなはこ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.22-23　1972 年
17.5×33.4　紙

6-14
きれいなはこ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　裏表紙　1972 年
21.0×19.7　紙

6-15
きれいなはこ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　未掲載　1972 年
16.0×18.9　紙

7-1
ルルちゃんのくつした
せなけいこ 作・絵
福音館書店　表紙　1972 年
21.0×19.8　紙・クレヨン

7-2
ルルちゃんのくつした
せなけいこ 作・絵
福音館書店　扉　1972 年
16.4×15.7　校正紙

7-3
ルルちゃんのくつした
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.3　1972 年
17.5×17.3　紙・クレヨン

7-4
ルルちゃんのくつした
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.5　1972 年
17.6×17.3　紙・クレヨン

7-5
ルルちゃんのくつした
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.7　1972 年
17.5×17.3　紙・クレヨン

7-6
ルルちゃんのくつした
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.9　1972 年
17.6×17.3　紙・クレヨン

7-7
ルルちゃんのくつした
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.11　1972 年
17.6×17.3　紙・クレヨン

7-8
ルルちゃんのくつした
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.13　1972 年
17.5×17.2　紙

7-9
ルルちゃんのくつした
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.15　1972 年
17.5×17.3　紙

7-10
ルルちゃんのくつした
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.17　1972 年
17.6×17.4　紙

7-11
ルルちゃんのくつした
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.19　1972 年
17.5×17.0　紙

7-12
ルルちゃんのくつした
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.21　1972 年
17.5×17.3　紙

7-13
ルルちゃんのくつした
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.23　1972 年
17.3×17.3　紙・クレヨン

7-14
ルルちゃんのくつした
せなけいこ 作・絵
福音館書店　裏表紙　1972 年
21.0×19.6　紙

7-15
ルルちゃんのくつした
せなけいこ 作・絵
福音館書店　未掲載　1972 年
16.1×17.3　紙

8-1
ふうせんねこ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　扉　1972 年
11.5×10.9　紙

8-2
ふうせんねこ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.3　1972 年
17.5×17.2　紙・クレヨン

8-3
ふうせんねこ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.5　1972 年
17.6×17.2　紙・クレヨン

8-4
ふうせんねこ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.7　1972 年
17.5×17.3　紙・クレヨン

8-5
ふうせんねこ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.9　1972 年
17.7×17.3　紙・クレヨン・ペン

8-6
ふうせんねこ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.11　1972 年
17.5×17.2　紙・クレヨン

8-7
ふうせんねこ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.13　1972 年
17.5×17.2　紙・クレヨン

8-8
ふうせんねこ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.15　1972 年
17.5×17.2　紙・クレヨン

8-9
ふうせんねこ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.17　1972 年
17.5×17.2　紙・クレヨン

8-10
ふうせんねこ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.19　1972 年
17.6×17.3　紙・クレヨン

8-11
ふうせんねこ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.21　1972 年
17.5×17.2　紙

8-12
ふうせんねこ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　p.23　1972 年
17.5×17.2　紙

8-13
ふうせんねこ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　裏表紙　1972 年
21.1×19.6　紙・クレヨン

8-14
ふうせんねこ
せなけいこ 作・絵
福音館書店　未掲載　1972 年
20.7×19.7　紙

2　デビュー前夜

2-1　イラストレーションの仕事

9-1
子どもに聞かせるえらい人の話
瀬名恵子 絵 / 実業之日本社=編
実業之日本社　表紙　1965 年
23.9×38.3　紙・色鉛筆・クレヨン

9-2
子どもに聞かせるえらい人の話
あくしゅのおくりもの
-ツルゲーネフの話
瀬名恵子 絵 / 実業之日本社=編
実業之日本社　1965 年
23.0×16.2　紙

9-3
子どもに聞かせるえらい人の話
魔の山、マッターホルン
-ウィンパーの話
瀬名恵子 絵 / 実業之日本社=編
実業之日本社　1965 年
22.8×16.4　紙・色鉛筆

9-4
子どもに聞かせるえらい人の話
ボタンもすきだが
-貝原益軒と少年の話
瀬名恵子 絵 / 実業之日本社=編
実業之日本社　1965 年
23.1×16.4　紙・色鉛筆

9-5
子どもに聞かせるえらい人の話
ガンのみだれ-源義家の話
瀬名恵子 絵 / 実業之日本社=編
実業之日本社　1965 年
23.0×16.4　紙

9-6
子どもに聞かせるえらい人の話
走る人間機関車
-ザトペック選手の話
瀬名恵子 絵 / 実業之日本社=編
実業之日本社　1965 年
23.1×16.2　紙

9-7
子どもに聞かせるえらい人の話
岩にささった矢-李広の話
瀬名恵子 絵 / 実業之日本社=編
実業之日本社　1965 年
23.4×16.2　紙・クレヨン

9-8
子どもに聞かせるえらい人の話
たけのこ、のびろ-良寛の話
瀬名恵子 絵 / 実業之日本社=編
実業之日本社　1965 年
23.0×16.0　紙

9-9
子どもに聞かせるえらい人の話
ばかじいさんの子どもの家
-フレーベルの話
瀬名恵子 絵 / 実業之日本社=編
実業之日本社　1965 年
23.8×16.2
紙・鉛筆・クレヨン

10-1
たんぽぽの み
絵・瀬名恵子
学習研究社　よいこのがくしゅう4（1）
1965 年
30.8×41.8　紙・クレヨン

11-1
にらめっこ
絵・瀬名恵子
学習研究社　よいこのがくしゅう4（9）
1965 年
24.0×48.6　紙・クレヨン

11-2
おしょうがつのあいさつ
絵・瀬名恵子
学習研究社　よいこのがくしゅう3（10）
1965 年
32.6×42.3　紙・鉛筆・クレヨン

11-3
はつに
絵・瀬名恵子
学習研究社　よいこのがくしゅう3（10）
1965 年
32.1×42.3　紙・鉛筆・クレヨン

2-2　色影絵透視紙芝居・幻燈

12-1
雪の子供
瀬名K子 絵/かみきり虫の会 上演
1953 年頃
15.7×22.0　色セロファン

12-2
雪の子供
瀬名K子 絵/かみきり虫の会 上演
1953 年頃
15.7×22.0　色セロファン

12-3
雪の子供
瀬名K子 絵/かみきり虫の会 上演
1953 年頃
15.7×22.0　色セロファン

12-4
雪の子供
瀬名K子 絵/かみきり虫の会 上演
1953 年頃
15.7×22.0　色セロファン

13-1
ダニエルの冒険
（アイルランドどうわ）
瀬名K子 絵/かみきり虫の会 上演
1953 年頃
15.7×22.0　色セロファン

13-2
ダニエルの冒険
（アイルランドどうわ）
瀬名K子 絵/かみきり虫の会 上演
1953 年頃
15.7×22.0　色セロファン

13-3
ダニエルの冒険
（アイルランドどうわ）
瀬名K子 絵/かみきり虫の会 上演
1953 年頃
15.7×22.0　色セロファン

13-4
ダニエルの冒険
（アイルランドどうわ）
瀬名K子 絵/かみきり虫の会 上演
1953 年頃
15.7×22.0　色セロファン

14-1
サンタ君と虎
ヘレン・バンナーマン 原作/
瀬名K子 絵/かみきり虫の会 上演
1953 年頃
15.7×22.0　色セロファン

14-2
サンタ君と虎
ヘレン・バンナーマン 原作/
瀬名K子 絵/かみきり虫の会 上演
1953 年頃
15.7×22.0　色セロファン

14-3
サンタ君と虎
ヘレン・バンナーマン 原作/
瀬名K子 絵/かみきり虫の会 上演
1953 年頃
15.7×22.0　色セロファン

14-4
サンタ君と虎
ヘレン・バンナーマン 原作/
瀬名K子 絵/かみきり虫の会 上演
1953 年頃
15.7×22.0　色セロファン

2-3　紙芝居

16-1
○と□と△ちゃん
高橋五山 作/瀬名恵子 絵 /
松村康平 製作協力
童心社　表紙
26.8×38.5　紙

16-2
○と□と△ちゃん
高橋五山 作/瀬名恵子 絵 /
松村康平 制作協力
童心社
26.7×38.7　紙・クレヨン

16-3
○と□と△ちゃん
高橋五山 作/瀬名恵子 絵 /
松村康平 制作協力
童心社
26.5×38.5　紙・クレヨン

16-4
○と□と△ちゃん
高橋五山 作/瀬名恵子 絵 /
松村康平 制作協力
童心社
26.7×38.6　紙・クレヨン

17-1
おだんごちょうだい
渡辺泰子 作 / 瀬名恵子 絵
童心社　表紙　1967年
27.7×39.5　紙・クレヨン

17-2
おだんごちょうだい
渡辺泰子 作 / 瀬名恵子 絵
童心社　1967 年
27.7×39.5　紙・クレヨン

17-3
おだんごちょうだい
渡辺泰子 作 / 瀬名恵子 絵
童心社　1967 年
27.7×39.7　紙・クレヨン

17-4
おだんごちょうだい
渡辺泰子 作 / 瀬名恵子 絵
童心社　1967 年
27.8×39.5　紙・クレヨン

18-1
ちびちゃん
高橋五山 作・貼り絵案 / 瀬名恵子 絵
童心社　1968 年
27.3×39.5　紙

18-2
ちびちゃん
高橋五山 作・貼り絵案 / 瀬名恵子 絵
童心社　1968 年
27.3×39.5　紙

18-3
ちびちゃん
高橋五山 作・貼り絵案 / 瀬名恵子 絵
童心社　1968 年
27.3×39.5　紙

18-4
ちびちゃん
高橋五山 作・貼り絵案 / 瀬名恵子 絵
童心社　1968 年
27.3×39.7　紙・クレヨン

19-1
あわてんぼうの こねこちゃん
石原仁美 作 / 瀬名恵子 絵
童心社　表紙　1968年　1987年3月復刻
27.3×39.5　紙・色鉛筆

19-2
あわてんぼうの こねこちゃん
石原仁美 作 / 瀬名恵子 絵
童心社　1968 年　1987 年3月復刻
27.3×39.6　紙・色鉛筆

19-3
あわてんぼうの こねこちゃん
石原仁美 作 / 瀬名恵子 絵
童心社　1968 年　1987 年3月復刻
27.3×39.6　紙・色鉛筆

19-4
あわてんぼうの こねこちゃん
石原仁美 作 / 瀬名恵子 絵
童心社　1968 年　1987 年3月復刻
27.3×39.6　紙・色鉛筆

20-1
おいしい おいしい
小林純一 作 / 瀬名恵子 絵
童心社　表紙　1969年
27.5×39.7　紙

20-2
おいしい おいしい
小林純一 作 / 瀬名恵子 絵
童心社　1969 年
27.5×39.7　紙

20-3
おいしい おいしい
小林純一 作 / 瀬名恵子 絵
童心社　1969 年
27.5×39.6　紙・色鉛筆

20-4
おいしい おいしい
小林純一 作 / 瀬名恵子 絵
童心社　1969 年
27.5×39.8　紙

21-1
ぴーたーうさぎ
ポッター 原作 / 瀬名恵子 絵 /
堀尾青史 脚本
童心社　表紙　1969年
19.7×27.3　紙

21-2
ぴーたーうさぎ
ポッター 原作 / 瀬名恵子 絵 /
堀尾青史 脚本
童心社　1969 年
20.1×27.5　紙

21-3
ぴーたーうさぎ
ポッター 原作 / 瀬名恵子 絵 /
堀尾青史 脚本
童心社　1969 年
20.3×27.4　紙

21-4
ぴーたーうさぎ
ポッター 原作 / 瀬名恵子 絵 /
堀尾青史 脚本
童心社　1969 年
20.0×27.5　紙

3　子どもとの生活の中から生まれた絵本

3-1　「おおきくなりたい」シリーズ

22-1
かおらちゃんと
かおりちゃんと…
瀬名恵子　作・絵
偕成社　表紙、裏表紙　1974 年
26.5×43.2　紙・クレヨン・写植

22-2
かおらちゃんと
かおりちゃんと…
瀬名恵子　作・絵
偕成社　p.8-9　1974 年
21.5×35.3
紙・色鉛筆・クレヨン・写植

22-3
かおらちゃんと
かおりちゃんと…
瀬名恵子　作・絵
偕成社　p.12-13　1974 年
21.7×35.2
紙・色鉛筆・クレヨン・写植

22-4
かおらちゃんと
かおりちゃんと…
瀬名恵子　作・絵
偕成社　p.26-27　1974 年
21.7×35.0　紙・クレヨン・写植

23-1
おおきくなりたい
瀬名恵子　作・絵
偕成社　p.2-3　1974 年
21.5×35.3
紙・色鉛筆・鉛筆・クレヨン・写植

23-2
おおきくなりたい
瀬名恵子　作・絵
偕成社　p.12-13　1974 年
21.7×35.1
紙・色鉛筆・クレヨン・写植

23-3
おおきくなりたい
瀬名恵子　作・絵
偕成社　p.18-19　1974 年
21.6×35.2　紙・色鉛筆・ペン・写植

23-4
おおきくなりたい
瀬名恵子　作・絵
偕成社　p.26-27　1974 年
21.7×35.3　紙・ペン・写植

24-1
ライオンちゃん
瀬名恵子　作・絵
偕成社　p.4-5　1974 年
21.8×35.4　紙・鉛筆・クレヨン

24-2
ライオンちゃん
瀬名恵子　作・絵
偕成社　p.8-9　1974 年
21.6×35.3
紙・色鉛筆・クレヨン・写植

24-3
ライオンちゃん
瀬名恵子　作・絵
偕成社　p.10-11　1974 年
21.8×35.4　紙・色鉛筆・クレヨン

24-4
ライオンちゃん
瀬名恵子　作・絵
偕成社　p.30-31　1974 年
21.8×35.4　紙・色鉛筆・クレヨン・写植

25-1
ルルねこちゃん
瀬名恵子　作・絵
偕成社　p.10-11　1974 年
21.7×35.3　紙・クレヨン・ペン・写植

25-2
ルルねこちゃん
瀬名恵子　作・絵
偕成社　p.24-25　1974 年
39.3×54.2　紙・色鉛筆・コラージュ（写真、写植）・ペン

25-3
ルルねこちゃん
偕成社　p.26-27　1974 年
21.3×35.0　紙・色鉛筆・クレヨン・コラージュ（写真、写植）・ペン

25-4
ルルねこちゃん
偕成社　p.30-31　1974 年
21.6×34.8
紙・色鉛筆・クレヨン・ペン

3-2　「めがねうさぎ」シリーズ

26-1
めがねうさぎ
せなけいこ 作・絵
ポプラ社　表紙　1975 年
31.3×26.6　紙

26-2
めがねうさぎ
せなけいこ 作・絵
ポプラ社　扉、p.32　1975 年
24.5×41.4　紙・ペン

26-3
めがねうさぎ
せなけいこ 作・絵
ポプラ社　p.2-3　1975 年
25.6×43.1　紙

26-4
めがねうさぎ
せなけいこ 作・絵
ポプラ社　p.4-5　1975 年
25.7×43.2　紙

26-5
めがねうさぎ
せなけいこ 作・絵
ポプラ社　p.6-7　1975 年
25.6×43.2　紙

26-6
めがねうさぎ
せなけいこ 作・絵
ポプラ社　p.8-9　1975 年
25.6×43.2　紙

26-7
めがねうさぎ
せなけいこ 作・絵
ポプラ社　p.10-11　1975 年
採用版と未採用版あり
（21-19 参照）
25.7×43.2　紙

26-8
めがねうさぎ
せなけいこ 作・絵
ポプラ社　p.12-13　1975 年
25.7×43.3　紙

26-9
めがねうさぎ
せなけいこ 作・絵
ポプラ社　p.14-15　1975 年
25.7×43.3　紙

26-10
めがねうさぎ
せなけいこ 作・絵
ポプラ社　p.16-17　1975 年
25.6×43.0　紙

26-11
めがねうさぎ
せなけいこ 作・絵
ポプラ社　p.18-19　1975 年
25.7×43.3　紙

26-12
めがねうさぎ
せなけいこ 作・絵
ポプラ社　p.20-21　1975 年
25.6×43.1　紙

26-13
めがねうさぎ
せなけいこ 作・絵
ポプラ社　p.22-23　1975 年
25.6×43.2　紙

26-14
めがねうさぎ
せなけいこ 作・絵
ポプラ社　p.24-25　1975 年
25.7×43.3　紙

26-15
めがねうさぎ
せなけいこ 作・絵
ポプラ社　p.26-27　1975 年
25.7×43.2　紙・色鉛筆

26-16
めがねうさぎ
せなけいこ 作・絵
ポプラ社　p.28-29　1975 年
25.7×43.1　紙

26-17
めがねうさぎ
せなけいこ 作・絵
ポプラ社　p.30-31　1975 年
25.5×43.2　紙

26-18
めがねうさぎ
せなけいこ 作・絵
ポプラ社　裏表紙　1975 年
31.9×26.5　紙・色鉛筆・鉛筆

26-19
めがねうさぎ
せなけいこ 作・絵
ポプラ社　「童画ぐるーぷ 車」第5回展出品作（参考出品）　1969 年頃
25.7×43.2　紙

27-1
おばけのてんぷら
せなけいこ 作・絵
ポプラ社　表紙、裏表紙　1976 年
27.7×46.4　紙・色鉛筆

27-2
おばけのてんぷら
せなけいこ 作・絵
ポプラ社　扉　1976 年
10.8×14.5　紙・色鉛筆・鉛筆

27-3
おばけのてんぷら
せなけいこ 作・絵
ポプラ社　p.2-3　1976 年
26.8×44.2　紙・色鉛筆

27-4
おばけのてんぷら
せなけいこ 作・絵
ポプラ社　p.4-5　1976 年
26.6×44.2　紙・色鉛筆

27-5
おばけのてんぷら
せなけいこ 作・絵
ポプラ社　p.6-7　1976 年
26.8×44.2　紙・色鉛筆

27-6
おばけのてんぷら
せなけいこ 作・絵
ポプラ社　p.8-9　1976 年
26.8×44.2　紙・ペン

27-7
おばけのてんぷら
せなけいこ 作・絵
ポプラ社　p.10-11　1976 年
26.7×44.2　紙・色鉛筆・ペン

27-8
おばけのてんぷら
せなけいこ 作・絵
ポプラ社　p.12-13　1976 年
26.7×44.2　紙・色鉛筆・鉛筆・ペン

27-9
おばけのてんぷら
せなけいこ 作・絵
ポプラ社　p.14-15　1976 年
26.6×44.2　紙・色鉛筆・鉛筆

27-10
おばけのてんぷら
せなけいこ 作・絵
ポプラ社　p.16-17　1976 年
26.7×44.3　紙・色鉛筆

27-11
おばけのてんぷら
せなけいこ 作・絵
ポプラ社　p.18-19　1976 年
26.7×44.3　～ 44.4　紙・色鉛筆

27-12
おばけのてんぷら
せなけいこ 作・絵
ポプラ社　p.20-21　1976 年
26.7×44.3　紙

27-13
おばけのてんぷら
せなけいこ 作・絵
ポプラ社　p.22-23　1976 年
26.7×44.2　紙・色鉛筆

27-14
おばけのてんぷら
せなけいこ 作・絵
ポプラ社　p.24-25　1976 年
26.8×44.3　紙・色鉛筆

27-15
おばけのてんぷら
せなけいこ 作・絵
ポプラ社　p.26-27　1976 年
26.7×44.2　紙・色鉛筆

27-16
おばけのてんぷら
せなけいこ 作・絵
ポプラ社　p.28-29　1976 年
26.6×44.2　紙・色鉛筆

27-17
おばけのてんぷら
せなけいこ 作・絵
ポプラ社　p.30-31　1976 年
26.6×44.2　紙・色鉛筆

27-18
おばけのてんぷら
せなけいこ 作・絵
ポプラ社　p.32　1976 年
25.4×21.6　紙・色鉛筆

3-3　うさぎ

28-1
あめふりうさぎ
せなけいこ 作・絵
鈴木出版　表紙　1978年
『こどものくに　チューリップ版』6（2）
22.0×29.2　紙

28-2
あめふりうさぎ
せなけいこ 作・絵
鈴木出版　p.9　1978年
『こどものくに　チューリップ版』6（2）
22.0×29.5　紙

28-3
あめふりうさぎ
せなけいこ 作・絵
鈴木出版　p.18-19　1978年
『こどものくに　チューリップ版』6（2）
22.1×57.2　紙

29-1
うさんごろとへんなつき
せなけいこ 作・絵
PHP研究所　表紙、裏表紙　1979 年
1979 年版は、「PHPおはなしプレゼント」
2004 年版は、「わたしのえほん」シリーズ
27.1×39.7　紙・ペン

29-2
うさんごろとへんなつき
せなけいこ 作・絵
PHP研究所　p.22-23　1979 年
1979 年版は、「PHPおはなしプレゼント」
2004 年版は、「わたしのえほん」シリーズ
26.5×39.7　紙・ペン

30-1
おばけにあったうさんごろ
瀬名恵子　作・絵
あかね書房　表紙、裏表紙　1980 年
25.1×35.7　紙・ペン

30-2
おばけにあったうさんごろ
瀬名恵子　作・絵
あかね書房　p.60-61　1980 年
22.5×31.0　紙・色鉛筆・ペン

31-1
うさぎちゃん
せなけいこ 作・絵
鈴木出版　表紙、裏表紙　1980 年
『こどものくに　チューリップ版』8（5）
/ 1980年　単行本化（金の星社）/
2015 年再上製本化（金の星社）
22.3×58.2　紙・色鉛筆

31-2
うさぎちゃん
せなけいこ 作・絵
鈴木出版　p.4-5　1980 年
『こどものくに　チューリップ版』8（5）
/ 1980年　単行本化（金の星社）/
2015 年再上製本化（金の星社）
21.0×57.0　紙・色鉛筆

32-1
はんしろうが ないた
せなけいこ 作・絵
講談社　表紙、裏表紙　1983 年
1990 年復刻版（グランまま社）
22.8×39.4　紙・鉛筆

32-2
はんしろうがないた
せなけいこ 作・絵
講談社
1983 年　1990 年復刻版（グランまま社）
22.7×19.8　紙・鉛筆

32-3
はんしろうがないた
せなけいこ 作・絵
講談社
1983 年　1990 年復刻版（グランまま社）
22.9×19.9　紙・鉛筆

33-1
はんしろうが わらった
せなけいこ 作・絵
講談社　表紙、裏表紙　1983 年
1990 年復刻版（グランまま社）
22.8×39.4　紙・色鉛筆・鉛筆

33-2
はんしろうが わらった
せなけいこ 作・絵
講談社　p.10-11　1983 年
1990 年復刻版（グランまま社）
22.8×38.2　紙・鉛筆

33-3
はんしろうが わらった
せなけいこ 作・絵
講談社　p.20-21　1983 年
1990 年復刻版（グランまま社）
22.8×38.1　紙

34-1
うさぎの まじっく
せなけいこ 作・絵
鈴木出版　表紙、p.2　1987 年
『こどものくに　チューリップ版』15（2）
/ 1993 年上製本化（鈴木出版）
23.9×57.0　紙・色鉛筆

34-2
うさぎの まじっく
せなけいこ 作・絵
鈴木出版　p.8-9　1987 年
『こどものくに　チューリップ版』15（2）
/ 1993 年上製本化（鈴木出版）
22.0×56.3　紙・色鉛筆・水彩

4　おばけとゆうれい

4-1　初期のおばけえほん

35-1
ひとつめのくに
せなけいこ 作・絵
童心社　p.2　1974 年
21.0×19.0　紙・ペン

35-2
ひとつめのくに
せなけいこ 作・絵
童心社　p.4　1974 年
21.0×19.2　紙

35-3
ひとつめのくに
せなけいこ 作・絵
童心社　p.17　1974 年
21.0×18.9　紙・クレヨン

35-4
ひとつめのくに
せなけいこ 作・絵
童心社　p.18-19　1974 年
21.0×38.0　紙

35-5
ひとつめのくに
せなけいこ 作・絵
童心社　p.25　1974 年
21.0×19.0　紙・ペン

35-6
ひとつめのくに
せなけいこ 作・絵
童心社　p.27　1974 年
21.0×19.0　紙・色鉛筆

36-1
ばけものづかい
せなけいこ 作・絵
童心社　表紙、裏表紙　1974 年
24.0×41.0　紙・色鉛筆

36-2
ばけものづかい
せなけいこ 作・絵
童心社　p.17　1974 年
21.0×19.0　紙

36-3
ばけものづかい
せなけいこ 作・絵
童心社　p.19　1974 年
21.0×19.0　紙

36-4
ばけものづかい
せなけいこ 作・絵
童心社　p.27　1974 年
21.2×19.0　紙

37-1
くずかごおばけ
せなけいこ 作・絵
童心社　表紙、裏表紙　1975 年
24.0×41.5　紙・クレヨン

37-2
くずかごおばけ
せなけいこ 作・絵
童心社　p.8-9　1975 年
22.2×37.8　紙・クレヨン

37-3
くずかごおばけ
せなけいこ 作・絵
童心社　p.10-11　1975 年
22.1×37.7　紙

37-4
くずかごおばけ
せなけいこ 作・絵
童心社　p.14-15　1975 年
22.2×38.0　紙

4-2　せなけいこといえば、おばけえほん

38-1
おばけいしゃ
せなけいこ 作・絵
童心社　表紙、裏表紙　1992 年
23.1×41.0　紙

38-2
おばけいしゃ
せなけいこ 作・絵
童心社　p,22-23　1992 年
22.6×40.1　紙・色鉛筆・鉛筆

39-1
どうぐのおばけ
せなけいこ 作・絵
童心社　表紙、裏表紙　1993 年
23.0×34.1　紙・鉛筆・ペン

39-2
どうぐのおばけ
せなけいこ 作・絵
童心社　p.6　1993 年
21.3×19.3　紙

39-3
どうぐのおばけ
せなけいこ 作・絵
童心社　p.8　1993 年
21.3×19.2　紙・色鉛筆・ペン

40-1
てんぐさてんぐ
せなけいこ 作・絵
童心社　表紙、裏表紙　1994 年
22.3×39.0　紙・色鉛筆・鉛筆

40-2
てんぐさてんぐ
せなけいこ 作・絵
童心社　p.14-15　1994 年
21.6×37.7　紙・色鉛筆・鉛筆

41-1
ろくろっくび
せなけいこ 作・絵
童心社　表紙、裏表紙　1995 年
24.5×41.3　紙・色鉛筆

41-2
ろくろっくび
せなけいこ 作・絵
童心社　p.14-15　1995 年
22.3×39.1　紙・色鉛筆・鉛筆

42-1
うさたろうのばけもの日記
せなけいこ 作・絵
童心社　表紙、裏表紙　1995 年
23.5×39.0　紙・ペン

42-2
うさたろうのばけもの日記
せなけいこ 作・絵
童心社　p.4-5　1995 年
22.5×38.0　紙・ペン

42-3
うさたろうのばけもの日記
せなけいこ 作・絵
童心社　p.40-41　1995 年
22.4×37.9　紙・ペン

42-4
うさたろうのばけもの日記
せなけいこ 作・絵
童心社　p.46-47　1995 年12 月
22.6×37.8　紙・ペン

43-1
とうふこぞう
せなけいこ 作・絵
童心社　表紙、裏表紙　2000 年
24.3×40.0　紙・色鉛筆

43-2
とうふこぞう
せなけいこ 作・絵
童心社　p.14-15　2000 年
22.2×38.0　紙・鉛筆・ペン

44-1
ばけねこになりたい
せなけいこ 作・絵
童心社　p.4-5　2001 年
22.0×38.2　紙・色鉛筆・鉛筆・ペン

44-2
ばけねこになりたい
せなけいこ 作・絵
童心社　p.6　2001 年
22.0×20.3　紙・鉛筆

45-1
ふでこぞう
せなけいこ 作・絵
童心社　表紙、裏表紙　2002 年
23.9×39.6　紙・色鉛筆

45-2
ふでこぞう
せなけいこ 作・絵
童心社　p.12-13　2002 年
22.2×38.2　紙・色鉛筆・鉛筆

46-1
おばけのこもりうた
せなけいこ 作・絵
童心社　表紙、裏表紙　2003 年
24.4×40.0　紙

46-2
おばけのこもりうた
せなけいこ 作・絵
童心社　p.12-13　2003 年
22.2×38.0　紙

4-3　ゆうれい

47-1
ゆうれいのたまご
せなけいこ 作・絵
童心社　表紙、裏表紙　1992 年
23.0×41.0　紙・色鉛筆

47-2
ゆうれいのたまご
せなけいこ 作・絵
童心社　p.4　1992 年
22.6×20.4　紙・色鉛筆

47-3
ゆうれいのたまご
せなけいこ 作・絵
童心社　p.19　1992 年
22.6×20.1　紙・色鉛筆

48-1
ゆうれいと すいか
くろだかおる 作/せなけいこ 絵
ひかりのくに　表紙、裏表紙　1995 年
1995 年『おはなしひかりのくに』20(5)（ひかりのくに）/　1997 年単行本化（ひかりのくに）
28.0×45.0　紙

48-2
ゆうれいと すいか
くろだかおる 作/せなけいこ 絵
ひかりのくに　p.8-9　1995 年
1995 年『おはなしひかりのくに』20(5)（ひかりのくに）/　1997 年単行本化（ひかりのくに）
27.4×44.0　紙

48-3
ゆうれいと すいか
くろだかおる 作/せなけいこ 絵
ひかりのくに　p.32-33　1995 年
1995 年『おはなしひかりのくに』20(5)（ひかりのくに）/　1997 年単行本化（ひかりのくに）
27.2×44.0　紙・墨

49-1
はらぺこゆうれい
せなけいこ 作・絵
童心社　表紙、裏表紙　1999 年
24.1×42.0　紙

49-2
はらぺこゆうれい
せなけいこ 作・絵
童心社　p.12-13　1999 年
22.0×38.0　紙・色鉛筆・鉛筆

49-3
はらぺこゆうれい
せなけいこ 作・絵
童心社　p.14-15　1999 年
22.2×38.2　紙

50-1
ゆうれいと なきむし
くろだかおる 作/せなけいこ 絵
ひかりのくに　表紙、裏表紙　2000 年
2000 年『おはなしひかりのくに』（ひかりのくに）25（3）/ 2005年単行本化（ひかりのくに）
29.8×47.1　紙・色鉛筆・鉛筆

50-2
ゆうれいと なきむし
くろだかおる 作/せなけいこ 絵
ひかりのくに　p.22-23　2000 年
2000 年『おはなしひかりのくに』（ひかりのくに）25（3）/ 2005年単行本化（ひかりのくに）
27.8×45.1~45.5　紙・色鉛筆

51-1
ゆうれいと どろぼう
くろだかおる 作/せなけいこ 絵
ひかりのくに　表紙、裏表紙　2006 年
2006 年『おはなしひかりのくに』（ひかりのくに）31（4）/ 2012年単行本化（ひかりのくに）
29.0×46.3　紙・色鉛筆

51-2
ゆうれいと どろぼう
くろだかおる 作/せなけいこ 絵
ひかりのくに　p.6-7　2006 年　2006 年『おはなしひかりのくに』（ひかりのくに）31（4）/ 2012年単行本化（ひかりのくに）
27.5×44.2　紙・色鉛筆

5　終わらないせなけいこの絵本世界

5-1　めがねうさぎとおばけ

52-1
めがねうさぎの
クリスマスったら クリスマス
せなけいこ 作・絵
ポプラ社　表紙、裏表紙　2002 年
27.9×44.9　紙・色鉛筆

52-2
めがねうさぎの
クリスマスったら クリスマス
せなけいこ 作・絵
ポプラ社　p.30-31　2002 年
26.0×43.1　紙

53-1
めがねうさぎの
うみぼうずがでる!!
せなけいこ 作・絵
ポプラ社　表紙、裏表紙　2005 年
27.4×44.2　紙・色鉛筆・鉛筆

53-2
めがねうさぎの
うみぼうずがでる!!
せなけいこ 作・絵
ポプラ社　p.30-31　2005 年
25.3×42.0　紙

54-1
おばけなんてないさ
せなけいこ 作・絵/橘みのり　作詞/峯陽　作曲
ポプラ社　表紙　2009 年
23.9×24.0　紙・色鉛筆

54-2
おばけなんてないさ
せなけいこ 作・絵/橘みのり　作詞/峯陽　作曲
ポプラ社　P.5　2009 年
22.1×21.2　紙・色鉛筆

55-1
おばけのばあ
せなけいこ 作・絵
KADOKAWA　p.20　2019 年
36.2×25.7　紙

55-2
おばけのばあ
せなけいこ 作・絵
KADOKAWA　カバー袖　2019 年
35.2×25.5　紙

5-2　新装絵本

56-1
いじわる（紙芝居）
瀬名恵子 作・絵
童心社　紙芝居　1978 年
27.6×39.8　紙・クレヨン

56-2
いじわる（紙芝居）
瀬名恵子 作・絵
童心社　紙芝居　1978 年
27.5×39.8　紙・色鉛筆・クレヨン

57-1
いじわる（絵本）
せなけいこ 作・絵
鈴木出版　p.2-3　1983 年
1983 年『こどものくに　チューリップ版 10（10）』（鈴木出版）/　2012 年単行本化（鈴木出版）
22.0×57.0　紙・色鉛筆・鉛筆

57-2
いじわる（絵本）
せなけいこ 作・絵
鈴木出版　p.8-9　1983 年
1983 年『こどものくにチューリップ版 10（10）』（鈴木出版）/　2012 年単行本化（鈴木出版）
22.0×56.8　紙・色鉛筆

58-1
たんぽぽねこ（絵本）
せなけいこ 作・絵
鈴木出版　表紙・裏表紙　1991 年
1991 年『こどものくに　チューリップ版 18（12）』/2015年単行本化（鈴木出版）
22.0×57.1　紙

58-2
たんぽぽねこ（絵本）
せなけいこ 作・絵
鈴木出版　p.8-9　1991 年
1991 年『こどものくに　チューリップ版 18（12）』/2015年単行本化（鈴木出版）
21.3×56.1　紙

58-3
たんぽぽねこ（絵本）
せなけいこ 作・絵
鈴木出版　p.22-23　1991 年
1991 年『こどものくに　チューリップ版 18（12）』/2015年単行本化（鈴木出版）
21.2×56.0　紙

59-1
たんぽぽねこ（紙芝居）
瀬名恵子 脚本・絵
童心社　2001 年
27.4×40.1　紙・鉛筆

59-2
たんぽぽねこ（紙芝居）
瀬名恵子 脚本・絵
童心社　2001 年
27.4×40.1　紙・鉛筆

59-3
たんぽぽねこ（紙芝居）
瀬名恵子 脚本・絵
童心社　2001 年
27.5×40.1　紙・色鉛筆・鉛筆

60-1
メロウ
せなけいこ 再話・絵
ポプラ社　表紙　2011 年
27.2×39.4　紙

60-2
メロウ
せなけいこ 再話・絵
ポプラ社　p.2-3　2011 年
27.5×39.8　紙

60-3
メロウ
せなけいこ 再話・絵
ポプラ社　p.8-9　2011 年
27.4×39.6　紙

60-4
メロウ
せなけいこ 再話・絵
ポプラ社　p.12-13　2011 年
27.3×39.4　紙

61-1
星のひとみ
せなけいこ 絵 /
石井睦美 文 /
サカリアス・トペリウス 原作
KADOKAWA　タイトル（コニグラフ）、表紙題字（絵本）　2018年
※幻灯原画（1960年頃コニグラフ・プロダクション製作）
14.1×18.8　紙

61-2
星のひとみ
せなけいこ 絵 /
石井睦美 文 /
サカリアス・トペリウス 原作
KADOKAWA　p.9　2018年
※幻灯原画（1960年頃コニグラフ・プロダクション製作）
14.0×19.5　紙・色鉛筆

61-3
星のひとみ
せなけいこ 絵 /
石井睦美 文 /
サカリアス・トペリウス 原作
KADOKAWA　p.13　2018 年
※幻灯原画（1960 年頃 コニグラフ・プロダクション製作）
14.5×19.5　紙・色鉛筆

61-4
星のひとみ
せなけいこ 絵 /
石井睦美 文 /
サカリアス・トペリウス 原作
KADOKAWA　p.19　2018 年
※幻灯原画（1960 年頃 コニグラフ・プロダクション製作）
14.8×19.5　紙・色鉛筆

61-5
星のひとみ
せなけいこ 絵 /
石井睦美 文 /
サカリアス・トペリウス 原作
KADOKAWA　p.23　2018 年
※幻灯原画（1960 年頃 コニグラフ・プロダクション製作）
13.9×19.5　紙

61-6
星のひとみ
せなけいこ 絵 /
石井睦美 文 /
サカリアス・トペリウス 原作
KADOKAWA　p.30　2018 年
※幻灯原画（1960 年頃 コニグラフ・プロダクション製作）
14.6×19.4　紙

62-1
もみの木
アンデルセン 作 / せなけいこ 絵
KADOKAWA　タイトル（コニグラフ）、表紙題字（絵本）　2019 年
※幻灯原画（1960 年頃 コニグラフ・プロダクション製作）
14.7×19.5　紙

62-2
もみの木
アンデルセン 作 / せなけいこ 絵
KADOKAWA　p.9　2019 年
※幻灯原画（1960 年頃 コニグラフ・プロダクション製作）
14.4×19.5　紙

62-3
もみの木
アンデルセン 作 / せなけいこ 絵
KADOKAWA　p.13　2019 年
※幻灯原画（1960 年頃 コニグラフ・プロダクション製作）
14.7×19.4　紙・色鉛筆・鉛筆

62-4
もみの木
アンデルセン 作 / せなけいこ 絵
KADOKAWA　p.18　2019 年
※幻灯原画（1960 年頃 コニグラフ・プロダクション製作）
14.4×19.4　紙・色鉛筆

62-5
もみの木
アンデルセン 作 / せなけいこ 絵
KADOKAWA　p.27　2019 年
※幻灯原画（1960 年頃 コニグラフ・プロダクション製作）
14.5×19.2　紙

62-6
もみの木
アンデルセン 作 / せなけいこ 絵
KADOKAWA　p.31　2019 年
※幻灯原画（1960 年頃 コニグラフ・プロダクション製作）
14.4×19.4　紙・色セロファン

ヨーロッパ絵画400年の旅
―珠玉の東京富士美術館コレクション

会　　期　2021年7月9日(金)－8月29日(日)

会　　場　岡山県立美術館　地下展示室
主　　催　岡山県立美術館、山陽新聞社、RSK山陽放送
後　　援　岡山県教育委員会、岡山市教育委員会、(公財) 岡山県郷土文化財団、(公社) 岡山県文化連盟、(一財) 岡山県国際交流協会、oniビジョン、FM岡山
特別協賛　浅野産業株式会社
協　　賛　光村印刷
協　　力　ヤマト運輸

【趣旨】

東京都八王子市にある東京富士美術館は、日本・東洋・西洋の各国・各時代の様々なジャンルの美術作品約3万点を収蔵している。なかでも16世紀のイタリア・ルネサンス絵画から20世紀絵画まで、400年にわたるヨーロッパ絵画の歴史を辿ることのできる充実した油彩画コレクションは、日本のみならず海外でも広く知られている。

本展では、同館の誇る珠玉の西洋絵画コレクションのなかから、ティントレット、ヴァン・ダイク、ブーシェ、ターナー、モネ、ルノワール、セザンヌ、モディリアーニといった西洋絵画史に燦然とその名を刻む巨匠たちの作品83点を紹介した。

【関連事業】

●記念講演会「名画を旅する90分」
　日　時：7月10日（土）14:00－15:30
　講　師：五木田聡氏（東京富士美術館長）
　会　場：2階ホール

●美術の夕べ「担当学芸員によるスライドトーク」
　日　時：8月14日（土）17:00－18:00
　講　師：橋村直樹（学芸員）
　会　場：地下講義室

ポスター（B2）

ポスター（B3）

チラシ（A3二つ折り外）

チラシ（A3二つ折り内）

出品作品リスト｜List of Exhibits

I. 絵画の「ジャンル」と「ランク付け」
"Genres" and "Hierarchies" of Paintings

I-1. 歴史画──神話、物語、歴史を描く～絵画の最高位～

No.	作家名 Artist	作品名 Title	制作年 Date	技法／材質 Technique	寸法(cm) Size (cm)	所蔵番号 Inv. no.
1	ベルナルド・ストロッツィ Bernard Strozzi	アブドロミノに奪われた王位を返還するアレクサンドロス大王 *Alexander the Great Restoring the Throne Usurped from Abdolomino*	1615-17年頃 c. 1615-17	油彩／カンヴァス Oil on canvas	123.0 × 175.0 cm 123.0 × 175.0 cm	1054 AC 3
2	ヘラルト・デ・ライレッセ Gérard de Lairesse	天使たちを迎えるアブラハム *Abraham Receiving Angels*	17世紀後半 Late 17th century	油彩／カンヴァス Oil on canvas	116.5 × 178.0 cm 116.5 × 178.0 cm	1231 AQ 1
3	アールト・デ・ヘルダー Aert de Gelder	ダヴィデ王を諫めるナタン *Nathan Admonishes King David*	1683年 1683	油彩／カンヴァス Oil on canvas	99.0 × 125.5 cm 99.0 × 125.5 cm	1106 AM 16
4	ノエル=ニコラ・コワペル Noël-Nicolas Coypel	ヴィーナスの誕生 *Birth of Venus*	1732年頃 c. 1732	油彩／カンヴァス Oil on canvas	81.0 × 64.0 cm 81.0 × 64.0 cm	729 AB 32
5	クラウディオ・フランチェスコ・ボーモン Claudio Francesco Beaumont	ハンニバルの生涯──場面不詳(スペイン進軍前日に生け贄の準備をするハミルカル?) *The Life of Hannibal: (Unknown Scene) Hamilcar Prepares a Sacrifice on the Day Before Advancing Toward Spain (?)*	1731-47年 1731-47	油彩／カンヴァス Oil on canvas	98.0 × 47.5 cm 98.0 × 47.5 cm	1134 AC 4
6	クラウディオ・フランチェスコ・ボーモン Claudio Francesco Beaumont	ハンニバルの生涯──ローマに対する永遠の憎しみを誓う少年ハンニバル *The Life of Hannibal: The Boy Hannibal Vows Eternal Hatred for Rome*	1731-47年 1731-47	油彩／カンヴァス Oil on canvas	98.0 × 47.5 cm 98.0 × 47.5 cm	4316 AC 5
7	クラウディオ・フランチェスコ・ボーモン Claudio Francesco Beaumont	ハンニバルの生涯──サグントゥムの戦いを前に勝利品の報酬を約束し、兵士を鼓舞するハンニバル *The Life of Hannibal: Hannibal Inspires a Soldier Before the Battle of Saguntum, Promising him a Reward*	1731-47年 1731-47	油彩／カンヴァス Oil on canvas	98.0 × 47.5 cm 98.0 × 47.5 cm	4317 AC 6
8	クラウディオ・フランチェスコ・ボーモン Claudio Francesco Beaumont	ハンニバルの生涯──財産を町に集めるサグントゥムの人々 *The Life of Hannibal: People in Saguntum Gather Their Possessions in the Town*	1731-47年 1731-47	油彩／カンヴァス Oil on canvas	98.0 × 47.5 cm 98.0 × 47.5 cm	4318 AC 7
9	クラウディオ・フランチェスコ・ボーモン Claudio Francesco Beaumont	ハンニバルの生涯──ハンニバルに財産を差し出すサグントゥムの人々 *The Life of Hannibal: People in Saguntum Give Their Possessions to Hannibal*	1731-47年 1731-47	油彩／カンヴァス Oil on canvas	98.0 × 47.5 cm 98.0 × 47.5 cm	4319 AC 8
10	クラウディオ・フランチェスコ・ボーモン Claudio Francesco Beaumont	ハンニバルの生涯──アルプスを越えるハンニバル *The Life of Hannibal: Hannibal Crossing the Alps*	1731-47年 1731-47	油彩／カンヴァス Oil on canvas	98.0 × 47.5 cm 98.0 × 47.5 cm	4320 AC 9
11	フランソワ・ブーシェ François Boucher	田園の奏楽 *Pastoral Music*	1743年 1743	油彩／カンヴァス Oil on canvas	92.0 × 72.5 cm 92.0 × 72.5 cm	529 AB 19
12	ジャック=ルイ・ダヴィッドの工房 Workshop of Jacques-Louis David	サン=ベルナール峠を越えるボナパルト *Bonaparte Crossing the Great St. Bernard*	1805年 1805	油彩／カンヴァス Oil on canvas	73.5 × 59.0 cm 73.5 × 59.0 cm	3547 AB 109

I-2. 肖像画──王侯貴族から市民階級へ～あるべき姿／あるがままの姿～

13	ティントレット(ヤーコポ・ロブスティ) Jacopo Robusti, called Tintoretto	蒐集家の肖像 *Portrait of Collector*	1560-65年 1560-65	油彩／カンヴァス Oil on canvas	111.0 × 90.0 cm 111.0 × 90.0 cm	3724 AC 24

14	フランス・ハルス Frans Hals	男の肖像 *Portrait of a Man*	1633年 1633	油彩／カンヴァス Oil on canvas	102.9 × 88.9 cm 102.9 × 88.9 cm	1235 AM 23
15	アントニー・ヴァン・ダイク Anthony van Dyck	アマリア・ファン・ソルムス=ブラウンフェルスの肖像 *Portrait of Amalia van Solms-Braunfels*	1629年 1629	油彩／カンヴァス Oil on canvas	114.3 × 95.9 cm 114.3 × 95.9 cm	1595 AM 27
16	アントニー・ヴァン・ダイク Anthony van Dyck	ベッドフォード伯爵夫人 アン・カーの肖像 *Portrait of Anne Carr, Countess of Bedford*	1639年 1639	油彩／カンヴァス Oil on canvas	103.0 × 79.5 cm 103.0 × 79.5 cm	1086 AM 15
17	ジャン=マルク・ナティエ Jean-Marc Nattier	フェルテ=アンボー侯爵夫人 *Portrait of the Marquise de la Ferté-Imbault*	1740年 1740	油彩／カンヴァス Oil on canvas	145.0 × 115.0 cm 145.0 × 115.0 cm	533 AB 23
18	フランシスコ・デ・ゴヤ・イ・ルシエンテス Francisco de Goya y Lucientes	ブルボン=ブラガンサ家の王子、ドン・セバスティアン・マリー・ガブリエル *Portrait of Don Sebastien Marie Gabriel de Bourbon-Bragance*	1815-20年頃 c. 1815-20	油彩／カンヴァス Oil on canvas	144.0 × 105.0 cm 144.0 × 105.0 cm	1292 AF 2
19	ジャック=ルイ・ダヴィッドの工房 Workshop of Jacques-Louis David	戴冠式の皇帝ナポレオン *Portrait of Napoléon from David's "Coronation of the Emperor and the Empress"*	1808年頃 c. 1808	油彩／カンヴァス Oil on canvas	69.8 × 50.5 cm 69.8 × 50.5 cm	6189 AB 124
20	エリザベート=ルイーズ・ヴィジェ=ルブラン Elisabeth-Louise Vigée-Le Brun	ルイ16世の妹 エリザベート王女 *Portrait of Princess Elisabeth of France, Sister of Louis XVI*	1782年 1782	油彩／カンヴァス Oil on canvas	76.5 × 61.0 cm 76.5 × 61.0 cm	3625 AB 117
21	ロベール・ルフェーヴル Robert Lefèvre	ナポレオン1世 *Portrait of Napoléon I*	19世紀 19th century	油彩／カンヴァス Oil on canvas	65.0 × 54.5 cm 65.0 × 54.5 cm	1111 AB 42
22	ジャック=ルイ・ダヴィッドの工房 Workshop of Jacques-Louis David	ナント侯アントワーヌ・フランセ伯爵の肖像 *Portrait of Count Français de Nantes*	1811年頃 c. 1811	油彩／カンヴァス Oil on canvas	116.0 × 76.5 cm 116.0 × 76.5 cm	6195 AB 130
23	ヘンリー・レイバーン Henry Raeburn	アダム・ファーガソンの肖像 *Portrait of Dr. Adam Ferguson*	18世紀後半 Late 18th century	油彩／カンヴァス Oil on canvas	126.0 × 100.5 cm 126.0 × 100.5 cm	1158 AE 25
24	ジャン=フランソワ・ミレー Jean-François Millet	男の肖像 *Portrait of a Man*	1840-41年頃 c. 1840-41	油彩／カンヴァス Oil on canvas	59.0 × 47.0 cm 59.0 × 47.0 cm	160 AB 13
25	ジョン・シンガー・サージェント John Singer Sargent	ハロルド・ウィルソン夫人 *Portrait of Mrs. Harold Wilson*	1897年 1897	油彩／カンヴァス Oil on canvas	152.5 × 96.5 cm 152.5 × 96.5 cm	1599 AP 5

I-3. 風俗画──市井の生活へのまなざし

26	パオロ・ヴェロネーゼと工房 Paolo Veronese and his workshop	少年と騎士見習 *A Boy and a Page*	1570年代 1570s	油彩／板から移されたカンヴァス Oil on canvas transferred from panel	205.0 × 104.0 cm 205.0 × 104.0 cm	1238 AC 13
27	ピエール・ベルゲーニュ Pierre Bergaigne	田園の奏楽 *The Pastoral Concert*	17世紀後半－18世紀初頭 Late 17th – Early 18th century	油彩／カンヴァス Oil on canvas	91.0 × 120.5 cm 91.0 × 120.5 cm	1126 AB 48
28	ジョシュア・レノルズ Joshua Reynolds	少女と犬 *A Young Girl and Her Dog*	1780年頃 c. 1780	油彩／カンヴァス Oil on canvas	77.5 × 63.5 cm 77.5 × 63.5 cm	1161 AE 26
29	トマス・ゲインズバラ Thomas Gainsborough	田舎家の前の人々 *Figures Before a Cottage*	1772-73年 1772-73	油彩／カンヴァス Oil on canvas	149.0 × 120.0 cm 149.0 × 120.0 cm	1138 AE 23
30	ウィリアム・アドルフ・ブーグロー William Adolphe Bouguereau	漁師の娘 *Daughter of Fisherman*	1872年 1872	油彩／カンヴァス Oil on canvas	116.0 × 87.5 cm 116.0 × 87.5 cm	1267 AB 82
31	ミケーレ・ゴルディジャーニ Michele Gordigiani	シルクのソファー *The Silk Divan*	1879年 1879	油彩／カンヴァス Oil on canvas	129.5 × 84.5 cm 129.5 × 84.5 cm	1269 AC 17
32	ジュール・ジェーム・ルージュロン Jules James Rougeron	鏡の前の装い *Toilette*	1877年 1877	油彩／カンヴァス Oil on canvas	58.5 × 40.0 cm 58.5 × 40.0 cm	50 AB 10

I-4. 風景画──「背景」から純粋な風景へ～自然と都市～

33	アンドリエス・ファン・エールトフェルト Andries van Eertvelt	オランダ船対バーバリ海賊船の海戦 *A Naval Battle Between Dutch Ships and Barbary Pirates*	17世紀前半 Early 17th century	油彩／カンヴァス Oil on canvas	73.0 × 99.2 cm 73.0 × 99.2 cm	1151 AM 21

34	ヤン・ファン・ホイエン Jan van Goyen	釣り人のいる川の風景 *Riverscape with Fishermen*	1644年 1644	油彩／カンヴァス Oil on canvas	100.6 × 134.9 cm 100.6 × 134.9 cm	1340 AM 26
35	サロモン・ファン・ロイスダール Salomon van Ruysdael	宿の前での休息 *The Halt Before the Inn*	1645年 1645	油彩／カンヴァス Oil on canvas	86.5 × 118.5 cm 86.5 × 118.5 cm	1107 AM 17
36	ウィレム・デ・ヘゥス Willem de Heusch	木立のある風景 *Landscape with Grove of Trees*	17世紀後半 Late 17th century	油彩／カンヴァス Oil on canvas	80.0 × 92.0 cm 80.0 × 92.0 cm	1058 AM 12
37	ヤン・ハッカールト Jan Hackaert	イタリア的な風景 *Italianate Landscape*	17世紀 17th century	油彩／カンヴァス Oil on canvas	88.5 × 109.5 cm 88.5 × 109.5 cm	1059 AM 13
38	カナレット（ジョヴァンニ・アントニオ・カナル） Giovanni Antonio Canal, called Canaletto	ヴェネツィア、サン・マルコ広場 *Piazza San Marco, Venice*	1732-33年頃 c. 1732-33	油彩／カンヴァス Oil on canvas	61.0 × 96.5 cm 61.0 × 96.5 cm	1239 AC 14
39	カナレット（ジョヴァンニ・アントニオ・カナル） Giovanni Antonio Canal, called Canaletto	ローマ、ナヴォーナ広場 *View of the Piazza Navona, Rome*	1750/51年頃 c. 1750/51	油彩／カンヴァス Oil on canvas	39.5 × 68.5 cm 39.5 × 68.5 cm	1240 AC 15
40	ウィリアム・ジェームズ William James	ヴェネツィア、スキアヴォーニ埠頭 *At a Pier in Schiavone, Venice*	18世紀 18th century	油彩／カンヴァス Oil on canvas	94.6 × 152.4 cm 94.6 × 152.4 cm	1156 AE 24
41	フランチェスコ・グァルディ Francesco Guardi	小さな広場と建物のあるカプリッチョ *Capriccio of Architecture with a Square*	1759年 1759	油彩／カンヴァス Oil on canvas	35.0 × 52.0 cm 35.0 × 52.0 cm	1942 AC 20

I-5. 静物画——動かぬ生命、死せる自然

42	ジャン=バティスト・モノワイエ Jean-Baptiste Monnoyer	花 *Flowers*	17世紀 17th century	油彩／カンヴァス Oil on canvas	90.0 × 70.0 cm 90.0 × 70.0 cm	1108 AM 18
43	コルネリス・ファン・スペンドンク Cornelis van Spaendonck	花と果物のある静物 *Still Life with Flowers and Fruits*	1804年 1804 年	油彩／カンヴァス Oil on canvas	93.0 × 73.0 cm 93.0 × 73.0 cm	1133 AM 19
44	アンリ・ファンタン=ラトゥール Henri Fantin-Latour	葡萄と桃のある静物 *Still Life with Grapes and a Peach*	19世紀後半 Late 19th century	油彩／カンヴァス Oil on canvas	30.0 × 41.0 cm 30.0 × 41.0 cm	1275 AB 88
45	ジョセフ・ロデファー・デキャンプ Joseph Rodefer De Camp	静物、バラ *Still Life, Roses*	1890年頃 c. 1890	油彩／カンヴァス Oil on canvas	94.0 × 152.5 cm 94.0 × 152.5 cm	1338 AP 1

II. 激動の近現代——「決まり事」の無い世界
Tumultuous Changes in Modern and Contemporary Art—World of Art without Rules

II-1.「物語」の変質——1. 物語／現実

46	ギヨーム・ギヨン・ルティエール Guillaume Guillon Lethière	パリの人々にルイ・フィリップを紹介するラ・ファイエット *La Fayette Introducing Louis Philippe to the People of Paris*	1831年頃 c. 1831	油彩／カンヴァス Oil on canvas	59.5 × 76.0 cm 59.5 × 76.0 cm	1132 AB 53
47	ジャック=フランソワ・スヴェバック Jacques-François Swebach	タボル山の戦い *The Battle of Mont Thabor*	1812年 1812	油彩／カンヴァス Oil on canvas	115.0 × 200.5 cm 115.0 × 200.5 cm	1277 AB 89
48	ジョセフ・マラード・ウィリアム・ターナー Joseph Mallord William Turner	ヘレヴーツリュイスから出航するユトレヒトシティ64号 *Helvoetsluys; the City of Utrecht, 64, Going to Sea*	1832年 1832	油彩／カンヴァス Oil on canvas	91.4 × 122.0 cm 91.4 × 122.0 cm	428 AE 7
49	ジャン=バティスト・カミーユ・コロー Jean-Baptiste Camille Corot	もの思い *A Pensive Girl*	1865-70年頃 c. 1865-70	油彩／カンヴァス Oil on canvas	46.3 × 38.1 cm 46.3 × 38.1 cm	1096 AB 35
50	ジャン=バティスト・カミーユ・コロー Jean-Baptiste Camille Corot	ユディト *Judith*	1872-74年頃 c. 1872-74	油彩／カンヴァス Oil on canvas	105.5 × 62.2 cm 105.5 × 62.2 cm	1287 AB 90
51	ウジェーヌ・ドラクロワ Eugène Delacroix	手綱を持つチェルケス人 *Circassian Holding a Horse by Its Bridle*	1858年頃 c. 1858	油彩／カンヴァス Oil on canvas	32.4 × 40.6 cm 32.4 × 40.6 cm	1603 AB 100
52	コンスタン・トロワイヨン Constant Troyon	家畜の群れ *Herd of Cattle*	1850-60年代 1850-60s	油彩／カンヴァス Oil on canvas	52.0 × 70.0 cm 52.0 × 70.0 cm	1102 AB 40

53	ジャン=フランソワ・ミレー Jean-François Millet	鵞鳥番の少女 *The Goosegirl*	1866-67年 1866-67	油彩／カンヴァス Oil on canvas	45.7 × 55.9 cm 45.7 × 55.9 cm	371 AB 15
54	シャルル=フランソワ・ドービニー Charles-François Daubigny	ヴィレールヴィルの海岸 *Seaside of Villerville*	1870年 1870	油彩／カンヴァス Oil on canvas	106.0 × 216.0 cm 106.0 × 216.0 cm	1617 AB 104
55	ギュスターヴ・クールベ Gustave Courbet	水平線上のスコール *Squall on the Horizon*	1872-73年 1872-73	油彩／カンヴァス Oil on canvas	53.6 × 72.4 cm 53.6 × 72.4 cm	1249 AB 72
56	ピエール=オーギュスト・ルノワール Pierre-Auguste Renoir	赤い服の女 *Young Woman in Red Dress*	1892年頃 c. 1892	油彩／カンヴァス Oil on canvas	65.4 × 54.5 cm 65.4 × 54.5 cm	1097 AB 36
57	フィンセント・ファン・ゴッホ Vincent van Gogh	鋤仕事をする農婦のいる家 *Cottage with Peasant Woman Digging*	1885年 1885	油彩／カンヴァス Oil on canvas	30.5 × 40.0 cm 30.5 × 40.0 cm	6126 AQ 3
58	ピエール・ボナール Pierre Bonnard	若い女 *Young Woman*	1905年頃 c. 1905	油彩／カンヴァス Oil on canvas	70.5 × 46.7 cm 70.5 × 46.7 cm	1597 AB 98
59	エドゥワール・ヴュイヤール Édouard Vuillard	婦人と子供 *Woman and Children*	1904年 1904	油彩／板に貼られた紙 Oil on paper mounted on board	56.0 × 54.5 cm 56.0 × 54.5 cm	1273 AB 87
60	マリー・ローランサン Marie Laurencin	二人の女 *Two Women*	20世紀前半 Early 20th century	油彩／カンヴァス Oil on canvas	65.5 × 54.5 cm 65.5 × 54.5 cm	1268 AB 83
61	アメデオ・モディリアーニ Amedeo Modigliani	ポール・アレクサンドル博士 *Portrait of Dr. Paul Alexandre*	1909年 1909	油彩／カンヴァス Oil on canvas	100.5 × 81.5 cm 100.5 × 81.5 cm	1212 AC 12

II-1.「物語」の変質——2. 幻想の世界へ

62	マルク・シャガール Marc Chagall	曲馬 *The Circus*	1967年 1967	油彩／カンヴァスに貼った紙 Oil on paper mounted on canvas	38.0 × 57.2 cm 38.0 × 57.2 cm	1272 AB 86
63	ジョルジオ・デ・キリコ Giorgio de Chirico	ヘクトルとアンドロマケ *Hector and Andromache*	1955年 1955	油彩／カンヴァス Oil on canvas	60.0 × 50.0 cm 60.0 × 50.0 cm	3576 AC 22
64	ルネ・マグリット René Magritte	観念 *Abstract Idea*	1966年 1966	油彩／カンヴァス Oil on canvas	41.0 × 33.0 cm 41.0 × 33.0 cm	3577 AZ 1
65	ルネ・マグリット René Magritte	再開 *The Resumption*	1965年 1965	油彩／カンヴァス Oil on canvas	40.5 × 33.0 cm 40.5 × 33.0 cm	3740 AZ 7

II-2.造形の革新——1. 光と色彩の饗宴

66	ウジェーヌ・ブーダン Eugène Boudin	ベルクの海岸 *Seashore of Berck*	1878年 1878	油彩／カンヴァス Oil on canvas	77.0 × 108.0 cm 77.0 × 108.0 cm	1208 AB 62
67	カミーユ・ピサロ Camille Pissarro	秋、朝、曇り、エラニー *Autumn, Morning, Cloudy, Eragny*	1900年 1900	油彩／カンヴァス Oil on canvas	65.0 × 81.0 cm 65.0 × 81.0 cm	1098 AB 37
68	アルフレッド・シスレー Alfred Sisley	牧草地の牛、ルーヴシエンヌ *Cows in Pasture, Louveciennes*	1874年 1874	油彩／カンヴァス Oil on canvas	60.0 × 73.0 cm 60.0 × 73.0 cm	1210 AB 64
69	アルフレッド・シスレー Alfred Sisley	レディース・コーヴ、ラングランド湾、ウェールズ *Lady's Cove, Langland Bay, Wales*	1897年 1897	油彩／カンヴァス Oil on canvas	65.0 × 81.0 cm 65.0 × 81.0 cm	1271 AB 85
70	ポール・セザンヌ Paul Cézanne	オーヴェールの曲がり道 *Detour in Auvers*	1873年頃 c. 1873	油彩／カンヴァス Oil on canvas	59.7 × 49.0 cm 59.7 × 49.0 cm	1248 AB 71
71	ギュスターヴ・カイユボット Gustave Caillebotte	トルーヴィルの別荘 *Cottage in Trouville*	1882年 1882	油彩／カンヴァス Oil on canvas	65.0 × 82.0 cm 65.0 × 82.0 cm	1250 AB 73
72	ポール・ゴーガン Paul Gauguin	水辺の柳、ポン=タヴェン *Willow by the Aven*	1888年 1888	油彩／カンヴァス Oil on canvas	76.2 × 62.5 cm 76.2 × 62.5 cm	9448 AB 131
73	アンリ・マルタン Henri Martin	画家の家の庭 *Garden of the Painter's House*	1902年 1902	油彩／カンヴァス Oil on canvas	83.0 × 72.0 cm 83.0 × 72.0 cm	1339 AB 95
74	アンリ・ル・シダネル Henri Le Sidaner	森の小憩、ジェルブロワ *A Break in the Woods, Gerberoy*	1925年 1925	油彩／カンヴァス Oil on canvas	150.5 × 126.0 cm 150.5 × 126.0 cm	1329 AB 92
75	アンリ・ル・シダネル Henri Le Sidaner	黄昏の古路 *Old Path in the Twilight*	1929年 1929	油彩／カンヴァス Oil on canvas	125.0 × 150.0 cm 125.0 × 150.0 cm	1253 AB 76

76	**モーリス・ユトリロ** **Maurice Utrillo**	モンマルトル、ノルヴァン通り *Norvins Street, Montmartre*	1916年頃 c. 1916	油彩／カンヴァス Oil on canvas	55.5 × 46.0 cm 55.5 × 46.0 cm	1252 AB 75
77	**モイーズ・キスリング** **Moïse Kisling**	花 *Flowers*	1929年 1929	油彩／カンヴァス Oil on canvas	73.0 × 54.3 cm 73.0 × 54.3 cm	1254 AB 77

II-2.造形の革新──2.フォルムと空間

78	**クロード・モネ** **Claude Monet**	睡蓮 *Water Lilies*	1908年 1908	油彩／カンヴァス Oil on canvas	101.0 × 90.0 cm 101.0 × 90.0 cm	426 AB 16
79	**エミール・ベルナール** **Émile Bernard**	城のあるスミュールの眺め *View of Castle in Semur*	1905年 1905	油彩／カンヴァス Oil on canvas	73.5 × 61.0 cm 73.5 × 61.0 cm	1270 AB 84
80	**アルベール・マルケ** **Albert Marquet**	トゥーロン湾の眺め *View of Toulon Harbour*	20世紀前半 Early 20th century	油彩／カンヴァス Oil on canvas	49.5 × 60.5 cm 49.5 × 60.5 cm	1963 AB 108
81	**モーリス・ド・ヴラマンク** **Maurice de Vlaminck**	セーヌ河畔の家並み *Appearance of Houses at the Riverside of the Seine*	1910年頃 c. 1910	油彩／カンヴァス Oil on canvas	60.0 × 73.0 cm 60.0 × 73.0 cm	1598 AB 99
82	**ジョルジオ・モランディ** **Giorgio Morandi**	静物 *Still Life*	1948-49年 1948-49	油彩／カンヴァス Oil on canvas	30.0 × 35.0 cm 30.0 × 35.0 cm	3742 AC 25
83	**ホアン・ミロ** **Joan Miró**	改革 *Reformation*	1916年 1916	油彩／カンヴァス Oil on canvas	56.0 × 42.0 cm 56.0 × 42.0 cm	3585 AF 3

第72回岡山県美術展覧会

会　　期　2021年9月8日(水)－9月19日(日)
Ⅰ期:9月8日(水)－9月12日(日)
Ⅱ期:9月15日(水)－9月19日(日)

会　　場　岡山県立美術館地下1階展示室
主　　催　岡山県、山陽新聞社、おかやま県民文化祭実行委員会
特別協賛　大本組
協　　力　公益財団法人マルセンスポーツ・文化振興財団
後　　援　岡山県教育委員会、岡山市、津山市

ポスター（B3）

【趣旨】

岡山県美術展覧会（略称：県展）は、戦後まもなく洋画県展、日本画県展として開かれたのが始まりである。その後、昭和28年に書道県展が生まれ、昭和34年の第10回展で、3展合同の県展が誕生した。その後、写真、工芸、彫刻の部門が加わる、現在全部で6部門の、名実ともに県下最大の総合美術展へと発展した。岡山美術界の充実と向上、そして県民への普及を目的に、毎年開催している。

昨年度（第71回展）はコロナウイルス感染症対策のため中止となったが、本年度は予定通り実施した。来館者には、手指消毒、検温を行い、来館者カード記入を依頼した。会場内では導線を確保し、滞留を防ぐ会場工作を行った。作品搬出については、密集を防ぐため、業者搬出入と個人搬出入を初めて使い分けて、異なる日程で実施した。当館では、全6部門のうち、洋画・彫刻部門を9月8日－9月12日に、工芸・写真部門を9月15日－9月19日に展示した。

	山陽新聞社大賞	山陽新聞社賞	岡山県知事賞	岡山県教育長賞	岡山市長賞	県展特別賞	桃花賞	地域奨励賞	県展賞	奨励賞	入選	委嘱以上	展示総数
日本画	0	1	1	1	1	0	0	1	4	6	43	17	75
洋画	1	2	1	1	1	1	2	1	18	21	142	53	243
工芸	1	1	1	1	1	1	0	1	6	10	59	36	117
書道（かな）	1	1	1	0	1	3	6	1	23	44	307	170	1,046
書道（漢字）	1	1	0	1	0	4	6	1	28	59	385		
書道（篆刻）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3		
写真	1	1	1	1	1	1	1	0	16	19	115	27	183
彫刻	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	8	20	31
計	5	8	5	6	5	10	15	5	96	160	1,062	323	1,695

作品応募数（一般出品者）	2,282 点
入賞・入選数	1,377 点
岡山会場　展示総数	1,695 点

星野道夫―悠久の時を旅する

会　　期　2021年9月28日（火）－11月7日（日）

会　　場　岡山県立美術館　地下展示室
主　　催　岡山県立美術館
協　　力　星野道夫事務所
企画協力　クレヴィス
後　　援　岡山県教育委員会、（公財）岡山県郷土文化財団、（公社）岡山県文化連盟

ポスター（B2）

ポスター（B3）

【趣旨】

星野道夫（1952－1996）はアラスカで暮らし、大自然に生きる動物を撮影した写真家。北極圏の自然や、野生動物と共生する人々の暮らし、語り継がれた神話など、星野は多くの出会いを通じて思索を深めながら「自然と人の関わり」を追い続けた。それらの記録は、写真集と書籍に綴られるほか、教科書掲載やテレビ・雑誌の特集などを通じて、今なお多くの人の心を打っている。

星野の没後25年にあたる2021年に開催された本展では、星野が20歳で初めて足を踏み入れたアラスカ・シシュマレフ村での記録から、事故で亡くなる直前まで撮影していたロシア・カムチャツカ半島での写真までを、愛用のカメラや自筆原稿などの貴重な資料や星野の言葉を交えて紹介し、星野道夫の43年の生涯と足跡をたどった。

【関連事業】

●記念講演会
「悠久の時を旅する　星野道夫が見続けた風景をたどって」
日　時：11月3日（水・祝）13:30－15:00
講　師：星野直子氏（星野道夫事務所代表）
会　場：2階ホール

●ワークショップ「スライドトークと鹿革小物づくり」
日　時：10月23日（土）
10:00－12:00、14:00－16:00
11月6日（土）
10:00－12:00、14:00－16:00
講　師：渋谷肇氏（革職人）
会　場：地下講義室

チラシ（A4表）

チラシ（A4裏）

【出品目録】

凡例
＊写真のキャプション(解説文)は、星野道夫が雑誌発表時に記したものやエッセイから抜粋して構成した。
＊文章は星野道夫の表記に基づいた。
＊撮影地が判明しているものは末尾に付した。

プロローグ

星野道夫は、大学1年生時に東京・神田の古本屋街で一冊の洋書に出会う。『アラスカ』である。この本に掲載された小さなエスキモーの村の空撮写真に魅せられ、その村シシュマレフの村長宛に手紙を出すと、半年後に返事が届いた。1973年の夏 、星野はシシュマレフに赴き、極北の大自然の中で狩猟生活を営むエスキモーの大家族の家で3カ月を過ごした。

1 空から見たシシュマレフ村。ベーリング海と北極海がぶつかる海域に浮かぶ小さな島。

2 シシュマレフ村の子どもたちとともに。夕方の浜辺を歩いていると、子どもたちがみんな集まってきた。

3 干されたアザラシの肉。アザラシは食料としてだけでなく、皮も衣類のほか多様な用途で使われる。

4 アザラシの脂肪を切り取り、エスキモーの生活に欠かせない「シールオイル」をつくる。

5 浜辺で女たちがアザラシの解体作業をし、肉を干してドライシールにする。

6 シシュマレフ村で滞在したウェイオワナ家の娘ティナ、3歳。

第1章　生命の不思議―極北の動物たちとの出会い

星野道夫は大学の卒業が近づいたころ、アラスカの自然や、そこに生きる人々の暮らしを写真を通して表現できないだろうかと写真を意識しだす。慶應義塾大学卒業後、動物写真家の助手を2年間務めたのち、1978年、フェアバンクスのアラスカ大学野生動物管理学部に入学。厳しい自然の中に息づく野生動物に惹かれ、1年の大半を旅に過ごして自然写真家としての道を歩み始めた。

7 4月、次々に移動を始めたカリブーの群れが、凍結した雪土を進む。軽快な足音が、遅い春の訪れを告げる。

8 雪解け水の濁流を渡る。群れ全体がおぼれ死ぬこともある。1000キロ近くも北へ移動しながら北極圏の出産地へ向かう。

9 りっぱな角をもつ雄のカリブー。

10 カリブーの出産は6月初旬。母親が胎盤を食べる。生まれたばかりの子どもを、オオカミやグリズリーが狙っている。　コンガクット川流域。

11 一刻も早く走れるようになることが生存のカギだ。親にはぐれた子どもは餌食になるなどして、成長することがない。
コンガクット川流域。

12 夏は大切な採食の季節だ。デナリ国立公園

13 何万頭というカリブーの大群をセスナから空撮する。この土地が内包する生命という潮の流れを感じた。

14 見わたす限りのカリブーの海。それはアラスカの夏の自然が内包する生の営みの爆発だった。遠景に見えるのはブルックス山脈。

15 秋の夕暮れ、カリブーが極北の河を何かに急がされているように渡っていった。

16 カリブーの角の大きさが雄たちの順位を決める。デナリ国立公園。

17 白夜のツンドラはワタスゲの海だった。カリブーの群れが次々に現れる。

18 春のアラスカ北極圏、群れにはぐれてさまようカリブー。

19 真冬に穴の中で生まれた子グマが、初めて地上の光を受ける。暖かい春の光を浴びながら歩くグリズリーの親子をアラスカ山脈に見た。

20 生きものたちは、どんな思いで初雪を迎えるのだろうか。

21 グリズリーの親子。冬ごもりの巣穴で生まれた子グマが初めての夏を迎える。

22 グリズリーは鋭い爪のある前足と口を使い、数キログラムにも及ぶサケを巧みにつかまえる。サケの数がピークに達すると、もっとも栄養のある頭と卵しか食べない。

23 滝を越え遡上してきたサケとグリズリー。カトマイ国立公園。

24 グリズリーの食べ残しのサケを狙ってハクトウワシやカモメが飛び込んできた。

25 3年目に親離れしたグリズリーの兄弟は、その後もしばらく共に行動する場合が多い。

26 山の初雪と麓の紅葉は同時にやってくる。大気の中に冬の匂いを感じる。カトマイ国立公園。

27 草むらに潜むグリズリーが、黄金色に輝いていた。

28 秋、交尾のテリトリーをつくったムース（ヘラジカ）の雄は、侵入する雄ジカと戦う。闘争のシンボルである角が互角であるほど、戦いは長く、激しくなる。

29 ムースは普通、5月に2頭の子を出産する。この時期、餌のないグリズリーに狙われるため、雌ジカはあたりの物音に気を配りながら、森の中で子どもを育てる。

30 毎年落ちてしまう角が急速に伸びる。

31 湖を泳ぎ渡る雄ジカ。夏、水草はムースの大事な食物となる。

32　赤や黄色に色を変えた原野でムースが静かに水草を食べている。遠くにデナリにつながる山々が見える。デナリ国立公園。

33　夕暮れの湖で水草を食べるムース。デナリが夕陽を浴びていた。デナリ国立公園　ワンダーレイク。

34　8月の終わり、ムースはビロード状の袋角の表皮をはぎ落とし、それが幾条にもなって垂れ下がっている。

35　成熟した雄のムースの身体は800kgにも達する。

36　雪原に残されたカリブーの足跡とオオカミ。オオカミは、アラスカでもっとも見ることが困難な動物である。用心深く、人のいるところにはほとんど現れない。

37　7月、デナリで撮影した1頭のオオカミ。

38　ホッキョクギツネの子ども。夏の間は灰褐色の夏毛で、冬には真っ白の冬毛になる。

39　岩場に棲むナキウサギ。鳴き声がキューンと響く。

40　オコジョ。ホッキョクギツネと同様、冬には全身が真っ白になる。

41　ホッキョクジリスは数少ない完全な冬眠をする動物だ。体温を氷点近くまで下げ、半年の間、死んだように眠っている。

42　ホッキョクジリスは、ほとんどアラスカ全域に生息し、多くの肉食動物の獲物になっている。

43　オオカミやクマを避けながら、山上で夏を過ごすドールシープの親子。

44　高山に棲むドールシープ。子どもがいると、空からはイヌワシに狙われ、陸ではオオカミが天敵。だから、いつも親子やグループで行動する。

45　ドールシープの雄は大きくカーブした角を生やしている。

46　ジャコウウシは、北極圏に群れで生息している。オオカミから子どもを守るため、円陣を組んで移動する。

47　ジャコウウシの雄同士の頭突きは繁殖期に見られる。

48　アメリカの国鳥ハクトウワシ。かつてアメリカ本土では激減したが、保護活動により個体数は回復している。

49　ハクトウワシは、南東インディアンにとって宗教的な意味をもった鳥。

50　初冬のチルカット川へ産卵を終えたサケを求めて集まるハクトウワシ。

51　南風に乗って、ハマシギがアラスカに渡ってきた。

52　地の果てのような北極海の崖で営巣する数百万という海鳥は、ぼくにこの海の豊かさを教えてくれた。　ケープトンプソン。

53　翼を広げると約1.5mもある巨大なシロフクロウの営巣。４つの卵がかえっていた。コルビル川流域。

54　親鳥がレミング（ネズミの仲間）をくわえて巣に戻ってくる。コルビル川流域。

55　シロフクロウのヒナ。荒涼とした世界でも、生命は確実に息づいている。コルビル川流域。

56　氷河から崩れ落ちた氷塊の上で羽を休めるカモメ。

57　静まりかえった朝、霧の中からザトウクジラの呼吸音だけが聞こえていた。

58　ザトウクジラは、泡を出しながらニシンの群れを取り巻くように回り、ニシンを輪の中に閉じ込める。

59　ザトウクジラは口を開けながら一気に海中から飛び出し、ニシンを口に入れる。

60　泡の檻に閉じ込めたニシンの群れを下から口を開けたままひと呑みする。

61　ハワイで冬を過ごしたザトウクジラは、4000キロの旅を経てアラスカの海にやってくる。潮を吹き上げながら進む。

62　40～50トンの巨体が宙に舞う「ブリーチング」。

63　象牙と同じように、その高価な牙をとるため、一時乱獲されたセイウチ。

64　南アラスカの無人島、ラウンド島で昼寝をするセイウチ。セイウチはその風貌に似合わず臆病である。

65　ゼニガタアザラシ。海洋エスキモーにとってもホッキョクグマにとっても重要な食料となる。

66　豊かな南東アラスカの海に群れるトド。

67　カナダ南東部、セントローレンス湾の氷上で生まれたタテゴトアザラシの子ども。

68　春は生命の誕生の季節。タテゴトアザラシの親子。カナダ、セントローレンス湾。

69　生まれたばかりのタテゴトアザラシ。生後2週間で、毎日少しずつ毛が変わり、親離れする。その間、泳ぎや魚の獲り方を学ぶ。カナダ、セントローレンス湾。

70　ブリザードの氷原をゆくホッキョクグマ（ナヌーク）の親子。子育ては雌だけがする。カナダ、ハドソン湾。

71　ブリザード（地吹雪）のあと。一年中アザラシを探し続けるホッキョクグマは、数キロも離れたところからも、においを嗅ぎつけられる。カナダ、ハドソン湾。

72　エスキモーの伝説には、多くの人格化されたホッキョクグマの話が出てくる。カナダ、ハドソン湾。

73　母子が一緒に暮らすのはわずか2、3年である。授乳の風景は、厳しい北極の自然を一瞬なごませた。カナダ、ハドソン湾。

74　氷の世界に生きるクマがいる…それはどう考えても、非現実的な、物語の世界だった。カナダ、ハドソン湾。

75　ホッキョクグマの親子は、ぴったりかたまって、吹雪の中で眠る。カナダ、ハドソン湾。

76　若いホッキョクグマがじゃれ合っている。寒い日によく見られるのは、身体を温める目的もあるのだろうか。カナダ、ハドソン湾。

77　じゃれ合う若いホッキョクグマ。カナダ、ハドソン湾。

78　真っ白な毛で、雪や氷に溶け込むホッキョクギツネ。夏にはツンドラの岩場で目立たないグレーや褐色に変わる。

79　ホッキョクグマは、アザラシの脂肪だけを食べ、肉は残す。余り物を狙ってホッキョクギツネがあとをつける。カナダ、ハドソン湾。

80　ブリザードの中でたたずむホッキョクグマ。カナダ、ハドソン湾。

第2章　アラスカに生きる―人々との出会い

星野道夫は野生動物の撮影を続けるうちに、アラスカの自然を愛する多くの人々と繋がりを深めていった。また、カリブー、クジラ、ムースなど極北の動物を獲り独自の文化を育んできたエスキモーやインディアンたちに出会い、繋がりの輪を広げていく。1990年、星野はフェアバンクスの森の中に家を建て、旅行者の目ではなく、アラスカの住民として、この土地に関わっていくことを決意する。

81　生涯を森の狩猟生活に生きてきたウォルター・ノースウェイ。

82　米空軍のパイロットだったシリア・ハンター。1947年の元旦、ジニーとともに小型飛行機を操縦し、アメリカからアラスカへ27日間かけて飛んできた。

83　シリアの親友ジニー・ウッド。ともに空軍パイロットからブッシュパイロットの道をたどり、アラスカのパイオニア時代を生き抜いた。

84　ブッシュパイロットのドン・ロス。アラスカ北極圏を飛び続けるドンは、この土地の自然をもっとも知るパイロットの一人。

85　北極圏でカリブーを狙う。

86　カリブーの狩猟を終え、ポーキュパイン川を舟で村へ帰るアサバスカンインディアン。

87　エスキモーの猟師、クリアランス・ウッド。カリブーを解体するこの男の技は素晴らしかった。ハントリバー流域。

88　残されたわずかな肉のおこぼれにあずかるカケス。ハントリバー流域。

89　満月の夜、伝統的なクジラ漁のボート、ウミアックに乗り、氷海にクジラを追う。ボートはアゴヒゲアザラシの皮でつくられる。ポイントホープ村。

90　掛け声とともに氷の上に曳き上げられたクジラ。ポイントホープ村。

91　クジラの解体は、クジラを仕留めたクルーによって行われる。ポイントホープ村。

92　解体の最後にクジラのあごの骨を「来年もまた戻ってこいよ」と海に還す。エスキモーはあご骨にクジラの霊魂を託している。ポイントホープ村。

第3章　季節の色―自然との出会い

一年の半分を占め、氷点下50度にもなる苛烈なアラスカの冬。加えて冬至のころの一日の日照時間はわずかに3時間。それでも星野道夫は、冬が一番好きだという。この冬があるからこそ、春の訪れもドラマティックで、短い夏にあらゆる生命が成長と繁殖を一気呵成に押し進める。紅葉のピークもわずかに一日で移ろいゆく。星野は感覚を研ぎ澄まし、アラスカの季節の動く瞬間を捉えようとした。

93　ワイルドストロベリーの葉に初霜がおりる。

94　わが家の森に住むアカリス。アカリスはトウヒの森の番人だ。森を歩けば、あちこちから警戒音が聞こえてくる。

95　冬至を境に日照時間が延びはじめる。北極圏の大地に生きるすべての生きものは、一日一日春をたぐり寄せる実感をもつ。春一番の花、ワイルドクロッカス。

96　ある日、半年の間凍結していたユーコン川が大音響とともに割れ、一気に氷が流れ出してゆく。その日がアラスカの春の始まりだ。

97　北極圏のツンドラの夏。今はもう白夜の季節。太陽が一日中頭の上をぐるぐる回る不思議な季節だ。

98　風に揺れるワタスゲ。ついこの前、雪に埋まっていた谷はもう花が咲き乱れ、夏草の匂いがいっぱいだ。

99　森の中に咲くスカンクキャベッジ(ミズバショウ)と、苔むしたムースの角。角は厳しい極北の冬に齧歯類（げっしるい）の貴重なカルシウム源となる。

100　岩陰にはいつくばるように咲くワスレナグサをなかなか見つけられなかった。セントポール島（プリビロフ諸島）。

101　見過ごしてしまうほど、小さな可愛らしい花をつけるブルーベリー。

102　可憐なチョウノスケソウの花に舞うアサヒヒョウモンの一種。

103　フェアウェザー山脈から太平洋へと流れ込む氷河。アラスカの本当の大きさは、鳥の目になってみて、空から見ないとわからない。

104　南東アラスカのハバード氷河。引き潮とともに、たくさんの氷塊が打ち上げられる。

105　その昔、山に降り積もった雪が、長い時間をかけて氷河となり、流れ出し、やがて海に還ってゆく。気の遠くなるような水の輪廻。南東アラスカ、グレイシャーベイのアイスケーブ。

106　蘚類（せんるい）に覆われたレインフォレスト。オリンピック国立公園。

107 秋のツンドラ。カリブーは、ゆっくりとアラスカの大地に還っていく。ハントリバー流域。

108 ブルーベリーの実は寒さとともに甘くなる。

109 8月も終わりになると、アラスカの原野はゆっくりとツンドラの赤い絨毯に敷き詰められてゆく。デナリに近いポリクローム峠。デナリ国立公園。

110 紅葉のころ、地衣類のモザイクは、えも言われぬ美しさだ。

111 アルペングロウ（山頂光）に染まる夕暮れのデナリ（マッキンレー山）。北米の最高峰で、標高6190m。手前はワンダーレイク。デナリ国立公園。

112 新雪に覆われた、ブルックス山脈のアリゲッチ針峰群。ヨーロッパアルプスをアラスカ北極圏に見つけたような気がした。

113 1年の半分を占めるアラスカの冬。それは雪の世界である。

114 アラスカの冬は長く、生きもののように揺れ動くオーロラのカーテンが、極地に生きる人々の心をなぐさめる。

115 マイナス50度の世界に冷たい炎が舞い上がる厳冬のキャンプ。

第4章　森の声を聴く―神話との出会い

星野道夫は、1993年、妻とともに初めてカナダのハイダ・グワイ（クインシャーロット諸島）を訪れ、森の中で朽ち果てたトーテムポールに出会う。この世に光をもたらし、あらゆるものを創造したとされるワタリガラスが、苔むしたトーテムポールに刻まれていた。星野はその場所に霊的な力を感じとり、極北のインディアンやエスキモーたちが共有するワタリガラスの神話を求めて、みずから体験する旅を始めた。

116 無数の島々を抱き込む無数の入り江。南東アラスカは、地球に残された最後のスピリチュアルな自然である。

117 かつて人々が神話の時代に生きてきた場所を、今は森の中から現れた鹿がさまよっている。カナダ、ハイダ・グワイ。

118 人々の日々の営みの気配が静かに伝わってくる住居跡。カナダ、ハイダ・グワイ。

119 南東アラスカ、サックスマン村のトーテムポール。朽ち果てたワタリガラスが印象的だった。

120 3つの箱を解き放ち、太陽、月、星を空にちりばめたと伝えるワタリガラスのトーテムポール。

121 南東アラスカ、サックスマン村に住むクリンギットインディアンの古老、エスター・シェイ（左から2番目、80歳）と子どもたち。古い伝統を体の中に受け継いできた。

122 北極海に臨むポイントホープ村の南からベーリング海に延びる半島、ケープクルセンスターン。

123 クジラの骨が立ち並ぶポイントホープ村の墓。

第5章　新しい旅―自然と人との関わりを求めて

北極圏の自然と野生動物を追い続けてきた星野道夫は、新たにエスキモーや極北のインディアンの古老たちを訪ね、自然と密接に関わりながら生きてきた彼らの話に耳を傾けた。さらにアラスカの狩猟民のルーツを求めて、彼らが1万数千年前に渡ってきたベーリング海峡を越えシベリアに赴く。その取材中にヒグマの事故によって急逝した。未完の作品群から彼の新しいテーマに思いを巡らせたい。

124 クジラの肋骨が立つ浜。ロシア、チュコト半島に近いイティグラン島。人がかつてここに暮らしていたことが手にとるように想像できる。

125 アラスカとカナダの国境沿いの原野に生きるグッチンインディアンの古老ハメル・フランクにカリブー猟について尋ねる。彼らほど、カリブーと深い結びつきを持った人々はいない。

126 アラスカの原野に生きる狩猟民族、タナナ族。96歳になった古老ピーター・ジョンに、ワタリガラスの神話について聞く。

127 アラスカ北極圏とカナダの北極圏の国境沿いの村に生きるグッチンインディアンの数は5000人にも満たない。

128 グッチンインディアンの教会の牧師。

129 グッチンインディアンの老婆。

130 グッチンインディアンのこの3人は幼いころからの友達だという。

131 隠れる場所がなく、撮影が難しかったマジック島のツノメドリ。ロシア、チュコト半島。

132 マジック島で見つけた鳥の巣。ロシア、チュコト半島。

133 等間隔に置かれたクジラの頭蓋骨。ベーリング海を望むロシア、イティグラン島の北岸。先住民族、ユピックの古代遺跡。

134 半月とクジラの骨が不思議な雰囲気。これでもかこれでもかというくらいフイルムを費やしてしまった。ロシア、チュコト半島。

135 チュクチ（チュコト地方の民族名）のハンターが浜辺でセイウチを解体していた。

136 ロシア、チュクト半島のワタリガラスの話をしてくれたテルピーナ。1915年生まれ。たたずまいや顔が1世紀も前のようで、入れ墨をしている。ロシア、チュコト半島。

137 日没直前にドレスアップして来てくれたミシャの一家。すばらしい家族の写真が撮れた。ロシア、チュコト半島。

138 ピーター夫妻。時代が逆行して、少なくとも50年前のアラスカのエスキモーの村にいる錯覚におそわれる。ロシア、チュコト半島。

139 野の花に埋もれるレインディア（トナカイ）の角。ロシア、チュコト半島。

140 山を越え、谷を越え、15時間もかかって、レインディア（トナカイ）のキャンプにたどりついた。ロシア、チュコト半島。

141	レインディアの遊牧民の少年。ロシア、チュコト半島。
142	トーリャが私たちのために1頭のレインディアを殺してくれた。皆で解体したばかりのレインディアで食事をした。 ロシア、チュコト半島。
143	カムチャツカ半島のクリル湖。この時期サケが遡上してくる。
144	夕陽に照らされたグリズリー。カムチャツカ半島、クリル湖畔。
145	夢のような時間。チュコト半島。
146	ロシア、チュコト半島にて。1996年。

【展示資料】

No.	内容
1	『アラスカ』ナショナル・ジオグラフィック・ソサエティ　1969年刊
2	星野がシシュマレフ村の村長宛に出した手紙　1972年
3	シシュマレフ村から星野に届いた返事の手紙 1973年4月
4	シシュマレフ村滞在時のアルバム
5	調査報告書「北極圏油田開発により変貌しようとするカリブーの季節移動とその狩猟生活に関わるアラスカ原住民の研究と記録」1987年
6	『アニマ』1981年3月号
7	『アサヒグラフ』1983年1月28日号
8	『ナショナルジオグラフィック』1987年8月号
9	直筆原稿「カメラを盗んだオオカミ」
10	ニコンF3（「カメラを盗んだオオカミ」に登場するカメラ）レンズ：NIKKOR105mm F1.8
11	アルセーニエフ『デルスー・ウザーラ』（河出書房新社 1975年）
12	ロバート・マックロスキー『すばらしいとき』（福音館書店　初版1978年）
13	“Animal of the North” William O. Pruitt, Jr., Harper & Row, 1967（ウィリム・プルーイット『極北の動物誌』新潮社　2002年）
14	“Endurance: Shackleton's Incredible Voyage” Alfred Lansing, McGraw-Hill Book Company Inc., 1959（アルフレッド・ランシング『エンデュアランス号漂流』新潮社 1998年）
15	『アサヒグラフ』1993年2月12日号
16	直筆原稿「シーンジェック」
17	愛用の万年筆（CROSS）
18	『Switch』1994年7月 「星野道夫」特集号
19	『マザーネイチャーズ』1991年WINTER号
20	『マザーネイチャーズ』1992年WINTER号
21	ペンタックス6×7　レンズ：タクマー 105mm F5.6
22	取材ノート（1978年）
23	取材ノート（1996年）

第68回日本伝統工芸展岡山展

会　　期　2021年11月18日(木)－12月12日(日)

会　　場　岡山県立美術館地下一階展示室
主　　催　岡山県立美術館、岡山県教育委員会、NHK岡山放送局
朝日新聞社、山陽新聞社、公益社団法人日本工芸会
助　　成　令和三年度文化庁補助事業
協　　力　(公財)岡山県郷土文化財団、岡山県立大学、(公社)岡山県文化連盟
後　　援　一般財団法人岡山県国際交流協会

ポスター（B3）

【趣旨】

日本伝統工芸展は、我が国に伝わる優れた工芸技術の保護・育成を目的に昭和29年に創立され、現在全国11会場で開催されている。伝統を正しく受け継ぎ、さらに磨き、現代の暮らしに見合った新しい作品を世に送り出そうという趣旨のもと、厳正な審査を通過した入選作品の中から入賞作品、重要無形文化財保持者（人間国宝）、審・鑑査委員、中・四国在住者の作品を中心に251点を展覧。会期中には出品作家等による解説会、ワークショップなど普及事業を行った。

チラシ（A4表）

【関連事業】

《伝統工芸に親しむ》

●作品解説会

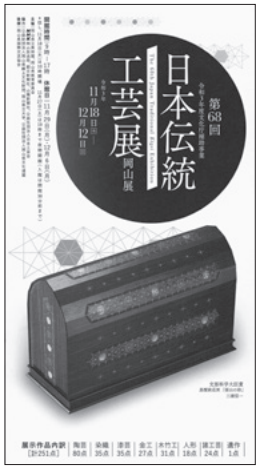
例年開催している審査委員等による列品解説会は、本年度も引き続き新型コロナウイルス感染症の拡大を防止する観点から、地元作家を中心に別室での申し込み制スライドレクチャーとして実施した。

日　時	部　門	講　師
11月18日(木)11:00－ 会場:講義室	木工芸	小椋芳之氏 西山謙二氏
11月20日(土)11:00－ 会場:講義室	デビュートーク	小山陽子氏
11月20日(土)13:30－ 会場:美術館ホール	陶　芸	福島善三氏 隠崎隆一氏
11月23日(火・祝)13:30－ 会場:講義室	金　工	佐故龍平氏
11月27日(土)13:30－ 会場:講義室	染　織	福井　禎氏
11月28日(日)13:30－ 会場:講義室	漆　芸	高橋香葉氏
12月4日(土)13:30－ 会場:講義室	人　形	奥富久枝氏
12月5日(日)13:30－ 会場:講義室	諸工芸	粟根仁志氏

チラシ（A4裏）

●映画上映会

日　　時：会期中随時上映
上映映画：「経錦―北村武資のわざ―」
「木工芸―須田賢司のわざ―」
会　　場：地下ホワイエ



目録

●ワークショップ　協力：岡山県立大学デザイン学部、
日本工芸会中国支部

・ミニ登り窯焼成体験
　日　時：11月6日（土）
　会　場：岡山県立大学
・草木染め体験
　日　時：12月5日（日）
　会　場：岡山県立美術館研修室
・木工　手挽きろくろ体験
　日　時：11月23日（火・祝）
　会　場：岡山県立美術館屋内広場
　講　師：小椋芳之氏、濱田幸介氏（日本工芸会正会員）
・漆芸　マイ箸＆マイスプーン作り
　日　時：11月27日（土）
　会　場：岡山県立美術館屋内広場
　講　師：塩津容子氏、井上みゆき氏（日本工芸会正会員）
・七宝　箔貼七宝のキーホルダー作り
　日　時：11月27日（土）
　会　場：岡山県立美術館研修室
　講　師：岩本文子氏（日本工芸会正会員）
・電動ろくろでうつわ作り
　日　時：11月28日（日）
　会　場：岡山県立美術館研修室
　講　師：日本工芸会中国支部陶芸部会会員

【同時開催】

「第63・64回日本工芸会中国支部展」優秀賞受賞作品展
　コロナ禍の影響で2年連続中止となった「日本工芸会中国支部展」の優秀賞受賞作品を本展に合わせ、展示した。

【展示点数等】

	応募出品点数		入選作品数		遺作	岡山展出品作品数
	人数	点数	人数	点数		点数
陶　芸	507	575	198	198		80
染　織	176	178	84	84		35
漆　芸	116	116	77	77	1	35
金　工	78	79	53	53		27
木竹工	119	121	69	69		31
人　形	69	70	28	28		18
諸工芸	98	101	50	50		24
計	1163	1240	559	559	1	250 ＋ 1

熊本県立美術館所蔵今西コレクション
肉筆浮世絵の世界　アナザーワールド発見！

会　　期　2021年11月13日（土）－12月19日（日）
＊但し：コロナウイルス感染拡大のため会期変更

会　　場　岡山県立美術館2階展示室
主　　催　岡山県立美術館、山陽新聞社
後　　援　岡山県教育委員会、岡山市教育委員会、（公社）岡山県文化連盟、（公財）岡山県郷土文化財団、（一財）岡山県国際交流協会、RSK山陽放送、OHK岡山放送、TSCテレビせとうち、RNC西日本放送、KSB瀬戸内海放送、oniビジョン、FM岡山、レディオモモ

ポスター（B3）

チラシ（A4表）

チラシ（A4裏）

【趣旨】

肉筆浮世絵とは、江戸時代に庶民間に広く流行した浮世絵版画に対し、絵師が絵筆をとって描く一点限りの絵画を指す。希少性が高く富裕層に愛された肉筆画と、多数の複製を安価で提供する版画とは、同時期にそれぞれの進化を遂げた。

本展では、熊本市に在住した今西菊松氏が収集し、没後熊本県立美術館に寄贈された肉筆浮世絵約200点の中から、133点を展示。江戸初期から幕末明治まで浮世絵史の沿革をたどることができるのが今西コレクションの特徴であり、江戸時代の風俗文化を身近に感じられる美人画・役者絵などを基軸としながら多くの浮世絵師たちの作品を紹介した。

【関連事業】

●スライドトーク「肉筆浮世絵入門」
日　時：11月13日（土）、12月11日（土）、12日（日）
　　各回14:00－
講　師：中村麻里子（副管理者）
会　場：地下1階講義室

●美術の夕べ「スライドトーク・肉筆浮世絵入門」
日　時：11月27日（土）17:00－18:00
講　師：中村麻里子（副管理者）
会　場：地下1階講義室

会場風景

会期変更後ミニチラシ

【出品目録】

NO	作者名	作品名	材質・技法	員数	寸法（cm）	制作年
1	無款	美人観月図	紙本着色	1幅	40.6×54.4	江戸時代前期（17世紀）
2	無款	猫と男女図	紙本着色	1幅	15.4×19.5	江戸時代前期（17世紀）
3	無款	若衆図	紙本着色	1幅	75.6×32.3	江戸時代前期（17世紀）
4	無款	太夫と禿図	紙本着色	1幅	64.3×23.5	江戸時代前期（17世紀）
5	無款・信春	文使い図・俯臥美人読書図	絹本着色（無款） 紙本着色（信春）	1幅	30.2×51.0（無款） 40.0×48.0（信春）	江戸時代中期（18世紀）
6	無款（菱川派）	遊船図	絹本着色	1幅	34.9×88.8	江戸時代前期（17世紀）
7	無款（菱川派）	対鏡六美人図	絹本着色	1幅	35.9×49.7	江戸時代前期（17世紀）
8	無款（菱川派）	福神美人道中図	絹本着色	1幅	36.2×49.7	江戸時代前期（17世紀）
9	無款（菱川派）	髪結い図	紙本着色	1幅	30.2×45.3	江戸時代前期（17－18世紀）
10	無款（菱川派）	太夫道中図	紙本着色	1幅	32.9×45.2	江戸時代前期（17－18世紀）
11	上柿芳龍	追羽根美人図	絹本着色	1幅	84.1×30.5	江戸時代中期（18世紀）
12	上柿芳龍	佳人読書図	絹本着色	1幅	75.4×29.2	江戸時代中期（18世紀）
13	伝 古山師重	手毬遊びの図	絹本着色	1幅	30.9×41.5	江戸時代中期（18世紀）
14	田村水鷗	美人訪廬図	絹本着色	1幅	44.8×63.0	江戸時代中期（18世紀）
15	田村水鷗	梅軒翫書図	絹本着色	1幅	39.0×54.1	江戸時代中期（18世紀）
16	石川豊信	美人三番叟図	紙本着色	1幅	74.7×27.7	江戸時代中期（18世紀）
17	石川豊信	萬歳図	絹本着色	1幅	95.0×27.2	江戸時代中期（18世紀）
18	無款（懐月堂派）	立姿美人図	紙本着色	1幅	80.1×35.4	江戸時代中期（18世紀）
19	梅祐軒勝信	立姿美人図	絹本着色	1幅	61.8×31.4	江戸時代中期（18世紀）
20	近藤勝信	遊女と禿図	紙本着色	1幅	85.0×35.4	江戸時代中期（18世紀）
21	竹田春信	蚊帳脇美人図	紙本着色	1幅	102.3×50.3	江戸時代中期（18世紀）
22	無款	美人歩行図	紙本着色	1幅	77.5×40.0	江戸時代前期（17世紀）
23	無款（鳥居派）	浮絵座敷水遊び図	紙本着色	1幅	43.2×69.7	江戸時代中期（18世紀）
24	鳥居清重	佐野川市松立姿図	紙本着色	1幅	45.5×17.2	江戸時代前期（17世紀）
25	鳥居清忠(四代)	歌舞伎暫図	絹本着色	1幅	113.0×40.0	明治末～昭和初期（20世紀）
26	鳥居清忠(四代)	歌舞伎鞘当不破図	絹本着色	1幅	91.5×34.6	明治末～昭和初期（20世紀）
27	鳥居清忠(四代)	吉右衛門団七九郎兵衛図	絹本淡彩	1幅	32.0×24.4	明治末～昭和初期（20世紀）
28	大岡道信	蚊帳脇喫煙美人図	絹本着色	1幅	91.4×34.0	江戸時代中期（18世紀）
29	無款	忠臣蔵七段目図	紙本着色	1幅	64.7×11.5	江戸時代中期（18世紀）
30	磯田湖龍斎	挿花美人図	絹本着色	1幅	81.6×28.2	江戸時代中期（18世紀）
31	磯田湖龍斎	花魁道中図	紙本着色	1幅	105.1×40.7	天明5（1785）年
32	磯田湖龍斎	鯉魚図	絹本着色	1幅	78.8×29.8	江戸時代中期（18世紀）
33	川又常行	縁先納涼美人図	紙本着色	1幅	87.0×33.8	江戸時代中期（18世紀）
34	川又常行	望嶽一憩図	紙本着色	1幅	47.7×58.2	江戸時代中期（18世紀）
35	川又常正	階下遊女図	絹本着色	1幅	82.9×35.3	江戸時代中期（18世紀）
36	川又常正	見立浄瑠璃姫と牛若丸図	絹本着色	1幅	33.3×53.6	江戸時代中期（18世紀）

NO	作者名	作品名	材質・技法	員数	寸法（cm）	制作年
37	川又常正	見立道風柳下美人図	紙本着色	1幅	68.3×26.0	江戸時代中期（18世紀）
38	川又常正	那須与一扇の的図	紙本着色	2幅	各83.2×26.6	江戸時代中期（18世紀）
39	川又常正	節分図	紙本着色	1幅	38.7×47.6	江戸時代中期（18世紀）
40	至信	見立玄宗図	絹本着色	1幅	49.6×27.7	江戸時代中期（18世紀）
41	無款	振返る美人図	紙本着色	1幅	78.2×27.4	江戸時代中期（18世紀）
42	宮川長春	振り返る遊女図	絹本着色	1幅	88.0×33.7	江戸時代中期（18世紀）
43	宮川長春	乗鶴美人図	紙本着色	1幅	87.2×37.8	江戸時代中期（18世紀）
44	宮川長春	聞香美人図	紙本着色	1幅	59.5×23.9	江戸時代中期（18世紀）
45	宮川一笑	夕涼み美人図	紙本着色	1幅	74.7×24.5	江戸時代中期（18世紀）
46	勝川春好	五代目団十郎円窓景清図	絹本着色	1幅	75.5×27.7	江戸時代後期（18－19世紀）
47	勝川春亭	懐紙を持つ芸妓図	絹本着色	1幅	82.0×33.5	江戸時代後期（18－19世紀）
48	勝川扇里	浴衣美人図	紙本着色	1幅	117.0×27.8	江戸時代後期（19世紀）
49	鳥文斎栄之	松風村雨図	紙本着色	1幅	83.2×25.6	江戸時代後期（18－19世紀）
50	鳥文斎栄之	お多福図	絹本着色	1幅	96.7×42.7	江戸時代後期（18－19世紀）
51	鳥文斎栄之	楊貴妃牡丹図	絹本着色	3幅	各89.9×30.9	江戸時代後期（18－19世紀）
52	鳥文斎栄之	桜下花魁図	絹本着色	1幅	82.5×31.2	江戸時代後期（18－19世紀）
53	礫川亭一指	美人読書図	絹本着色	1幅	91.9×34.6	江戸時代後期（18－19世紀）
54	礫川亭栄犁	頭巾美人図	絹本着色	1幅	102.4×33.5	江戸時代後期（18－19世紀）
55	高尾(酔夢亭）蕉鹿	花魁立姿図	絹本着色	1幅	83.8×30.5	江戸時代後期（19世紀）
56	豊川(鳥園斎）栄深	見立女三の宮図	絹本着色	1幅	94..4×33.0	江戸時代後期（18－19世紀）
57	豊川(鳥園斎）栄深	立姿美人図	紙本着色	1幅	107.2×26.8	江戸時代後期（18－19世紀）
58	玄珠斎栄暁	時鳥と芸妓図	絹本着色	1幅	76.4×28.3	江戸時代後期（19世紀）
59	鍬形蕙斎	風景図	紙本淡彩	1幅	22.6×30.8	江戸時代後期（18－19世紀）
60	鍬形蕙斎	隅田川図巻	紙本淡彩	1巻	37.5×183.1	江戸時代後期（18－19世紀）
61	窪俊満	六歌仙図	絹本墨画淡彩	1幅	96.1×33.8	江戸時代後期（18－19世紀）
62	窪俊満	月萩図	絹本淡彩	1幅	89.8×31.2	江戸時代後期（18－19世紀）
63	小川破笠	紫式部図	絹本着色	1幅	41.4×53.8	江戸時代中期（17－18世紀）
64	高嵩谷	風流四睡図	絹本着色	1幅	27.2×35.3	江戸時代後期（18－19世紀）
65	高嵩谷	鍾馗図	絹本墨画淡彩	1幅	23.7×13.6　37.4×28.4	江戸時代後期（18－19世紀）
66	鳥山石燕	旭日猿図	絹本着色	1幅	94.6×32.7	天明4（1784）年
67	喜多川歌麿他	四季画賛図（寄書）	絹本着色	1幅	94.2×32.7	江戸時代後期（18－19世紀）
68	喜多川藤麿	母子採芒図	紙本着色	1幅	121.2×46.0	江戸時代後期（18－19世紀）
69	喜多川藤麿	鍬を持つ美人図	絹本着色	1幅	91.6×25.8	江戸時代後期（18－19世紀）
70	喜多川（墨亭）月麿	楼上芸妓図	絹本着色	1幅	101.9×44.0	江戸時代後期（18－19世紀）
71	保明（喜多川派）	三曲図	紙本着色	1幅	61.0×83.3	江戸時代後期（18－19世紀）
72	秀修（喜多川派）	振り向く芸妓図	紙本着色	1幅	36.8×51.7	江戸時代後期（18－19世紀）

NO	作者名	作品名	材質・技法	員数	寸法（cm）	制作年
73	菊川英山	衿を直す芸妓図	絹本着色	1幅	94.9×32.7	江戸時代後期（19世紀）
74	菊川英山	花魁書見図	絹本着色	1幅	79.4×33.9	江戸時代後期（19世紀）
75	渓斎英泉	花魁と禿図	絹本着色	1幅	88.2×35.7	江戸時代後期（19世紀）
76	葛飾北斎	鍾馗図	絹本墨画一部彩色	1幅	102.2×30.4	江戸時代後期（19世紀）
77	蹄斎北馬	両国涼遊美人図	絹本着色	1幅	105.8×44.4	江戸時代後期（19世紀）
78	蹄斎北馬	桟橋の芸妓図	絹本着色	1幅	87.6×41.9	江戸時代後期（19世紀）
79	蹄斎北馬	阿古屋琴責め図	絹本着色	1幅	99.0×37.8	江戸時代後期（19世紀）
80	蹄斎北馬	見立宇治川合戦蛍狩図	絹本着色	1幅	79.8×78.6	江戸時代後期（19世紀）
81	蹄斎北馬	仲の町桜時美人図	絹本着色	1幅	79.5×25.8	江戸時代後期（19世紀）
82	蹄斎北馬	正月風景図	絹本着色	1幅	29.5×40.6	江戸時代後期（19世紀）
83	蹄斎北馬	橋上群衆図	絹本着色	1幅	30.4×58.7	江戸時代中期（19世紀）
84	魚屋北渓	新春富嶽図	絖本着色	1幅	58.8×49.3	弘化4（1847）年
85	葛飾（東南西）北雲	妓楼花魁図	絹本着色	1幅	108.2×32.2	江戸時代後期（19世紀）
86	葛飾（紫光斎）北一	雨乞小町図	絹本着色	1幅	73.5×28.6	江戸時代後期（19世紀）
87	菱川宗理	雪中美人図	絹本着色	1幅	86.3×31.1	江戸時代後期（18－19世紀）
88	菱川宗理	扇面半身美人図	紙本着色	1幅	46.0×20.5×17.8	江戸時代後期（18－19世紀）
89	八島岳亭（春信）	女三の宮図	絹本着色	1幅	110.2×32.2	江戸時代後期（19世紀）
90	歌川豊春	帰り路図	絹本着色	1幅	46.6×69.6	江戸時代後期（18－19世紀）
91	歌川豊広	謡曲隅田川図	絹本着色	1幅	36.1×54.0	江戸時代後期（18－19世紀）
92	歌川豊広	関羽図	絹本着色	1幅	36.6×25.0	江戸時代後期（18－19世紀）
93	鳥羽広丸	歳末歳旦風俗図	紙本着色	1幅	各149.8×15.0	江戸時代後期（19世紀）
94	鳥羽広丸	夏姿二美人図	紙本着色	1幅	118.4×28.2	江戸時代後期（19世紀）
95	東燕斎寛志	美人嗔焔図	紙本着色	1幅	89.8×36.6	江戸時代中期（18世紀）
96	歌川豊国	松本幸四郎仁木弾正図	紙本着色	1幅	91.7×47.1	江戸時代後期（18－19世紀）
97	歌川豊国	桜下花魁道中図	絹本着色	1幅	92.9×27.2	江戸時代後期（18－19世紀）
98	歌川豊国	遠目鏡美人図	絹本着色	1幅	82.2×27.0	江戸時代後期（18－19世紀）
99	歌川広重	不二望岳図	絹本着色	1幅	27.9×27.0	江戸時代後期（19世紀）
100	歌川国芳	二枚櫛花魁立姿図	絹本着色	1幅	112.8×32.9	江戸時代後期（19世紀）
101	歌川国芳	鍾馗図	絹本墨画淡彩	1幅	101.1×35.8	江戸時代後期（19世紀）
102	歌川国継	義経と弁慶図	絹本着色	1幅	96.1×35.6	江戸時代後期（19世紀）
103	歌川国直	芸妓と箱廻しの図	絹本着色	1幅	80.4×24.6	江戸時代後期（19世紀）
104	歌川国明	月下美人図	絹本着色	1幅	100.4×37.8	江戸時代後期（19世紀）
105	歌川直久	愛狗美人図	紙本着色	1幅	70.8×30.6	江戸時代後期（19世紀）
106	歌川広重（二代）	日光の滝図	絹本着色	1幅	35.6×51.5	江戸時代後期（19世紀）
107	歌川芳秀	海辺茶店図	絹本着色	1幅	35.9×55.8	明治時代（19世紀）
108	歌川国峰	潮干狩図	絹本着色	2幅	各116.4×35.5	明治時代（19世紀）

NO	作者名	作品名	材質・技法	員数	寸法（cm）	制作年
109	華清楼雀碁	蛇の目傘美人図	紙本着色	1幅	92.6×29.4	江戸時代後期（19世紀）
110	長谷川雪旦	鶏鉾行列図	絹本着色	1巻	26.1×245.1	文政3（1820）年
111	長谷川雪旦	隅田川団十郎舟遊びの図	紙本着色	1幅	37.2×56.5	江戸時代後期（19世紀）
112	天香豊	南蛮人図	絹本墨画	1幅	105.0×34.0	江戸時代後期（19世紀）
113	西川祐信	遊女道中図	紙本着色	1幅	92.3×46.6	江戸時代中期（17－18世紀）
114	月岡雪鼎	牽牛織女図	絹本着色	1幅	93.4×33.3	江戸時代中期（18世紀）
115	月岡雪鼎	西王母図	絹本着色	1幅	99.8×33.5	江戸時代中期（18世紀）
116	月岡雪鼎	菊慈童図	絹本着色	1幅	97.1×37.5	江戸時代中期（18世紀）
117	耳鳥斎	地獄図巻	紙本着色	1巻	27.6×1304.3	寛政5（1793）年
118	祇園井特	三味線美人図	紙本着色	1幅	89.8×32.0	江戸時代後期（18－19世紀）
119	祇園井特	歌妓恵以路図	紙本着色	1幅	70.4×34.3	江戸時代後期（18－19世紀）
120	松好斎半兵衛	美人観月図	絹本着色	1幅	91.4×37.2	江戸時代後期（18－19世紀）
121	春好斎北洲	芝翫舞台姿図	絹本着色	1幅	83.4×28.5	江戸時代後期（19世紀）
122	森玉僊	酔余美人図	紙本着色	1幅	86.0×33.0	江戸時代後期（19世紀）
123	十返舎一九	吉備大臣図	紙本淡彩	1幅	33.3×40.2	江戸時代後期（18－19世紀）
124	石田玉山	美人目隠し達磨図	紙本着色	1幅	107.2×54.3	江戸時代後期（19世紀）
125	三畠上龍	芸妓立姿図	絹本着色	2幅	100.3×36.0　100.2×36.0	江戸時代後期（19世紀）
126	三畠上龍	明石駅立場図	絹本着色	1幅	50.4×70.0	江戸時代後期（19世紀）
127	三畠上龍	犬と美人図	絹本着色	1幅	106.6×42.4	江戸時代後期（19世紀）
128	吉原真龍	桜下美人図	紙本着色	1幅	124.0×45.2	江戸時代後期（19世紀）
129	河鍋暁斎	閻魔庁図	絹本淡彩	2幅	109.8×43.4　110.6×43.5	江戸後期－明治時代（19世紀）
130	河鍋暁斎	牛若丸図	絹本着色	1幅	114.0×40.2	江戸後期－明治時代（19世紀）
131	河鍋暁斎	恵美寿大黒天図	絹本墨画	1幅	33.2×49.0	明治21（1888）年
132	豊原国周	内藤政挙肖像図	絹本着色	1幅	97.9×37.0	江戸後期－明治時代（19世紀）
133	小林永濯	草摺引き図	絹本着色	1幅	20.5×52.8	明治時代（19世紀）

伊豆市所蔵近代日本画展
修善寺物語―大観と靫彦、紫紅たち―

会　　期　2022年2月11日（金・祝）－3月21日（月・祝）

会　　場　岡山県立美術館2階展示室
主　　催　岡山県立美術館、山陽新聞社
後　　援　岡山県教育委員会、岡山市教育委員会、（公社）岡山県文化連盟、（公財）岡山県郷土文化財団、（一財）岡山県国際交流協会、RSK山陽放送、OHK岡山放送、TSCテレビせとうち、RNC西日本放送、KSB瀬戸内海放送、oniビジョン、FM岡山、レディオモモ

ポスター（B2）

ポスター（B3）

【趣旨】

静岡県伊豆市の所蔵する近代日本画コレクションは、修善寺の老舗旅館、新井旅館の三代目主人である相原寛太郎（号：沐芳、1875－1945）のもとに集った、近代日本画の巨匠として知られる画家たちの作品を中心として形成されている。単なる旅館の経営者ではなく、日本画家たちのパトロンであり良き理解者であった相原のもとには、横山大観や安田靫彦をはじめ、今村紫紅、小林古径、前田青邨、川端龍子らが集まり作品を遺した。

本展では、修善寺を軸に紡がれた画家とパトロンとの友情の物語を紹介するとともに、この作品群のうち、靫彦や紫紅らの世代の、明治末から大正初期のものを中心に展示することで、当時20代から30代前半という青年期に、既存の型の模倣から脱し、それぞれにとっての新たな日本画の創出に奔走した彼らの熱意を追った。

【関連事業】

●美術館講座「修善寺に集った日本画家たち」
日　時：3月5日（土）13:30－15:30
講　師：鈴木恒志（学芸員）
会　場：地下講義室

●スライドレクチャー
「今日のこの一点　安田靫彦《吉野訣別》」
日　時：2月12日（土）14:00－14:45
講　師：鈴木恒志（学芸員）
会　場：地下講義室

「作家紹介―院展三羽烏を中心に―」
日　時：2月20日（日）14:00－14:45
講　師：中村麻里子（副管理者）
会　場：地下講義室

「もっと知りたいこの絵の元ネタ」
日　時：3月13日（日）13:30－14:30
講　師：鈴木恒志（学芸員）
会　場：地下講義室

チラシ（A4表）

チラシ（A4裏）

スライドレクチャー（2月12日）

「今日のこの一点　今村紫紅《枇杷叭叭鳥》」
日　時：3月18日（金）14:00－14:45
講　師：鈴木恒志（学芸員）
会　場：地下講義室

●美術の夕べ　「紅児会とは何であったか」
日　時：2月26日（土）17:15－18:15
講　師：鈴木恒志（学芸員）
会　場：地下講義室

【出品目録】

NO	作者名	作品名	材質・技法	員数	寸法（cm）	制作年
1	横山大観	白鷺	絹本着色	1幅	108×40.1	明治42（1909）年頃
2	横山大観	柳陰清談	絹本着色	1幅	130.5×50.4	明治43（1910）年頃
3	横山大観	雨後	絹本淡彩	1幅	118.4×41.6	明治44（1911）年頃
4	横山大観	長江の朝	絹本墨画	1幅	24.7×35.1	大正元（1912）年頃
5	横山大観	松竹遊禽	紙本金地着色	6曲1双	各163.2×327.6	大正元（1912）年頃
6	横山大観	叭叭鳥	絹本墨画	1幅	139.0×51.2	大正6（1917）年
7	横山大観	山上の家	紙本墨画	1幅	53.8×129.8	昭和5（1930）年頃
8	横山大観	神州第一峰	紙本墨画	1幅	86.0×151.9	昭和5（1930）年
9	安田靫彦	萬歳楽	紙本着色	1幅	38.8×50.9	昭和14（1939）年
10	安田靫彦	頼政	絹本着色	1幅	41.1×50.8	昭和20年代
11	今村紫紅	秋江晩鴉	絹本着色	1幅	126.6×41.1	大正元（1912）年頃
12	前田青邨	春山霞男	絹本着色	1幅	70.3×50.1	明治末
13	小林古径	観音	絹本墨画淡彩	1幅	92.6×36.3	明治末～大正初
14	速水御舟	手向	絹本着色	1幅	115.9×41.1	大正2（1913）年
15	石井林響	桐陰網蟬	絹本着色	1幅	118.5×50.1	明治40年代
16	広瀬長江	奴の小萬	絹本着色	1幅	110.9×32.7	明治43（1910）年頃
17	川端龍子	修善寺城山公園よりの展望	紙本着色	1面	37.4×49.0	昭和37（1962）年頃
18	川端龍子	湯浴（湯治）	絹本着色	1面	112.0×139.5	昭和2（1927）年
19	小堀鞆音	鷹狩	絹本着色	1幅	27.2×19.9	明治末
20	安田靫彦	吉野訣別	紙本着色	1幅	173.5×93.0	明治32（1899）年

会場風景

NO	作者名	作品名	材質・技法	員数	寸法（cm）	制作年
21	安田靫彦	醍醐観花	絹本着色	1幅	109.0×41.1	明治40（1907）年
22	安田靫彦	大原御幸	絹本着色	1幅	115.7×41.9	明治44（1911）年頃
23	安田靫彦	弁財天	絹本着色	1幅	113.0×41.4	明治44（1911）年頃
24	安田靫彦	達磨	絹本着色	1幅	112.5×42.3	明治44（1911）年頃
25	安田靫彦	拈華微笑	絹本着色	1幅	113.4×43.4	明治44（1911）年
26	安田靫彦	六歌仙	絹本着色	1幅	109.5×41.5	明治44（1911）年頃
27	安田靫彦	十六羅漢	絹本着色	1幅	111.5×42.2	明治44（1911）年頃
28	安田靫彦	画稿	紙本墨画淡彩	1帖	各23.9×33.3	明治42－44（1909－11）年
29	安田靫彦	上宮太子	絹本着色	1幅	126.9×51.1	大正元（1912）年頃
30	安田靫彦	隻履達磨	絹本着色	1幅	115.4×41.6	大正元－4（1912－15）年
31	安田靫彦	忠度訪俊成	絹本着色	1幅	127.4×42.7	大正5（1916）年頃
32	安田靫彦	摩利支天	紙本墨画淡彩	1幅	36.3×48.2	明治44（1911）年
33	安田靫彦	鼠	紙本墨画淡彩	1幅	31.0×34.0	大正13（1924）年
34	安田靫彦	牛	紙本墨画	1幅	46.7×56.3	大正14（1925）年
35	安田靫彦	孝子揚香	紙本墨画	1幅	47.0×72.0	大正15（1926）年
36	安田靫彦	うさぎ	紙本墨画淡彩	1幅	47.8×34.6	大正4（1915）年
37	安田靫彦	龍	紙本墨画	1幅	47.7×33.0	大正5（1916）年
38	安田靫彦	項羽画案	紙本墨画	1幅	34.7×16.0	大正4（1915）年
39	安田靫彦	鴨川夜情	紙本着色	1幅	86.0×119.4	昭和9（1934）年頃
40	菱田春草	秋郊帰牧	絹本着色	1幅	116.0×50.5	明治42（1909）年
41	磯田長秋	猿廻し	紙本淡彩	1幅	131.7×29.4	制作年不詳
42	棚田暁山	三輪の杉	絹本着色	1幅	126.0×41.8	明治末－大正初
43	前田青邨	鶏合	紙本着色	6曲1隻	97.8×228.4	明治43（1910）年
44	前田青邨	市場	絹本着色	1幅	132.2×49.6	明治43（1910）年頃
45	前田青邨	騎馬武者	絹本着色	1面	41.2×114.8	明治末
46	前田青邨	燈籠大臣	絹本着色	1幅	165.7×86.0	明治末
47	前田青邨	後三年	絹本着色	1帖	各34.4×24.9	大正初
48	小林古径	武蔵野	絹本着色	1幅	112.7×41.8	明治末
49	小林古径	箏三線	絹本着色	2幅対	各120.0×40.5	明治42（1909）年
50	小林古径	重盛	絹本着色	1幅	125.3×42.3	明治44（1911）年
51	小林古径	伊勢物語	紙本着色	1帖	各25.6×31.3	大正4（1915）年
52	石井林響	春風駘蕩	絹本着色	1幅	126.7×71.2	明治40年代
53	石井林響	寒山子	絹本着色	1幅	34.2×36.6	明治末－大正初
54	石井林響	松下睡布袋	絹本着色	1幅	116.7×50.0	明治40年代
55	石井林響	弘法大師	絹本着色	1幅	146.7×99.1	明治41（1908）年
56	広瀬長江	観桜	絹本着色	1幅	113.1×42.0	明治末

NO	作者名	作品名	材質・技法	員数	寸法（cm）	制作年
57	広瀬長江	若衆と娘	絹本金地着色	1面	75.0×41.4	明治末－大正初
58	広瀬長江	不破	絹本金地着色	1面	54.8×30.6	明治末－大正初
59	今村紫紅	鴛鴦	絹本着色	1幅	112.4×41.5	明治42（1909）年頃
60	今村紫紅	霜林群雀	紙本墨画淡彩	1幅	137.3×55.5	大正元（1912）年頃
61	今村紫紅	故事人物花鳥	紙本墨画淡彩	10幅対	各128.2×29.6	大正元（1912）年頃
62	今村紫紅	枇杷叭叭鳥	紙本着色	6曲1双	各151.0×325.4	大正元（1912）年頃
63	今村紫紅	鷺	紙本墨画	1幅	178.5×96.8	大正4（1915）年頃
64	長野草風	蔦紅葉	絹本着色	1幅	121.5×28.0	明治末－大正初
65	石井林響	蘆花名月	絹本着色	1幅	118.3×49.7	明治40年代
66	石井林響	芙蓉秋水	絹本着色	1幅	112.3×41.3	明治40年代
67	若柳柳湖	紅白梅	紙本着色	6曲1双	各98.5×233.6	明治末－大正初
68	小林古径	梅	紙本金泥	1幅	105.8×47.4	大正6（1917）年
69	小林古径	萬翠	絹本着色	1幅	134.1×50.2	大正7（1918）年
70	安田靫彦	不二	紙本着色	1幅	44.1×35.8	明治42－44（1909－11）年
71	安田靫彦	暗香	紙本墨画金泥	1幅	45.5×31.6	大正10（1921）年頃
72	安田靫彦	鶯	紙本墨画淡彩	1幅	44.3×62.7	昭和5（1930）年頃
73	安田靫彦	春暁	紙本墨画淡彩	1幅	45.0×63.0	昭和5（1930）年頃
74	安田靫彦	萬古天風	紙本墨画淡彩	1幅	64.5×96.0	昭和5（1930）年
75	合作	鬼ヶ島	紙本淡彩	1巻	24.9×160.0	明治末
76	合作	修善寺風物扇面散	紙本着色	6曲1双のうち右隻	140.2×334.0	明治末
77	合作	東海道	紙本着色	4幅対	各138.4×30.6	大正4（1915）年

4. 館蔵品貸出状況

（古書画・日本画）

作者名	作品名	貸出先	展覧会名	会期
雪舟　等楊	山水図（倣玉澗）	都城市立美術館	日本美術の源流 －雪舟・狩野派から近代美術－	2021年10月30日(土)－12月 5日(日)
拙宗　等揚	雪景山水図	都城市立美術館	日本美術の源流 －雪舟・狩野派から近代美術－	2021年10月30日(土)－12月 5日(日)
秋月　等観	山水図	都城市立美術館	日本美術の源流 －雪舟・狩野派から近代美術－	2021年10月30日(土)－12月 5日(日)
惟馨　周徳	達磨図	都城市立美術館	日本美術の源流 －雪舟・狩野派から近代美術－	2021年10月30日(土)－12月 5日(日)
如水　宗淵	山水図	都城市立美術館	日本美術の源流 －雪舟・狩野派から近代美術－	2021年10月30日(土)－12月 5日(日)
浦上　秋琴	白衣観音山水図	京都国立近代美術館	サロン！雅と俗 －京の大家と知られざる大坂画壇	2022年 3月23日(水)－ 5月 8日(日)

（洋画）

作者名	作品名	貸出先	展覧会名	会期
水野　恭子	笛(少年)	勝央美術文学館	水野恭子生誕100年・赤堀佐兵没後60年・ 松平修文遺作展 「武蔵野に響き合う美の魂」	2021年10月9日(土)－11月28日(日)
水野　恭子	温室B	勝央美術文学館	水野恭子生誕100年・赤堀佐兵没後60年・ 松平修文遺作展 「武蔵野に響き合う美の魂」	2021年10月9日(土)－11月28日(日)

5. 入館者数一覧

（1）令和3年度月別入館者数

令和4年3月31日現在

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総日数		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
岡山の美術展のみ		1	0	8	7	0	0	0	0	0	0	0	0	16
企画展		25	9	0	20	25	13	27	22	17	0	15	19	192
小計 (A)		26	9	8	27	25	13	27	22	17	0	15	19	208
休館日数		4	22	22	4	6	17	4	8	14	31	13	12	157
岡山の美術展のみ	有料	146	71	177	188	121	0	362	40	0	0	0	0	1,105
	無料	126	33	79	180	92	0	314	26	0	0	0	0	850
	小計	272	104	256	368	213	0	676	66	0	0	0	0	1,955
特別展のみ	有料	12,576	5,863	0	9,790	12,904	2,914	4,904	6,381	3,919	0	893	1,457	61,601
	無料	7,748	3,042	0	2,630	4,159	2,315	2,042	2,762	2,007	0	410	912	28,027
	小計	20,324	8,905	0	12,420	17,063	5,229	6,946	9,143	5,926	0	1,303	2,369	89,628
（両方）	無料	(1,993)	(1,141)	(40)	(4,062)	(4,657)	(0)	(3,635)	(479)	(0)	(0)	(0)	(0)	(16,007)
総計	有料	12,722	5,934	177	9,978	13,025	2,914	5,266	6,421	3,919	0	893	1,457	62,706
	無料	(9,867) 7,874	(4,216) 3,075	(119) 79	(6,872) 2,810	(8,908) 4,251	(2,315) 2,315	(5,991) 2,356	(3,267) 2,788	(2,007) 2,007	(0) 0	(410) 410	(912) 912	(44,884) 28,877
	合計(B)	(22,589) 20,596	(10,150) 9,009	(296) 256	(16,850) 12,788	(21,933) 17,276	(5,229) 5,229	(11,257) 7,622	(9,688) 9,209	(5,926) 5,926	(0) 0	(1,303) 1,303	(2,369) 2,369	(107,590) 91,583
平均（B/A）		(869) 792	(1,128) 1,001	(37) 32	(624) 474	(877) 691	(402) 402	(417) 282	(440) 419	(349) 349	(0) 0	(87) 87	(125) 125	(517) 440
累　計		(22,589) 20,596	(32,739) 29,605	(33,035) 29,861	(49,885) 42,649	(71,818) 59,925	(77,047) 65,154	(88,304) 72,776	(97,992) 81,985	(103,918) 87,911	(103,918) 87,911	(105,221) 89,214	(107,590) 91,583	(107,590) 91,583

（　　）は両方を含めた人数
新型コロナウイルス緊急事態宣言に伴い5/10－6/20臨時休館
空調工事に伴い12/20－2/10臨時休館

（2）令和3年度特別展入館者一覧表

展覧会の名称	会期日数（日）	開館日数（日）	休館日数（日）	有料入館者数（人）	無料入館者数（人）	合計（人）	累計（人）	1日平均（人）
『ねないこだれだ』誕生50周年記念 せなけいこ展 2021年4月2日（金）－5月9日（日）	38	34	4	18,439	10,790	29,229	29,229	860
ヨーロッパ絵画400年の旅 ―珠玉の東京富士美術館コレクション 7月9日（金）－8月29日（日）	52	45	7	22,694	6,789	29,483	58,712	655
第72回岡山県美術展覧会 9月8日（水）－9月19日（日）	12	10	2	2,759	2,246	5,005	63,717	501
星野道夫―悠久の時を旅する 9月28日（火）－11月7日（日）	41	36	5	7,396	3,076	10,472	74,189	291
熊本県立美術館所蔵今西コレクション 肉筆浮世絵の世界　アナザーワールド発見！ 11月13日（土）－12月19日（日）	37	33	4	4,315	1,917	6,232	85,956	189
第68回日本伝統工芸展岡山展 11月18日（木）－12月12日（日）	25	23	2	3,648	1,887	5,535	79,724	241
伊豆市所蔵近代日本画展 修善寺物語―大観と靫彦、紫紅たち― 2022年2月11日（金・祝）－3月21日（月・祝）	39	34	5	2,350	1,322	3,672	89,628	108
合　　計 （注：重複あり）	219	192	27	61,601	28,027	89,628		

教育普及事業

1. こんにちは美術館事業

本事業は「展示室へ誘い、作品や美術に対する理解を深める」「美術館の機能や役割に対する理解を促す」ことを目的としている。「つくる（制作）」「みる（鑑賞）」に関わる活動を中心に実施し、美術や美術館に親しんでもらえるよう努めている。

本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、感染防止対策を講じながら可能な方法を検討して開催した。

1－1　各種講座等

（1）令和3年度　美術館講座

当館学芸員が講師となり、美術や展覧会に関して一歩踏み込んだ講座を実施している。

日程	展覧会名	題目	講師	会場	参加人数
2022年 3月5日（土） 13:30－15:30	特別展 伊豆市所蔵近代日本画展 修善寺物語　大観と靫彦、紫紅たち	修善寺に集った日本画家たち	鈴木恒志（学芸員）	地下1階講義室 定員35人 （申込先着順）	33人

（2）令和3年度　美術の夕べ／音楽の夕べ

仕事や学校帰りの方に立ち寄ってもらえるよう、夜間開館日にフロアレクチャーやギャラリーコンサート等の事業を実施している。

日程	題目、テーマ等	講師	会場	参加人数
8月13日（金） 18:00－18:45	音楽の夕べ 「Drawing Summer」	西室伸也氏（サクソフォニスト、ファゴッティスト）、都カルテット（サクソフォンカルテット）	2階ホール	44人
8月14日（土） 17:00－18:00	美術の夕べ 「ヨーロッパ絵画400年の旅／珠玉の東京富士美術館コレクション」学芸員によるスライドトーク	橋村直樹（学芸員）	地下1階講義室	28人
10月30日（土） 18:00－18:45	音楽の夕べ 「旅をする」	トウヤマタケオ氏（ピアノ）	2階展示室	40人
11月27日（土） 17:00－18:00	美術の夕べ 「スライドトーク・肉筆浮世絵入門」	中村麻里子（副管理者）	地下1階講義室	28人
2022年 2月26日（土）	美術の夕べ 「紅児会とは何であったか」学芸員によるスライドレクチャー	鈴木恒志（学芸員）	地下1階講義室	14人

（3）令和3年度　展覧会関連講座・講演会・フロアレクチャー

外部講師や当館学芸員によって、各展覧会をより深く理解してもらうことをねらいとして実施している。

日程	展覧会名	題目、テーマ等	講師	会場、定員等	参加人数
6月26日（土） 14:00－15:30	岡山の美術　特別展示 柚木玉邨・久太・祥吉郎 柚木家三代の絵画と精神	鼎談 「玉島と柚木家三代の絵画」	鍵岡正謹（顧問）、橋村直樹（学芸員）、八田真理子（学芸員）	2階ホール 定員180人 （当日先着順）	50人
7月10日（土） 14:00－15:30	特別展 ヨーロッパ絵画400年の旅 珠玉の東京富士美術館 コレクション	記念講演会 「名画を旅する90分」	五木田聡氏（東京富士美術館館長）	2階ホール 定員180人 （当日先着順）	180人
9月18日（土） 14:00－15:30	岡山の美術　特別展示 草間喆雄 美しき色彩のコンポジション ＊新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止⇒記録動画を配信	トークセッション・アンサンブル 「糸を張る」	草間喆雄氏（出品作家）、小野耕石氏（版画家）上月真子氏（オーボエ）、西室信也氏（サクソフォン）、田中郁也氏（ヴァイオリン）、大道真弓氏（ヴィオラ）、山口里美氏（チェロ）、当真伊都子氏（ピアノ）	2階展示室	
10月2日（土） 14:00－15:30	岡山の美術　特別展示 草間喆雄 美しき色彩のコンポジション	対談 「草間喆雄とその時代」	川嶋啓子氏（ギャラリスト）、草間喆雄氏（出品作家）	2階ホール 定員180人 （当日先着順）	40人
10月3日（日） 14:00－15:30	岡山の美術　特別展示 草間喆雄 美しき色彩のコンポジション	鼎談 「伝統工芸←染織 →現代造形」	森口邦彦氏（友禅染・国指定重要無形文化財保持者）、草間喆雄氏（出品作家） 進行：川嶋啓子氏（ギャラリスト）	2階ホール 定員180人 （当日先着順）	80人

日程	展覧会名	題目、テーマ等	講師	会場、定員等	参加人数
10月9日(土) 15:00－16:00	岡山の美術　特別展示 草間喆雄 美しき色彩のコンポジション	ミュージアムコンサート 「形の音、音の形」	岩本象一氏 (サウンドパフォーマンス)	中庭	70人
10月10日(日) 15:00－16:00	岡山の美術　特別展示 草間喆雄 美しき色彩のコンポジション	ミュージアムコンサート 「色の軌跡」	平井優子氏（ダンスパフォーマンス)、当真伊都子氏（ピアノ）	2階展示室	80人
10月17日(日) 14:00－15:00	岡山の美術　特別展示 草間喆雄 美しき色彩のコンポジション	作家によるスライドレクチャー	草間喆雄氏（出品作家）	地下1階講義室 定員50人 （申込先着順）	34人
11月3日(水･祝) 13:30－15:00	特別展 星野道夫 悠久の時を旅する	記念講演会 「悠久の時を旅する　星野道夫が見続けた風景をたどって」	星野直子氏（星野道夫事務所代表）	2階ホール 定員180人 （事前申込制／応募多数の場合抽選）	172人
11月13日(土) 12月11日(土) 12月12日(日) 各日14:00 －15:00	特別展 熊本県立美術館 今西コレクション 肉筆浮世絵の世界 アナザーワールド発見！	スライドトーク・肉筆浮世絵入門	中村麻里子(副管理者)	地下1階講義室 定員50人 （申込先着順）	11/13:28人 12/11:38人 12/12:29人
11月18日(木) 11:00－12:00	特別展 第68回 日本伝統工芸展岡山展	出品作家による作品解説 「木工についてのお話」	小椋芳之氏（木工作家)、西山謙二氏（木工作家）	地下1階講義室 定員40人 （申込先着順）	22人
11月20日(土) 11:00－12:00	特別展 第68回 日本伝統工芸展岡山展	出品作家による作品解説 「デビュートーク」	小山陽子氏（備前焼作家）	地下1階講義室 定員40人 （申込先着順）	25人
11月20日(土) 13:30－14:30	特別展 第68回 日本伝統工芸展岡山展	特別作品解説会（陶芸）	福島善三氏(重要無形文化財保持者･監査委員)、隠崎隆一氏(備前焼作家)	2階ホール 定員180人 (申込先着順)	51人
11月23日(火･祝) 13:30－15:00	特別展 第68回 日本伝統工芸展岡山展	出品作家による作品解説 「金工についてのお話」	佐故龍平氏（金工作家）	地下1階講義室 定員40人 （申込先着順）	18人
11月27日(土) 13:30－15:00	特別展 第68回 日本伝統工芸展岡山展	出品作家による作品解説 「染織についてのお話」	福井禎氏(染織作家)	地下1階講義室 定員40人 （申込先着順）	44人
11月28日(日) 13:30－15:00	特別展 第68回 日本伝統工芸展岡山展	出品作家による作品解説 「漆芸についてのお話」	高橋香葉氏(漆芸作家)	地下1階講義室 定員40人 （申込先着順）	37人
12月4日(土) 13:30－15:00	特別展 第68回 日本伝統工芸展岡山展	出品作家による作品解説 「人形についてのお話」	奥富久枝氏(人形作家)	地下1階講義室 定員40人 （申込先着順）	17人
12月5日(日) 13:30－15:00	特別展 第68回 日本伝統工芸展岡山展	出品作家による作品解説 「諸工芸についてのお話」	粟根仁志氏(七宝作家･監査委員)	地下1階講義室 定員40人 （申込先着順）	21人
2022年 2月12日(土)、20日(日)、3月13日(日)、3月18日(金) 各回 14:00－14:45 (3/13のみ、13:30－14:30)	特別展 伊豆市所蔵近代日本画展 修善寺物語　大観と靫彦、紫紅たち	学芸員によるスライドレクチャー「今日のこの一点 安田靫彦《吉野決別》」(2/12) 「作家紹介－院展三羽烏を中心に－」(2/20)「もっと知りたいこの絵の元ネタ」(3/13) 「今日のこの一点　今村紫紅《枇杷叭叭鳥》」(3/18)	2/12、3/13、3/18:鈴木恒志(学芸員) 2/20:中村麻里子(副管理者)	地下1階講義室 定員35人 （申込先着順）	2/12:24人 2/20:22人 3/13:25人 3/18:19人

「柚木玉邨・久太・祥吉郎
柚木家三代の絵画と精神」鼎談

「草間喆雄
美しき色彩のコンポジション」対談

「草間喆雄　美しき色彩のコンポジション」　ミュージアムコンサート

「星野道夫　悠久の時を旅する」
記念講演会

1－2　ワークショップ等

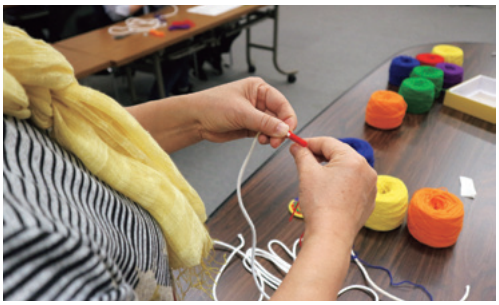
（1）令和3年度　ワークショップ

「つくる（制作）」「みる（鑑賞）」に関わるプログラムによって、参加者が美術館に親しみ、作品や美術に対する理解が深まることをねらいとしている。

日程	会場	プログラム名	講師、担当者等	対象（めやす）、定員	参加費、持参物等	参加人数
4月3日（土） 5月2日（日） 各日10:30－、 13:20－ （各回90分）	研修室	せなけいこ展関連事業 「すうじのつぶやきをつくろう!!」	西森そのの氏（アーティスト） 湯浅亮氏（warisasi／デザイナー）	各回10人 （事前申込先着順）	参加費：500円	4/3AM：10人 4/3PM：10人 5/2AM：7人 5/2PM：9人
4月10日（土） 10:00－、 14:00－ 11日（日） 10:00－	研修室	じゅにあ・ミュージアム・Lab〈4月〉 「絵を動かしてみよう！ －アニメーションの仕組み－」	岡本裕子（主任学芸員）中西ひかる（魅力発信スタッフ） 中桐聡美（学芸員）	小学校中学年から中学生 各回6人 事前申込先着順	参加費：300円 持参物：ペットボトルのキャップ2個、色鉛筆やサインペンなど	4/10AM：6人 4/10PM：4人 4/11AM：6人
4月17日（土） 10:30－、 14:00－ 4月18日（日） 10:30－	研修室	きっず・ミュージアム・Lab〈4月〉 「ぬりぬり、ちょきちょき、ぺたぺた～巨大こいのぼり」	岡本裕子、 中西ひかる、 中桐聡美	幼児から小学校中学年 各回8人 事前申込先着順	参加費：無料 持参物：70ℓサイズの透明ビニール袋（一人一枚）	4/17AM：8人 4/17PM：8人 4/18AM：8人
5月8日（土） 10:00－、 14:00－ 5月9日（日） 10:00－	研修室	じゅにあ・ミュージアム・Lab〈5月〉 「カメレオンに挑戦!! －色でかくれんぼ－」	岡本裕子、 中桐聡美	小学校中学年から中学生 各回6人 事前申込先着順	参加費：500円 持参物：学校で使ている絵の具セット、手拭き用タオル	5/8AM：6人 5/8PM：6人 5/9AM：6人
5月29日（土） 10:30－12:00、 14:00－15:30 5月30日（日） 10:30－12:00	研修室	きっず・ミュージアム・Lab〈5月〉 「空き箱を使って、遊んじゃおう～!!」 ＊新型コロナウイルス感染症拡大のため6月に延期	岡本裕子、 中西ひかる、 中桐聡美	幼児から小学校中学年 各回6人 事前申込先着順	参加費：300円 持参物：家にある不要な空き箱（大きさや厚みの異なる空き箱を一人、3~5種類）	
6月12日（土） 10:00－12:00、 14:00－16:00 6月13日（日） 10:00－14:00	会議室	じゅにあ・ミュージアム・Lab〈6月〉 「涼を味わう／透け感を楽しむ」 ＊新型コロナウイルス感染症拡大のため対面開 催中止⇒on-lineで開催	岡本裕子、 中桐聡美	小学校中学年から中学生 各回6人 事前申込先着順	参加費：500円 持参物：「夏を感じる色の紙（3～5種類）」	6/12AM：2人 6/12PM：6人 6/13AM：2人
6月26日（土） 10:30－12:00、 14:00－15:30 6月27日（日） 10:30－12:00	研修室	きっず・ミュージアム・Lab〈5月〉 「空き箱を使って、遊んじゃおう～!!」 ＊きっず・Lab〈5月〉のプログラムを延期開催 ＊新型コロナウイルス感染症拡大状況によっては、on-line開催も想定して準備	岡本裕子、 中西ひかる、 中桐聡美	幼児から小学校中学年 各回6人 事前申込先着順	参加費：300円 持参物：家にある不要な空き箱（大きさや厚みの異なる空き箱を一人、3~5種類）	6/26AM：5人 6/26PM：6人 6/27AM：5人
7月10日（土） 10:00－12:00、 14:00－16:00 7月11日（日） 10:30－12:00	研修室、 バック ヤード等	じゅにあ・ミュージアム・Lab〈7月〉 「美術館のお仕事－作品を守る／つなげる－」	スペシャル・ゲスト 守安收（館長）福冨幸（学芸課長）八田真理子（学芸員）		参加費：無料 その他：参加する前に、「岡山の美術展」を観覧（要観覧券）	7/10AM：6人 7/10PM：6人 7/11AM：6人
7月17日（土） 10:30－12:00、 14:00－15:30 7月18日（日） 10:30－12:00	研修室	きっず・ミュージアム・Lab〈7月〉 「おばけ参上～!!」	岡本裕子、 中西ひかる、 中桐聡美	幼児から小学校中学年 各回6人 事前申込先着順	参加費：200円 その他：「あか・あお、き、オレンジ、ピンク」と「グレー・ブルー・グリーン・ピンク・パープル・イエロー」の中から好きな色を事前に考えてくる	7/17AM：6人 7/17PM：6人 7/18AM：6人
8月7日（土） 10:00－12:00、 14:00－16:00 8月8日（日） 10:00－12:00	研修室	じゅにあ・ミュージアム・Lab〈8月〉 「“コラージュ”にチャレンジ!!」	岡本裕子、 中西ひかる、 中桐聡美	小学校中学年から中学生 各回6人 事前申込先着順	参加費：500円 持参物：雑誌、包装紙、チラシや広告	8/7AM：4人 8/7PM：6人 8/8AM：5人

日程	会場	プログラム名	講師、担当者等	対象（めやす）、定員	参加費、持参物等	参加人数
8月14日（土） 10:30－12:00、 14:00－15:30 8月15日（日） 10:30－12:00、 14:00－15:30	研修室	きっず・ミュージアム・Lab〈8月〉 「大きな絵を描こう!! Part2」	岡本裕子、 中西ひかる、 中桐聡美	4歳以上から小学校中学年 各回6人 事前申込先着順	参加費：無料 ドレスコード：各日午前の部「赤色と青色」、午後の部「黄色と緑色」	8/14AM：6人 8/14PM：5人 8/15AM：6人 8/15PM：6人
9月12日（日） 13:30－15:30	岡山県自然保護センター	じゅにあ・ミュージアム・Lab〈9月〉 「自然保護センター×県美Voi.1／青写真で自然を写し撮ろう！」 ＊新型コロナウイルス感染症拡大のため中止	スペシャル・ゲスト 藤田拓矢氏（岡山県自然保護センター技師）	小学校中学年から中学生 15人 事前申込先着順	参加費：500円 持参物：新聞紙1～2日分、時計	
9月25日（土） 10:30－12:00、 14:00－15:30 9月26日（日） 10:30－12:00	ホワイエ	きっず・ミュージアム・Lab〈9月〉 「紙コップで遊ぼう～!! Part2」 ＊新型コロナウイルス感染症拡大のため12月に延期	岡本裕子、 中西ひかる、 中桐聡美	幼児から小学校中学年 各回6人 事前申込先着順	参加費：200円 持参物：懐中電灯	
10月9日（土） 10:00－12:00、 14:00－16:00	研修室、地下1階展示室	じゅにあ・ミュージアム・Lab〈10月〉 「自然保護センター×県美Voi.2／星野道夫展を体感しよう!!」 ＊協力：倉敷市立自然史博物館（毛皮標本の借用）	スペシャル・ゲスト 池本茂豊氏（岡山県自然保護センター副所長） 藤田拓矢氏（同技師）	小学校中学年から中学生 各回8人 事前申込先着順	参加費：無料 その他：特別展「星野道夫展」の観覧券	10/9AM：7人 10/9PM：5人
10月16日（土） 10:30－12:00、 14:00－15:30 10月17日（日） 10:30－12:00	研修室、2階展示室	きっず・ミュージアム・Lab〈10月〉 「とんぼのめがね」	岡本裕子、 中西ひかる、 中桐聡美	幼児から小学校中学年 各回6人 事前申込先着順	参加費：200円 持参物：わりばし一膳、岡山の美術展の観覧券	10/16AM：5人 10/16PM：6人 10/17AM：6人
10月23日（土） 10:00－12:00、 14:00－16:00 11月6日（土） 10:00－12:00、 14:00－16:00	講義室	星野道夫展関連事業 「スライドトークと鹿革小物づくり」	渋谷肇氏（革職人、西粟倉村在住）	小学校中学年以上 各回20人 事前申込制 （応募多数の場合抽選）	参加費：1,500円	10/23AM：18人 10/23PM：17人 11/6AM：17人 11/6PM：18人
10月24日（日） 13:30－16:30	グリーンルーム	草間喆雄展関連事業 ワークショップ	草間喆雄氏（出品作家）	20人 事前申込先着順	参加費：1,000円	16人
11月6日（土） 13:00－17:00	岡山県立大学	第68回 日本伝統工芸展関連事業 「ミニ登り窯WS」	岡山県立大学デザイン学部造形デザイン学科	9人 事前申込先着順	参加費：500円	9人
11月13日（土） 10:00－12:00、 14:00－16:00 11月14日（日） 10:00－12:00	研修室	じゅにあ・ミュージアム・Lab〈11月〉 「“秋陽”にすかしてみよう」	岡本裕子、 中西ひかる、 中桐聡美	小学校中学年から中学生 各回6人 事前申込先着順	参加費：500円 持参物：ものさし、三角定規	11/13AM：6人 11/13PM1人 11/14AM：6人
11月20日（土） 10:30－12:00、 14:00－15:30 11月21日（日） 10:30－12:00	中庭	きっず・ミュージアム・Lab〈11月〉 「シャボン玉とんだ～(^^♪」	岡本裕子、 中西ひかる、 中桐聡美	幼児から小学校中学年 各回6人 事前申込先着順	参加費：400円 持参物：毛糸（1玉）、針金ハンガー（2本）	11/20AM：6人 11/20PM：6人 11/21AM：7人
11月23日（火・祝） 10:00－12:00、 13:30－15:30	地下1階屋内広場	第68回日 本伝統工芸展関連事業 「WS－作家に学ぶ伝統工芸の技－／木工　手挽きろくろ体験」	小椋芳之氏（日本工芸会正会員） 濱田幸介氏（日本工芸会正会員）	各回3組6人 事前申込先着順	参加費：1,000円	AM：6人 PM：6人
11月27日（土） 10:00－12:00、 13:30－15:30	地下1階屋内広場	第68回 日本伝統工芸展関連事業 「WS－作家に学ぶ伝統工芸の技－／漆芸　マイ箸＆マイスプーン作り」	塩津容子氏（日本工芸会正会員） 井上みゆき氏（日本工芸会正会員）	各回10人 事前申込先着順	参加費：1,500円	AM：10人 PM：8人
11月27日（土） 10:00－12:00、 13:30－15:30	研修室	第68回 日本伝統工芸展関連事業 「WS－作家に学ぶ伝統工芸の技－／七宝　箔貼り七宝のキーホルダー作り」	岩本文子氏（日本工芸会正会員）	各回10人 事前申込先着順	参加費：500円	AM：10人 PM：10人

日程	会場	プログラム名	講師、担当者等	対象(めやす)、定員	参加費、持参物等	参加人数
11月28日(日) 10:00－12:00、 13:30－15:30	研修室	第68回 日本伝統工芸展関連事業 「WS－作家に学ぶ伝統工芸の技－／備前焼　電動ろくろでうつわ作り」	日本工芸会中国支部陶芸部会会員	各回20人 事前申込先着順	参加費:500円	AM:17人 PM:17人
12月5日(日) 10:00－12:00、 13:30－15:30	研修室	第68回 日本伝統工芸展関連事業 「WS－身近な素材で染めてみよう－発見!晴ぞめチャレンジ!」	岡山県立大学デザイン学部造形デザイン学科	各回10人 事前申込先着順	参加費:500円	AM:10人 PM:10人
12月11日(土) 10:00－12:00、 14:00－16:00 12月12日(日) 10:00－12:00	研修室	じゅにあ・ミュージアム・Lab〈12月〉 「版画Vol.1／シルクスクリーンってなんだろう?」	中桐聡美、 中西ひかる	小学校中学年から中学生 各回6人 事前申込先着順	参加費:200円 持参物:新聞紙1日分	12/11AM:5人 12/11PM:5人 12/12AM:4人
12月18日(土) 14:00－16:00 12月19日(日)	講義室	きっず・ミュージアム・Lab〈12月〉 「紙コップで遊ぼう～!! Part2」 ＊きっず・Lab〈9月〉のプログラムを延期開催	岡本裕子、 中西ひかる	幼児から小学校中学年 各回10人 事前申込先着順	参加費:130円 持参物:懐中電灯	12/18PM:10人 12/19AM:10人 12/19PM:10人
2022年 2月12日(土) 14:00－16:00 2月13日(日) 10:00－12:00	ホワイエ、 研修室	じゅにあ・ミュージアム・Lab〈2月〉 「暗闇WS－さわって、つくって、みる」 ＊新型コロナウイルス感染症拡大のため3月に延期	スペシャル・ゲスト 広瀬浩二郎氏(国立民族学博物館准教授)	小学校中学年から中学生＆その保護者 各回5人 事前申込先着順	参加費:無料	
2月13日(日) 14:00－16:00	ホワイエ、 研修室	「暗闇WS－さわって、つくって、みる」 ＊新型コロナウイルス感染症拡大のため3月に延期	スペシャル・ゲスト 広瀬浩二郎氏(国立民族学博物館准教授)	高校生以上、広く一般 5人 事前申込先着順	参加費:無料	
2月26日(土) 10:30－12:00、 14:00－15:30 2月27日(日) 10:30－12:00	研修室	きっず・ミュージアム・Lab〈2月〉 「はって、ぬって、すって…あそぼう!」	岡本裕子、 中西ひかる、 中桐聡美	幼児から小学校中学年 各回6人 事前申込先着順	参加費:500円 持参物:手ざわりのちがうモノ(紙、箱、ひも、アルミ箔、ひも、毛糸など)	2/26AM:6人 2/26PM:6人 2/27AM:6人
3月5日(土) 10:00－12:00、 14:00－16:00	研修室	みんなの参観日関連事業 「"美術の時間"にチャレンジ／織る－びしゃびしゃ、ざくざく、ぱたぱた－」	尾堂雅子氏(瀬戸内市立邑久中学校)	小学生から広く一般 各回6人 事前申込先着順	参加費:300円 持参物:織り込みたいもの	AM:4人 PM:6人
3月12日(土) 10:30－12:00、 14:00－15:30 3月13日(日) 10:30－12:00	研修室	きっず・ミュージアム・Lab〈3月〉 「春風をまつ－墨であそぼう＆色水であそぼう!」	岡本裕子、 中西ひかる、 中桐聡美	幼児から小学校中学年 各回6人 事前申込先着順	参加費:300円	3/12AM:5人 3/12PM:6人 3/13AM:6人
3月19日(土) 14:00－16:00 3月20日(日) 10:00－12:00	ホワイエ、 研修室	じゅにあ・ミュージアム・Lab〈2月〉 「暗闇WS－さわって、つくって、みる」 ＊じゅにあ・Lab〈②月〉のプログラムを延期開催	スペシャル・ゲスト 広瀬浩二郎氏(国立民族学博物館准教授)	小学校中学年から中学生＆その保護者 各回5人 事前申込先着順	参加費:無料	3/19PM::5人 3/20AM:5人
3月20日(日) 14:00－16:00	ホワイエ、 研修室	「暗闇WS－さわって、つくって、みる」 ＊2月プログラムの延期開催	スペシャル・ゲスト 広瀬浩二郎氏(国立民族学博物館准教授)	高校生以上、広く一般 5人 事前申込先着順	参加費:無料	3/20PM:5人



「草間喆雄　美しき色彩のコンポジション」関連事業
ワークショップ

「星野道夫　悠久の時を旅する」関連事業
ワークショップ

第68回日本伝統工芸展関連事業
ワークショップ_木工

第68回日本伝統工芸展関連事業
ワークショップ_漆芸

きっず・ミュージアム・Lab／
ぬりぬり、ちょきちょき、ぺたぺた～巨大こいのぼり

きっず・ミュージアム・Lab／
大きな絵を描こう!! Part2

きっず・ミュージアム・Lab／
紙コップで遊ぼう!! Part2

じゅにあ・ミュージアム・Lab／
美術館のお仕事－作品を守る・つなげる

じゅにあ・ミュージアム・Lab／
自然保護センター×県美－星野道夫展を体感しよう!!

じゅにあ・ミュージアム・Lab／
暗闇WS－さわって、つくって、みる

（2）令和3年度　対話型鑑賞体験ツアー（毎月第3日曜日14:00－）

参加者が美術に対する理解を深め、作品とふれあってもらうことを目的に、「対話を用いた鑑賞」を実施している。「対話を用いた鑑賞」とは、ナビゲーターと呼ばれるスタッフ（当館ボランティア専門班のうちVTスタッフ）が参加者に寄り添い、対話とともに「みる・考える」を繰り返すことで、参加者の主体的な鑑賞を促す方法である。

令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施していない。

（3）令和3年度　「岡山の美術」観察日記

参加者と学芸員との交換日記形式の1年間継続プログラムである。まず、当館から本事業参加者に対し、各期の「岡山の美術」展にあわせて案内ハガキ「KanKan通信」を郵送する。ハガキを受け取った参加者は作品を鑑賞し、その感想や質問を「観察日記」に記入して、学芸員がそれに答える。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため岡山の美術展開催の見通しが立ちにくいことを鑑みて、2年間（令和3-4年度）の継続プログラムとして実施した。

日程および回数	参加（登録）人数
2021年6月、10月／ 2回	18人

2. 博学連携事業

2－1　美術館学習・研修等での活用

学校授業（図画工作・美術・総合的な学習の時間・校外学習等）や教職員研修（教科別研修、初任者研修等）の場として、美術館を多くの団体に提供している。

団体対応プログラムには以下一覧表A－Dの4種があり、学校や教育センターと授業・研修の目的を話し合い、プログラムを随時検討しながら対応を行っている。本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ABは中止し、CD、ならびにA-D以外の活用等は学芸員が対応し可能な限り実施した。

（1）団体対応プログラムと令和3年度の実施状況

コース名	令和2年度の実施状況
A：自由見学コース ボランティアによるマナーガイダンス・美術館の概要説明(15分程度)のあと、自由に鑑賞を行う。	実施せず
B：グループ案内コース 団体をグループに分け、グループごとにボランティアが解説を交えながら岡山の美術展を案内する(40分程度)。	実施せず
C：対話を用いた鑑賞ヴィジュアル・シンキングコース 学芸員及びボランティアが、対話を用いた鑑賞(ヴィジュアル・シンキング＝VT)で岡山の美術展を案内する(60-120分程度)。時間に余裕がある場合は、ゲームを通して鑑賞を深める「アートゲーム」等を組み合わせる。	23団体464人 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、VTをベースにした変則的プログラムを実施。
D：特別展解説コース 特別展担当学芸員が簡単な解説(15分程度)を行ったあと、自由に鑑賞する。	5団体212人
A－D以外の活用等 インタビュー、博物館実習、大学との協働授業等。	3団体62人
対応なし(フリー)	22団体942人

（2）令和3年度　美術館学習･研修等活用実績

日程	団体名等	参加人数(引率者)	コース
4月2日（金）	ポエム保育園おかやま／ポエムこども園ひらつ	38人（9人）	オープニング参加＆観覧
4月8日（木）	岡山大学医学部医学科5年生	6人	岡大(医)×県美プログラム 「ビジュアルアート教育プログラム」
4月20日（火）	社会福祉法人ひまわり会　弓之町保育園	18人（3人）	フリー
4月22日（木）	岡山大学医学部医学科5年生	5人	岡大(医)×県美プログラム 「ビジュアルアート教育プログラム」
4月23日（金）	中国デザイン専門学校	21人（1人）	フリー
4月30日（金）	岡山大学教育学部附属小学校3年生3クラス	105人（6人）	変則Cコース ＊VTをベースにしたオプショナルプログラム
6月24日（木）	岡山大学医学部医学科5年生	6人	岡大(医)×県美プログラム 「ビジュアルアート教育プログラム」
7月8日（木）	岡山大学医学部医学科5年生	6人	岡大(医)×県美プログラム 「ビジュアルアート教育プログラム」
7月10日（土）	就実大学／博物館学芸員課程	35人（2人）	フリー
7月16日（金）	愛知県立豊橋聾学校　高等部2年生	5人（3人）	フリー
7月17日（土）	就実大学／博物館学芸員課程	28人（1人）	フリー
7月20日（火）	岡山大学医学部医学科5年生	6人	岡大(医)×県美プログラム 「ビジュアルアート教育プログラム」
7月22日(木･祝)	岡山大学 教養科目「ユニバーサルデザイン」学外授業	24人（3人）	UD「ユニバーサル･ミュージアム」「病院のまなざし」 「ダイバーシティと人づくり･まちづくり」 「社会の中に見つけるやさしさ」
7月27日（火）	岡山市立桑田中学校　美術部	27人（3人）	フリー
7月29日（木）	倉敷市立福田南中学校　美術部	11人（2人）	フリー
7月29日（木）	岡山県立岡山芳泉高等学校「カルチュラルラーニング」	20人（1人）	変則Cコース＋バックヤードツアー＆振り返り
7月30日（金）	瀬戸内市立牛窓中学校 美術同好会	10人（2人）	フリー

日程	団体名等	参加人数(引率者)	コース
8月4日（水）	岡山県小学校教育研究会岡山支会 第1指導局(鑑賞教室)夏季研修会	6人	セルフVTワークシート＆ディスカッション
8月17日（火） － 21日（土）	博物館実習	8人	博物館実習プログラム
8月26日（木）	岡山大学医学部医学科5年生	6人	岡大(医)×県美プログラム 「ビジュアルアート教育プログラム」
8月29日（日）	兵庫県立西宮高等学校　音楽科	39人（4人）	フリー
9月10日（金）	岡山大学医学部医学科5年生	6人	岡大(医)×県美プログラム 「ビジュアルアート教育プログラム」
9月17日（金）	ノートルダム清心女子大学 2・3年生「博物館展示論」	22人（1人）	フリー
9月22日（水）	岡山大学医学部医学科5年生	6人	岡大(医)×県美プログラム 「ビジュアルアート教育プログラム」
10月3日（日）	岡山県立水島工業高等学校／写真部	10人（1人）	フリー
10月7日（木）	岡山大学医学部医学科5年生	6人	岡大(医)×県美プログラム 「ビジュアルアート教育プログラム」
10月14日（木）	岡山市立大野小学校　3年生　2クラス	81人（5人）	変則Cコース セルフVTワークシート
10月14日（木）	岡山市立福南中学校　2年生 班別自主活動	42人（9人）	フリー
10月15日（金）	就実大学「表現創造教育研究会」	5人	変則Cコース ブラインド・トーク＋VT＋振り返り
10月15日（金）	中国デザイン専門学校 デザイン高等課程基礎デザイン科	26人（3人）	フリー
10月19日（火）	倉敷市立乙島小学校6年生1クラス 修学旅行グループ活動	26人（6人）	フリー
10月20日（水）	倉敷市立連島東小学校 5年生　班別自主活動	57人（8人）	フリー
10月20日（水）	就実大学／人文科学部浅利ゼミ「ゼミナール」	7人（1人）	Cコース
10月21日（木）	岡山大学医学部医学科5年生	4人	岡大(医)×県美プログラム 「ビジュアルアート教育プログラム」
10月22日（金）	倉敷市立茶屋町小学校5年生6クラス 班別自主活動(6～5人×36班)	212人（9人）	班別自主活動
10月29日（金）	岡山県立倉敷中央高等学校 看護科3年生校外学習	36人（2人）	Dコース
11月2日（火）	岡山大学附属小学校　4年生1クラス　（その1）	34人（5人）	変則Cコース＋Dコース ＊共働授業「UD学習」の一環
11月4日（木）	岡山大学附属小学校　4年生1クラス　（その2）	34人（5人）	変則Cコース＋Dコース ＊共働授業「UD学習」の一環
11月4日（木）	岡山大学医学部医学科5年生	5人	岡大(医)×県美プログラム 「ビジュアルアート教育プログラム」
11月5日（金）	岡山大学附属小学校　4年生1クラス　（その3）	34人（5人）	変則Cコース＋Dコース ＊共働授業「UD学習」の一環
11月17日（水）	倉敷市立万寿小学校6年生 班別自主活動	123人（9人）	フリー
11月17日（水）	京都市立東総合支援学校(高等部)3年生	24人（21人）	フリー
11月19日（金）	赤磐市立山陽西小学校　4年生	29人（2人）	変則Cコース＋Dコース
11月19日（金）	倉敷市立連島南中学校2年生 班別自主活動	116人（8人）	フリー
12月2日（木）	岡山大学医学部医学科5年生	5人（2人）	岡大(医)×県美プログラム 「ビジュアルアート教育プログラム」
12月7日（火）	吉備高原学園高等学校 2・3年生 クラフトデザインコース	11人（3人）	Dコース
12月10日（金）	朝日塾中等教育学校 中1・中2	46人（2人）	Dコース
12月11日（土）	新見市立新見第一中学校(部活動)	16人（2人）	フリー
12月11日（土）	岡山市立中山中学校／美術部	10人（2人）	フリー
12月14日（火）	岡山大学／教育学部	16人（1人）	フリー
12月16日（木）	岡山大学医学部医学科5年生	5人	岡大(医)×県美プログラム 「ビジュアルアート教育プログラム」
12月16日（木）	岡山大学／教育学部	11人（1人）	フリー

日程	団体名等	参加人数(引率者)	コース
12月18日（土）	赤磐市立磐梨中学校／美術部	10人（1人）	フリー＋みんなの参観日参観
12月18日（土）	岡山大学／博物館実習「人文系博物館実習C」	15人（1人）	博物館実習
2022年 ３月10日（木）	岡山大学医学部医学科4年生	5人	岡大(医)×県美プログラム 「ビジュアルアート教育プログラム」

※学校団体観覧連絡票の提出をもとに作成

（3）職場体験学習

令和3年度　職場体験学習　受入れ実績

＊新型コロナウイルス感染症蔓延のため受入実績なし

2－2　学校出前講座

（1）令和3年度　実施実績

学校	学年	参加人数	日程	内容	講師
岡山大学 教育学部附属小学校	4年生 3クラス	100人 （1クラス33－34人）	6月23日(水) 9:50－10:30 10:40－11:20 11:40－12:20	「美術館って何をするところ?」	岡本裕子 中桐聡美
岡山大学 教育学部附属小学校	4年生 3クラス	100人 （1クラス33－34人）	7月13日(火)13:20－14:00 14:10－14:50 15:00－14:50	「ブラインドトーク－聴くワークショップ－」	岡本裕子 中桐聡美
岡山大学 教育学部附属小学校	4年生 2クラス	67人 （1クラス33－34人）	2022年 2月28日(月) 9:50－10:30 10:40－11:20	「みて、考えて、お話をしよう／ポイントは“聴く”－国吉康雄《逆さのテーブルとマスク》－」	岡本裕子 中桐聡美
岡山大学 医学部医学科	5年生	5人	5月13日(木)13:30－15:30	岡大(医)×県美プログラム 「ビジュアルアート教育プログラム」	岡本裕子
岡山大学 医学部医学科	5年生	5人	11月18日(木)13:30－15:30	岡大(医)×県美プログラム 「ビジュアルアート教育プログラム」	岡本裕子 中桐聡美
岡山大学 医学部医学科	5年生	5人	2022年 1月 6日(木)13:30－15:30	岡大(医)×県美プログラム 「ビジュアルアート教育プログラム」	岡本裕子 洪性孝 (学芸員)
岡山大学 医学部医学科	4年生	5人	1月11日(火)13:30－15:30	岡大(医)×県美プログラム 「ビジュアルアート教育プログラム」	岡本裕子 洪性孝
岡山大学 医学部医学科	4年生	5人	1月26日(水)13:30－15:30	岡大(医)×県美プログラム 「ビジュアルアート教育プログラム」	岡本裕子 洪性孝

2－3　教員研修出張講座

令和3年度　実施実績

種別	題目	講師	日程	会場	参加人数
岡山県小学校教育研究会岡山支会 第1指導局(鑑賞教室)夏季研修会	コロナ禍の美術館学習 「セルフVTワークシート実践」	岡本裕子 中桐聡美	8月4日(水) 14:30－17:00	岡山県立美術館 講義室＆2階展示室	6人
就実大学 表現創造教育研究会(教員研修)	表現と鑑賞	岡本裕子 中桐聡美	10月15日(金) 9:30－12:00	岡山県立美術館 講義室＆2階展示室	5人
岡山県総合教育センター 初任者研修講座(高等学校・特別支援学校)	郷土理解・伝統と文化 －”美術館”ってあなたにとってどんなところ？／県美と学校との連携について	岡本裕子	11月25日(木) 9:00－16:00	岡山県青少年教育センター閑谷学校	78人 ※26人×3グループを各90分で実施

2－4　令和3年度　第3回　みんなの参観日「図工の時間・美術の時間―子どもの学び―」事業

(1) 令和3年度　ワーキンググループ･メンバー

氏名	所属	職名	備考
上岡　弘明	岡山市教育委員会事務局 学校教育部 指導課／教育支援室	副主幹	アドバイザー
岡根　誠	倉敷市立大高小学校	講師	岡山県小学校教育研究会図画工作部会会長 ＊2021年6月まで
安東　信哉	岡山市立馬屋下小学校	校長	岡山県小学校教育研究会図画工作部会会長 ＊2021年6月から
平坂　多恵子	岡山市立幡多小学校	教諭	
高橋　和亮	倉敷市立庄小学校	教諭	
下川　愛子	赤磐市立山陽西小学校	教諭	
上田　良子	新見市立本郷小学校	教諭	
川西　隆	倉敷市立多津美中学校	校長	岡山県中学校教育研究会美術部会部会長
長﨑　陽日	岡山市立東山中学校	教諭	
藤井　雅美	倉敷市立多津美中学校	教諭	
杉本　正章	瀬戸内市立邑久中学校	教諭（再）	
平野　直哉	真庭市立落合中学校	教諭	
田井　良和	岡山県総合教育センター 研修部／ 義務教育班	指導主事	
守安　收	岡山県立美術館	館長	
岡部　誠	岡山県立美術館	管理者	
福冨　幸	岡山県立美術館	学芸課長	
岡本　裕子	岡山県立美術館	主任学芸員	
八田　真理子	岡山県立美術館	学芸員	＊2021年9月まで
中桐　聡美	岡山県立美術館	学芸員	
中西　ひかる	岡山県立美術館	魅力発信スタッフ	

(2) 令和3年度　ワーキンググループによる準備･検討会

回次	日程	会場	議題
第1回	7月5日(月) 14:30－16:30	岡山県立美術館研修室	開催に向けて(コロナ禍の現状をふまえて)
第2回	8月4日(水) 9:30－12:00	岡山県立美術館研修室	開催に向けて(参加校打合せ会に向けて)
第3回	9月21日(火) 14:30－16:30	岡山県立美術館講義室	開催に向けて(授業見学、前期・後期展示準備、広報等)
第4回	2022年 1月20日(木) 14:30－16:30	岡山県立美術館講義室	展覧会報告(進め方、成果と課題等)、次年度開催に向けて(スケジュール、事業内容等の検討)

（3）令和3年度　説明会

＊新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う緊急事態宣言期間中のため全て中止

回次	日程	会場	出席者	参加人数
第1回（県南会場）	5月21日（金） 14:00－15:30	岡山県立美術館研修室		
第2回（県南会場）	6月8日（火） 14:00－15:30	岡山県立美術館研修室		
第3回（津山会場）	6月14日（月） 15:00－16:30	津山市中央公民館2階会議室3		

（4）令和3年度　参加校打合せ会

日程	会場	出席者	参加人数
8月20日（金） 14:00－16:15	岡山県美術館講義室	上岡、高橋、下川、川西、長﨑、藤井、杉本、岡部、岡本、中桐、中西	7人（岡山県内小中学校教員）

（5）令和3年度　ワーキンググループ･メンバーおよび参加校教員による参加校授業見学

学校	日程	見学者
倉敷市立 茶屋町小学校	10月5日（火）、22日（金）	高橋、守安、岡部、岡本、中桐
赤磐市立山陽西小学校	10月11日（月）	岡本
浅口市立鴨方中学校	10月28日（木）、11月22日（月）、29日（月）	川西、長﨑、杉本、平野、田井、守安、岡本
瀬戸内市立邑久中学校	11月1日（月）、15日（月）、24日（水）、2022年1月25日（火）	長﨑、岡本
倉敷市立味野小学校	11月9日（火）、10日（水）	川西、守安、岡本
倉敷市立大高小学校	11月11日（木）	上岡、高橋、岡本
倉敷市立琴浦中学校	11月16日（火）、24日（水）	川西、岡本、中桐

（6）令和3年度　展示事業

前後期	日程	準備日程	撤収日程	参観者数
前期	12月5日（日）－19日（日）	12月4日（土）9:00－	12月20日（月）9:00－	1,346人
後期	2022年 2月20日（日）－3月6日（日）	2月19日（土）9:00－	3月7日（月）9:00－	639人

（7）令和2年度　前期参加校一覧

学校名	代表者名	授業者名	参加学年	題材名
倉敷市立大高小学校	小田　哲史	岡根　誠	4年生	おしゃれな制服着てみたい！～日本画で表現～
倉敷市立味野小学校	内部　誠治	大西　伽奈	1年生	クロス！
瀬戸内市立牛窓中学校	小田　洋子	尾堂　雅子	3年生	牛窓から届けるメロディ～♪

前期展示会場（全体）

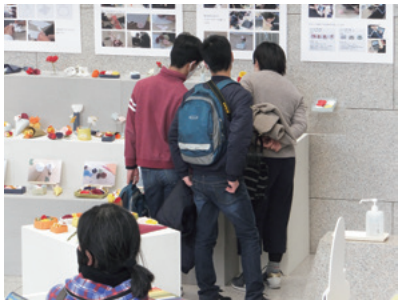
前期展示／参観者－その１－

前期展示／参観者－その２－

（8）令和3年度　後期参加校

学校名	代表者名	授業者名	参加学年	題材名
赤磐市立山陽西小学校	大嶋　陽一	下川　愛子	1年生	でこぼこはっけん！～西小コレクション～
倉敷市立茶屋町小学校	山神　勝昭	小郷　善弘	6年生	茶小の地上絵～地域の伝統と共に～
瀬戸内市立邑久中学校	藤森　卓麻	尾堂　雅子	3年生	人生年表線
倉敷市立琴浦中学校	中川　博之	田井　理佳	1年生	刷って出会う楽しさ ～構成美の要素を使って、版画をつくろう！～
浅口市立鴨方中学校	村下　徹	杉本　泰輝	2年生	あなたに贈るアートフラワー～和紙による立体造形～

後期展示会場（一部）


後期展示／参観者－その1－

後期展示／参観者－その２－

（9）令和3年度　教育普及事業（アクティビティ）

回次	内容	講師および登壇者	日程	会場
第1弾（前期）	みんなの参観日×くらしき図画工作の会 参加校教員との交流「“図工の時間”を語る」	岡根誠、大西伽奈	12月18日（土） 9:30－11:30	岡山県立美術館屋内広場 （展覧会会場）＆研修室
第2弾（後期） ＊新型コロナウイルス感染症拡大に伴うまん延防止等重点措置期間中のため中止	みんなの参観日×くらしき図画工作の会 （拡大版） 参加校教員との交流「“図工の時間”を語る」＆WS「“美術の時間”にチャレンジ」	小郷善弘、尾堂雅子	2022年 2月26日（土） 9:30－11:30	岡山県立美術館屋内広場 （展覧会会場）＆研修室
第3弾（後期）	“美術の時間”にチャレンジ 「織る－びしゃびしゃ、ざくざく、ぱたぱた－」	尾堂雅子	3月5日（土） 午前の部10:00－12:00 午後の部14:00－16:00	岡山県立美術館研修室

参加教員との交流「“図工の時間”を語る」

“美術の時間”にチャレンジ
「織るーびしゃびしゃ、ざくざく、ぱたぱたー」

（10）令和3年度　広報物

ポスター：B3

フライヤー：100×148㎜（表／裏）

プロモーション・ビデオ（PV）：前期・後期　各25秒

ポスター（B3）

フライヤー（100×148㎜表）

フライヤー（100×148㎜裏）

プロモーション・ビデオ

左：前期／右：後期

（11）令和2年度　刊行物

記録集

A4変形（95ページ）

2022年3月22日発行

記録集／みんなの参観日

2－5　小学校との連携事業－協働授業

令和3年度　岡山大学教育学部附属小学校4年生「ユニバーサル・デザインと私の生活（町づくり・共生）　実施実績

次回	日程	会場	参加人数	内容	講師
第1回	6月23日(水) 9:50－10:30 10:40－11:20 11:40－12:20	岡山大学教育学部附属小学校 4年生各教室	100人 (1クラス33－34人)	「美術館って何をするところ?」	岡本裕子 中桐聡美
第2回	7月13日(火) 13:20－14:00 14:10－14:50 15:00－14:50	岡山大学教育学部附属小学校 会議室	100人 (1クラス33－34人)	「ブラインドトークー聴くワークショップー」	岡本裕子 中桐聡美
第3回	11月2日(火) 11月4日(木) 11月5日(金) 各日とも 10:00－11:30	岡山県立美術館 講義室＆地下1階展示室	100人 (1クラス33－34人)	美術館学習 「星野道夫　悠久の時を旅する」	岡本裕子 中桐聡美
第4回	2022年 2月28日(月) 9:50－10:30 10:40－11:20	岡山大学教育学部附属小学校 会議室	67人 (1クラス33－34人)	「みて、考えて、お話をしよう／ポイントは"聴く"ー国吉康雄《逆さのテーブルとマスク》ー」	岡本裕子 中桐聡美

2－6　大学との連携事業―博物館実習

（1）令和3年度　博物館実習

日程	参加人数	参加大学（人数内訳）
8月17日(火)－8月21日(土)	8人	岡山大学(2人)、金沢美術工芸大学(2人)、神戸女子大学(1人)、就実大学(2人)、広島女学院大学(1人)

（2）令和3年度　実習日程およびプログラム

日程	8月17日（火）				8月18日（水）			
	AM 9:30−10:30	AM 10:40−12:00	PM 13:00−14:25	PM 14:35−16:00	AM 9:00−10:25	AM 10:35−12:00	PM 13:00−14:25	PM 14:35−16:00
内容 & 担当者	オリエンテーション 橋村	美術館の仕事と工芸概論 福冨	工芸取扱 A班 福冨	工芸取扱 B班 福冨	日本画取扱 A班 八田・鈴木		日本画取扱 B班 八田・鈴木	
			バックヤードツアー B班 橋村	バックヤードツアー A班 橋村	広報について B班 中西・中桐	資料取扱 B班 中村	資料取扱 A班 中村	広報について A班 中西・中桐

日程	8月19日（木）			
	AM 9:00−10:25	AM 10:35−12:00	PM 13:00−14:25	PM 14:35−16:00
内容 & 担当者	ユニバーサル・ミュージアム①② 岡本		洋画取扱 A班 橋村	洋画取扱 B班 橋村
			ユニバーサル・ミュージアム 演習 B班 岡本	ユニバーサル・ミュージアム 演習 A班 岡本

日程	8月20日（金）				8月21日（土）			
	AM 9:00−10:25	AM 10:35−12:00	PM 13:00−14:25	PM 14:35−16:00	AM 9:00−10:25	AM 10:35−12:00	PM 13:00−14:25	PM 14:35−16:00
内容 & 担当者	洋画・彫刻・写真・現代美術の展示について①② 廣瀬		新進美術家支援事業について 古川	作品解説やキャプションについて 八田	展示空間について考える 橋村	データベースの整理と公開について 鈴木	ユニバーサル・ミュージアム③ 岡本	総括 橋村

2－7　大学との連携事業―協働授業・連携プログラム

（1）令和3年度　岡山大学連携事業

科目	講師	題目及び内容	日程	会場	参加学生人数	備考
教養科目「ユニバーサル・デザイン」学外授業	清田哲男氏（岡山大学教授）、徳田恭子氏（NPO法人まちづくり推進機構理事）、田中里奈氏（社会医療法人三栄会ツカザキ病院）、岡本裕子	①バリアフリーを超える　ユニバーサル・ミュージアムを目指して（岡本） ②病院のまなざし（田中） ③ダイバーシティと人づくり・まちづくり　車いすから見つめる（徳田） ④社会の中に見つけるやさしさ（清田） ⑤まちのなかのやさしさ発見（グループワーク・調査）	7月22日（木・祝） 13:00－17:00	岡山県立美術館研修室、館内、館外	24人	担当教員：清田哲男氏
地域社会と博物館（美術館）	教員：大橋功氏（岡山大学教授）、桑原敏典氏（同学教授）、赤木里香子氏（同学教授） ミュージアム：野田繭子氏（岡山県立博物館学芸員）、須藤寛氏（岡山市立オリエント美術館副主査学芸員）、橋本龍氏（林原美術館主任学芸員）、岡本裕子、中桐聡美	①各ミュージアム施設の現状と課題 ②各ミュージアム施設でのワークショップ ③提案に向けて ④提案プレゼンテーション	9月22日（水） 2022年 －2月6日（日） （計5回）	①岡山県立美術館講義室 ②各ミュージアム ③大学等 ④岡山県立美術館講義室	15人	大学と岡山カルチャーゾーン内ミュージアム（岡山県立博物館、岡山市立オリエント美術館、林原美術館、岡山県立美術館）の共働授業
医学部医学科生に対する「ビジュアルアート教育」プロジェクト	美術館：福冨幸（学芸課長）、岡本裕子、中桐聡美、洪性孝	①ブラインド・トーク ―聴くワークショップ― ②対話を用いた鑑賞 ③振り返り（共有の時間）	4月－ 2022年3月 （各月原則2回実施、各回13:30－15:30）	岡山県立美術館講義室＆展示室 ※県美プログラム実施日が展示替え等で休館の場合は、岡山大学（医局）にて実施。	医学部医学科5年 各回 5-6人	担当教員等：木股敬裕氏（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科形成再建外科分野教授）、小比賀美香子氏（同研究科総合内科学分野講師）、松本洋氏（同研究科形成再建外科学分野助教）、久保卓也氏（岡山大学医学部医学科生）、大塚益美氏（株式会社大塚デザイン会長）

（2）令和2年度　ノートルダム清心女子大学連携事業

科目	講師	題目及び内容	日程	会場	参加学生人数	備考
博物館情報・メディア論	岡本裕子 中桐聡美	岡山県立美術館の教育普及とアクセス―美術館って何をするところ?美術館ってどんなところ?― ※レクチャー、ワークショップ、ディスカッションを行った。	9月8日（水） 14:45－16:15 16:30－18:00		博物館情報・メディア論（学芸員課程）履修生　10人	担当教員：村田麻里子氏（関西大学社会学部教授） ※新型コロナウイルス感染拡大防止のためon－line（Zoom）による同時双方向講義で実施。

3. 交流事業

研究成果や事業報告など、他の博物館施設や地域等と交流事業を行っている。

3－1　令和3年度　交流事業実施実績

題目	日程	講師	主催	会場
令和3年度社会教育主事講習 「社会教育経営論(社会教育施設の経営戦略:博物館)」 ＊on－line(Zoom)による同時双方向講義	7月28日(水)	岡本裕子 (主任学芸員)	岡山大学社会教育主事講習運営委員会	
第53回日本医学教育学会大会シンポジウム 「医学教育と"アート"〜医学教育に人文学を導入する意義とは〜」 ＊オンデマンドビデオシンポジウム	7月30日(金) －8月31日(火) ＊オンデマンド配信期間	岡本裕子	一般社団法人 日本医学教育学会	
トークイベント 「みつけた！私たちの三十六景」	8月8日(日・祝)	岡本裕子	一般財団法人 林原美術館	林原美術館
公開研究会 「横浜美術館コレクションを活用した授業のための中学校・美術館合同研究会」 ＊Zoom配信	12月11日(土)	岡本裕子	横浜美術館	横浜美術館仮事務所 PLOT48
きっず☆ユニバ／スペシャル☆ユニ日 きっず☆ユニバ連携施設コラボイベント 「大きいの？小さいの？体験を通して「世界」にふれてみよう」	12月25日(土)	岡本裕子 中桐聡美 (学芸員)	岡山県生涯学習センター	岡山県 自然保護センター
岡山博物館協議会30周年記念事業／交流事業 ワークショップ「今日、何する？ －カメレオンに挑戦!! 色でかくれんぼ」	2022年 1月22日(土)	岡本裕子	岡山県博物館協議会	勝央美術文学館

4. ボランティア活動

地域に親しまれる開かれた美術館を目指し、来館者と美術館の橋渡しをするとともに、美術館活動の円滑な運営を目的として、開館以来ボランティア制度を導入している。

昨年度に続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年の事業を実施しない場合が多かった。以下には本年度実施内容を記載する。

4－1　登録者数

93人（2022年3月末時点）

4－2　活動内容

（1）令和3年度　各班の活動内容

班名		内容	日程・担当
当番班		来館者に対する館内施設の案内・誘導、美術館の概要や展示品の解説、新聞の切り抜き等の活動をする。 臨時作業および自主活動としては、展覧会等のポスター・チラシ発送作業、美術館講座等の受付や対応、各種研修やワークショップ、出前講座等のサポートをおこなった。	毎週火－日 16の当番班(各曜日および土日の午前・午後、隔週)の担当者
館事務補助		学芸課の事務補助を中心として、チラシ等の整理、ポスター掲示等の諸作業、新聞切り抜き記事や図書資料情報のPC入力作業等の活動をおこなった。	毎週火－日 曜日毎の担当者
専門班	図書整理班	館の購入本や他館からの寄贈本・ビデオ等の登録をし、さらに登録済みや閲覧済みの図書を書庫に収納した。	月1回程度
	資料整理班	当番班による切り抜きと館事務補助によるPC入力が済んだ新聞記事を整理・分類し、スクラップブックに貼付し保管した。	月1回程度

（2）令和3年度　研修等

研修名	内容	日程・回数
新人研修	第35期新人ボランティアを対象とした、美術館ボランティアにとって必要なことを考え、理解してもらうための事前研修。	1月16日(日)、30日(日)、2月13日(日)、20日(日)、3月6日(日)、12日(土)の計6回

（3）令和3年度　ボランティア代表者会議、総会、懇親会

会名	内容	対象	日程・回数
ボランティア代表者会議	当月の活動内容を確認、先月の反省などを話し合った。	各当番班、専門班からの代表者各1名(計約20名)	毎月中旬
ボランティア総会	本年度の報告や議題をまとめ、館員とボランティアとの意見交換をおこなった。また、館員から次年度の事業説明をおこなった。	全ボランティアおよび当館学芸課、総務課	3月12日(土)

5. ホールイベント実施状況

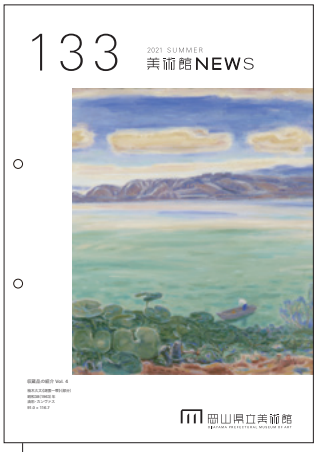
月　日	曜日	催物	演題〔演目〕	講師・出演者	主催者
4月 2日	金	コンサート	ザ・シルキーファイブコンサート2021 岡山公演	ザ・シルキーファイブ	(株)グローバル
4月27日	火	講演	第15回岡山県 「内田百閒文学賞」表彰式及び座談会	審査員・受賞者　ほか	岡山県・(公財)岡山県郷土文化財団
4月29日	木・祝	コンサート	ジュピーの会ピアノ発表会	会員	ジュピーの会
6月26日	土	講演	鼎談「玉島と柚木家三代の絵画」	当館顧問　鍵岡正謹、 当館学芸員　橋村直樹、 当館学芸員　八田真理子	岡山県立美術館
7月 3日	土	コンサート	エレクトーン個人発表会準備	会員	㈱ヤマハミュージックリテイリング ミュージックセンター
7月 4日	日	コンサート	エレクトーン個人発表会	会員	㈱ヤマハミュージックリテイリング ミュージックセンター
7月10日	土	講演	「ヨーロッパ絵画400年の旅」記念講演会 「名画を旅する90分」	東京富士美術館館長　五木田 聡	岡山県立美術館
7月11日	日	コンサート	佐藤ピアノ教室発表会	会員	佐藤ピアノ教室
7月17日	土	コンサート	ピティナピアノステップ岡山夏季	会員	全日本ピアノ指導者協会おかやま 白桃ステーション
7月18日	日	コンサート	第27回ピアノコンサート	会員	近藤直子
7月22日	木・祝	コンサート	ピアノ発表会	会員	安東雅子
7月23日	金・祝	コンサート	ヤマハ　ピアノ個人発表会	会員	㈱ヤマハミュージックリテイリング ミュージックセンター
7月24日	土	コンサート	ヤマハ　ピアノ個人発表会	会員	㈱ヤマハミュージックリテイリング ミュージックセンター
7月25日	日	コンサート	ヤマハ　ピアノ個人発表会・ ヤマハジュニアピアノコンクール 岡山大会	会員	㈱ヤマハミュージックリテイリング ミュージックセンター
7月26日	月	コンサート	ヤマハ　ジュニアピアノコンクール 岡山大会	会員	㈱ヤマハミュージックリテイリング ミュージックセンター
7月27日	火	コンサート	ヤマハ　ピアノ個人発表会	会員	㈱ヤマハミュージックリテイリング ミュージックセンター
7月31日	土	コンサート	外山啓介オール・ベートーヴェン ピ アノ・リサイタル	外山啓介	岡山音協
8月 1日	日	コンサート	ピアノ発表会	会員	宮本裕美子
8月 7日	土	コンサート	ベーテン音楽コンクール	会員	ベーテン音楽協会
8月 8日	日・祝	コンサート	Coba solo tour 2021 the Accordion	coba	岡山音協
8月 9日	月・振休	コンサート	ピアノリサイタル	木口雄人	㈱セレーノ・ミュージック エンタープライズ
8月10日	火	その他	映画撮影	監督・脚本　小林啓一	(株)トライアムズ

月　日	曜日	催物	演題〔演目〕	講師・出演者	主催者
8月22日	日	コンサート	ベーテン音楽協会コンクール	会員	ベーテン音楽協会
8月31日	火	コンサート	音楽科研修旅行演奏会　岡山公演	西宮高等学校生徒	兵庫県立西宮高等学校
9月12日	日	コンサート	ピアノ発表会	会員	長尾綾子
9月14日	火	コンサート	「植田あゆみ」コンサートツアー	植田あゆみ	福武義修
9月25日	土	その他	中学校教育研究会英語部会　学習発表会	生徒	中学校教育研究会 英語部会　岡山支部
9月26日	日	コンサート	ピアノ発表会	会員	小川ピアノ教室
10月 2日	土	講演	草間喆雄展関連事業・対談 「草間喆雄とその時代」	草間喆雄、辻喜代治　ほか	岡山県立美術館
10月 3日	日	講演	草間喆雄展関連事業・鼎談 「伝統工芸←染色→現代造形」	草間喆雄、森口邦彦、 辻喜代治　ほか	岡山県立美術館
10月16日	土	コンサート	岡フィル街角コンサート (荘村清志ギター演奏)	荘村清志	岡山県立美術館
11月 3日	水･祝	講演	星野道夫記念講演会 「悠久の時を旅する 星野道夫が見続けた風景をたどって」	星野道夫事務所代表 星野直子	岡山県立美術館
11月 6日	土	コンサート	ベーテン音楽協会コンクール	会員	ベーテン音楽協会
11月 7日	日	コンサート	ベーテン音楽協会コンクール	会員	ベーテン音楽協会
11月14日	日	コンサート	音楽会（ピアノ発表会）	会員	猪木美佐江
11月20日	土	講演	特別作品解説会(陶芸) 「伝統工芸に親しむ」	重要無形文化財保持者・ 本展鑑査委員　福島善三、 備前焼作家　隠﨑隆一	岡山県立美術館
11月21日	日	その他	合唱練習	Combinir di Corista.	尾門京
11月27日	土	コンサート	大宮エリー×こやまよしこ ライブペインティングコンサート 『みずかがみのうた』	大宮エリー、こやまよしこ	㈱サウンド・スケッチ
12月 5日	日	コンサート	ピアノ発表会	会員	宗政亜津子
12月11日	土	その他	第26回　岡山県中学校総合文化祭 (中学生音楽発表会)	生徒	岡山県中学校文化連盟
12月15日	水	その他	第5回 古代歴史文化協議会講演会 「刀剣からみた地域間関係」収録のため	明治大学教授 石川日出志　ほか	岡山県古代吉備文化財センター
12月17日	金	コンサート	囃子　桜友会別会　冬の会　準備	会員	囃子　桜友会
12月18日	土	コンサート	囃子　桜友会別会　冬の会	会員	囃子　桜友会

月　日	曜日	催物	演題〔演目〕	講師・出演者	主催者
12月19日	日	コンサート	砂崎知子箏 クリスマスコンサート in 岡山	会員	箏道音楽院
12月26日	日	コンサート	ピアノ・フルート発表会	会員	古賀久枝
2022年 3月 5日	土	コンサート	第21回道コンサート（箏曲）準備	会員	箏曲三上社歌美会　道の会
3月 6日	日	コンサート	第21回道コンサート（箏曲）	会員	箏曲三上社歌美会　道の会
3月 9日	水	その他	岡山県内文化関係 公益法人等情報交換会	会員	公益社団法人　岡山県文化連盟
3月12日	土	その他	ボランティア総会	岡山県立美術館 ボランティア　ほか	岡山県立美術館
3月12日	土	コンサート	発表会　スプリングコンサート2022	会員	音楽教室 － l'arte － ラルテ
3月13日	日	コンサート	ミュゼット発表会	会員	ミュゼットの会
3月19日	土	その他	落語会　おかやま南光亭	桂南光　ほか	㈱米朝事務所
3月20日	日	コンサート	第40回　卒業記念演奏会	会員	才能教育研究会　中四国地区 岡山ブロック
3月21日	月･祝	コンサート	柿内美緒オカリーナリサイタル2022	柿内美緒	㈱スタジオ・フィアート
3月26日	土	コンサート	第47回　国立音楽大学 フレッシュコンサート	会員	国立音楽大学岡山県同調会
3月27日	日	コンサート	岡山芳泉高等学校管弦楽部 スプリングコンサート	岡山芳泉高等学校　生徒	岡山県立岡山芳泉高等学校

6. 刊行物

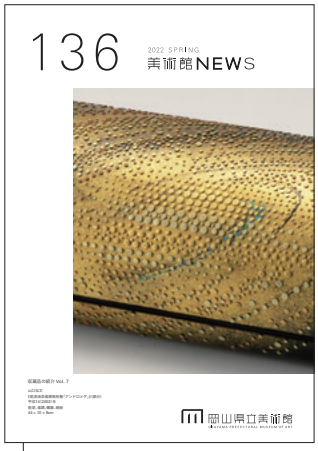
（1）美術館ニュース



第133号（2021年6月発行）
- 表紙「収蔵品の紹介vol.4」
- 絵画を読み解く－聖書主題と予型論　橋村直樹（学芸員）
- Museum×大学
  －美術とダンスが出合った－　岡村裕子（主任学芸員）
- 岡山県博物館協議会創立30周年を迎えて　福冨幸（学芸課長）
- 新収蔵品紹介　File19
  炭田紗季《あの蓮池ならすぽんとはまってみる》
  中桐聡美（学芸員）
- 展覧会スケジュール
- 館長コラム　長い道のり？　守安收（館長）
- 編集後記　　中西ひかる

第134号（2021年9月発行）
- 表紙「収蔵品の紹介vol.5」
- 星野道夫 時間へのまなざし　八田真理子（学芸員）
- 草間喆雄 美しき色彩のコンポジション
  福冨幸（学芸課長）
- 待つこころ「I氏賞受賞作家展」延期のお知らせ
  古川文子（学芸員）
- 「蕙斎と耳鳥斎」略画と戯画のコラボレーション
  中村麻里子（副管理者）
- 展覧会スケジュール
- 館長コラム　五輪競技を楽しみながら　守安收（館長）
- 編集後記　中西ひかる

第135号（2021年12月発行）
- 表紙「収蔵品の紹介vol.6」
- 紅児会のころ―「伊豆市所蔵近代日本画展」の背景
  鈴木恒志（学芸員）
- 2022年度の特集、佐藤一章展に向けて　廣瀬就久（主任学芸員）
- Museum×大学―地域社会と博物館（美術館）
  岡本裕子（主任学芸員）
- 新収蔵品紹介　File20
  兼行誠吾《光の帯 Collapse》　古川文子（学芸員）
- 展覧会スケジュール
- 館長コラム　紅葉狩り　守安收（館長）
- 編集後記　中西ひかる



第136号（2022年3月発行）
- 表紙「収蔵品の紹介vol.7」
- 高橋秋華　中村麻里子（副管理者）
- 原田直次郎《素戔嗚尊八岐大蛇退治画稿》再考
  橋村直樹（学芸員）
- 図案日誌　福冨幸（学芸課長）
- 塩出英雄の画業―生誕110年を迎えて―
  鈴木恒志（学芸員）
- 展覧会スケジュール
- 館長コラム　この1年　守安收（館長）
- 編集後記　中西ひかる

（2）館内配布用展覧会スケジュール

内　　容　展覧会スケジュール（2021年7月時点最新）
版型サイズ　A6（両面印刷）
発　　行　2021年7月

内　　容　展覧会スケジュール（2021年12月時点最新）
版型サイズ　A6（両面印刷）
発　　行　2021年12月

内　　容　展覧会スケジュール（2022年4月時点最新）
版型サイズ　A5（両面印刷）
発　　行　2022年4月

（3）岡山県立美術館 紀要

第12号
内　　容　橋村直樹
坂田一男研究―1936年の2冊の画帖について
中村麻里子
高橋秋華の画業について―年記のある作品を中心に
古川文子
飯塚竹斎の作品と記録資料―天保期を中心に
版型サイズ　A4（38ページ）
発　　行　令和4年3月31日

施設・設備の概要

1. 建物の概要

設置場所　岡山市北区天神町8番48号

設　　計　㈱岡田新一設計事務所

構　　造　鉄筋コンクリート造り　地上3階
　　地下2階

敷地面積　8,158㎡（土光敏夫先生記念苑を含む）

建築面積　3,721㎡

延床面積　14,269㎡（駐車場　2,061㎡を含む）

仕 上 げ　〈外装〉外壁　花崗岩及び磁器タイル張り
　　屋根　アスファルト・コンクリート押え
　　〈内装〉床　花崗岩及びじゅうたん張り
　　壁　花崗岩、磁器タイル及びクロス張り
　　天井　岩棉吸音板、スティールネットパネル及びクロス張り

2. 設備の概要

［電気設備］

引　　込　6.6KV　3相3W ループ回線地中引込（1回線）

受変電設備　受電電圧　6.6KV　60Hz
　　変圧器総容量　2,175KVA
　　契約電力　700KW

発電設備　空冷型ガスタービン機関（低騒音型）480PS・1,800rpm
　　出力　400KVA　3相3W　6.6KV

蓄電池設備　キュービクル式直流電源装置（HS－300E）

弱電設備　舞台調光、舞台音響、映像資料（ビデオ、映画16㎜）、構内交換設備、放送、電気時計、
　　テレビ共聴、駐車場管制

防災・防犯設備　警備センター集中監視
　　自火報、防翌煙複合盤（地図式表示盤）、防犯非常錠制御盤、防災アンプ（360W）、ITV監視装置

［空気調和設備］

熱　源　機　器　24時間系統　冷温水同時取出型熱回収式空冷ヒートポンプチラー 1台

冷却能力　118KW

加熱能力　140KW

8時間系統　空気熱源氷蓄熱システム（ブライン内融型）ヒートポンプチラー 3台

冷却能力　230KW

加熱能力　228KW

製氷蓄熱能力　205KW

蓄熱容量　6,328MJ

空 気 調 和 機　24時間系統　収蔵庫4系統、展示ケース1系統

一 般 系 統　屋内広場　空気床暖房併用型1系統

ホ ー ル　空気床暖房床吹出型1系統

展示室4系統、その他3系統

排　煙　室　展示系統、ホール系統　2系統1台

［ 衛 生 設 備 ］

給　水　設　備　上水受水槽　12㎥

上水副受水槽　2㎥

雑用水受水槽　97.9㎥

排　水　設　備　屋内：汚水、雑排水分流方式

屋外：汚水、雑排水分流方式

［昇 降 機 設 備］

乗　用　油圧式　11人乗　750kg（1基）

（車椅子兼用）　インバーター制御方式　13人乗　900kg（1基）

荷　物　用　油圧式　1,900kg　（1基）

交流2段歯車方式　4,000kg（1基）

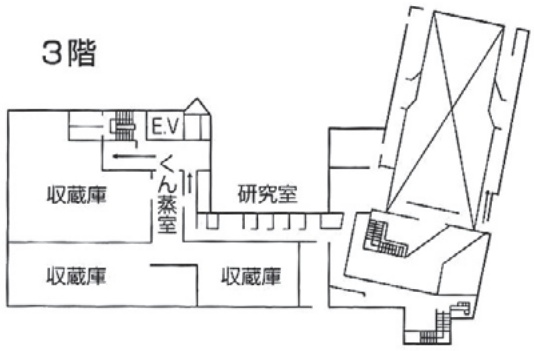
［ 消 火 設 備 ］

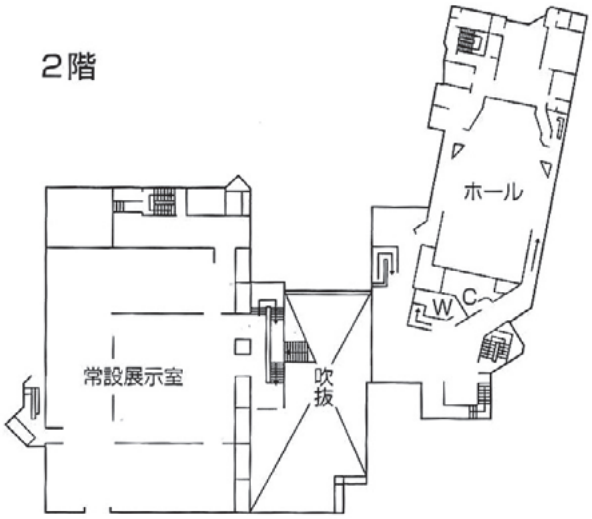
展示室・収蔵庫　ハロン消火設備

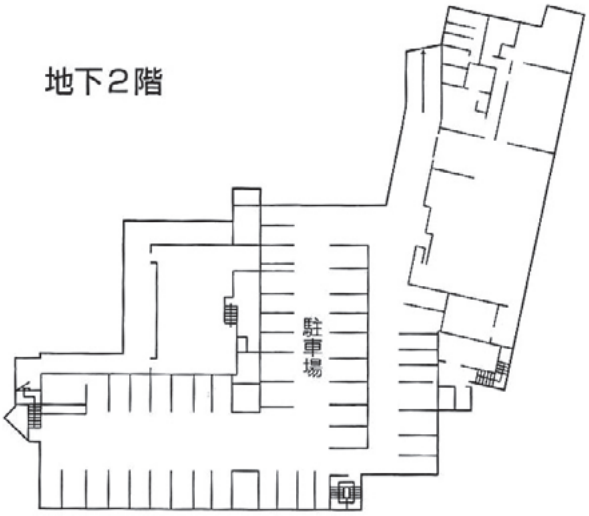
その他　泡消火設備、スプリンクラー消火設備、予作動式スプリンクラー消火設備、連結散水設備、連結送水管設備、屋内消火栓設備

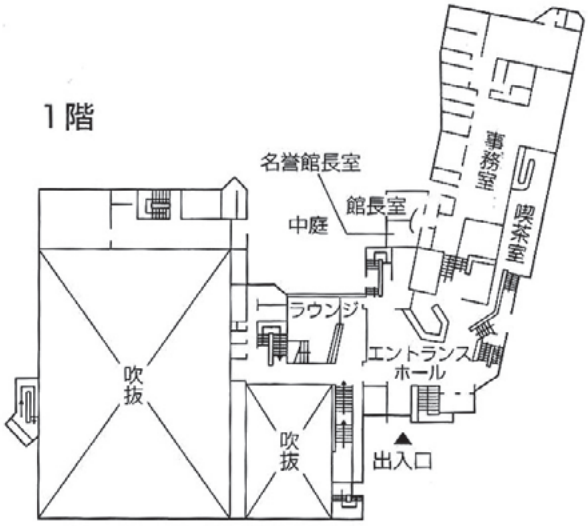
3. 建物の平面図

地下１階
防災センター
駐車場入口
研修室
荷解室
写真室
収蔵庫
ホワイエ
企画展示室
屋内広場
講義室
ビデオコーナー


３階
E.V
収蔵庫
くん蒸室
研究室
収蔵庫
収蔵庫


２階
ホール
W
C
常設展示室
吹抜


地下２階
駐車場

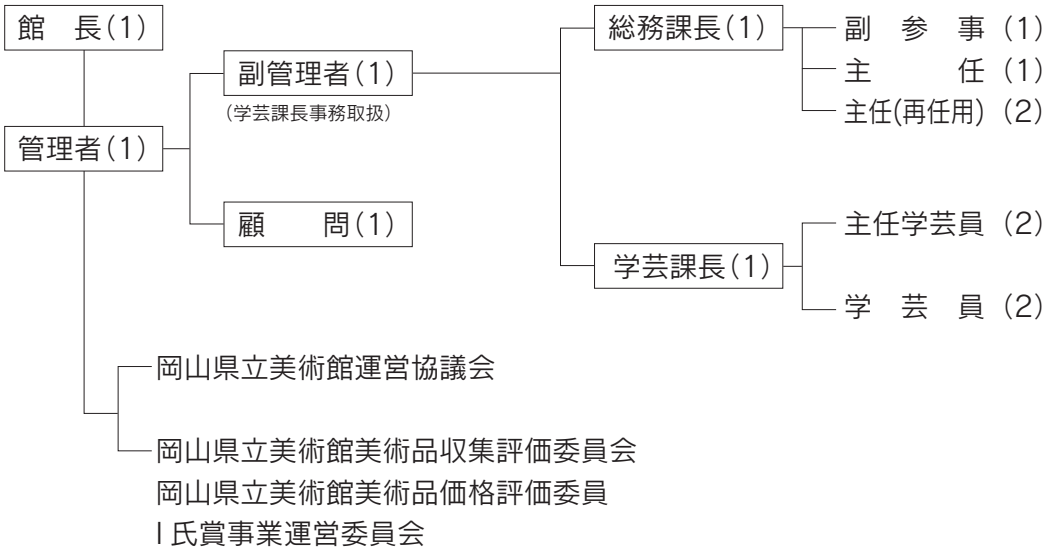

１階
事務室
名誉館長室
館長室
中庭
喫茶室
ラウンジ
エントランスホール
吹抜
吹抜
出入口

4. 部門・室別面積表

部門	室名	面積（㎡）
展示	常設展示室	1,184
	企画展示室	1,184
	サービススペース	322
	屋内広場など	811
	計	3,501
収蔵	収蔵庫（＋前室）	1,107
	くん蒸室	24
	搬入荷解室など	719
	写真室など	102
	計	1,952
普及・教育	講義室	136
	研修室	121
	ビデオコーナー	54
	計	311
調査・研究	学芸員室	128
	研究室	89
	書庫	43
	計	260
ホール	客室	326
	ステージ（＋袖）	155
	楽屋	24
	グリーンルーム	159
	ホワイエ（ラウンジ）	352
	化粧室（客用）	77
	映写室など	265
	計	1,358
管理	名誉館長室	31
	館長室	30
	事務室（＋会議室など）	188
	休憩室（宿直室）	28
	ロッカー室	20
	防災センター	37
	中央監視室	75
	計	409
共用	エントランスホール	215
	アートショップ	50
	情報コーナー	24
	ホワイエ	218
	ロッカー室	26
	喫茶室	115
	機械室	1,535
	廊下・倉庫など	2,234
	計	4,417
駐車場		2,061
合計		**14,269**

組織及び職員構成

1. 組織図 (R4. 4. 1)



非常勤（館長）	1
非常勤（顧問）	1
正規職員	12
会計年度任用職員（学芸員）	4
会計年度任用職員（受付）	5
会計年度任用職員（魅力発信スタッフ）	1
計	24

2. 職員名簿

〈R3.4.1〉

館　　長	守安　　收
管　理　者	岡部　　誠
副 管 理 者	中村麻里子
顧　　問	鍵岡　正謹

【総務課】

総務課長	渡辺　　健
副　参　事	宮野重由紀
主　　任	谷本　英治
主　　任	野崎　敏彦
主　　任	藤澤　正治
会計年度任用職員（総合受付）	眞鍋　淑子
会計年度任用職員（総合受付）	臼井ちあき
会計年度任用職員（総合受付）	渡邉　恵子
会計年度任用職員（総合受付）	河田亜由美

【学芸課】

学芸課長	福冨　　幸
主任学芸員	岡本　裕子
主任学芸員	廣瀬　就久
学　芸　員	橋村　直樹
学　芸　員	八田真理子
会計年度任用職員（学芸員）	鈴木　恒志
会計年度任用職員（学芸員）	中桐　聡美
I氏賞専任職員（学芸員）	古川　文子
会計年度任用職員（魅力発信スタッフ）	中西ひかる

計22名

〈R4.4.1〉

館　　長	守安　　收
管　理　者	平井　哲哉
副 管 理 者 （学芸課長事務取扱）	福冨　　幸
顧　　問	鍵岡　正謹

【総務課】

総務課長	渡辺　　健
主　　任	谷本　英治
主　　事	岡﨑　百花
主　　任	野崎　敏彦
主　　任	藤澤　正治
会計年度任用職員（総合受付）	眞鍋　淑子
会計年度任用職員（総合受付）	臼井ちあき
会計年度任用職員（総合受付）	渡邉　恵子
会計年度任用職員（総合受付）	河田亜由美
会計年度任用職員（総合受付）	小野　桃子

【学芸課】

副管理者　学芸課長事務取扱	福冨　　幸
主任学芸員	岡本　裕子
主任学芸員	廣瀬　就久
学　芸　員	橋村　直樹
学　芸　員	橘　　凜
学　芸　員	森田　詩織
会計年度任用職員（学芸員）	鈴木　恒志
会計年度任用職員（学芸員）	中桐　聡美
会計年度任用職員（学芸員）	洪　　性孝
I氏賞専任職員（学芸員）	古川　文子
会計年度任用職員（魅力発信スタッフ）	中西ひかる

計24名

付録　新収蔵作品

令和3年度寄贈品一覧

番号	分野	作家名	作品名	制作年代	材質技法	員数	ほか
1	工芸	小椋六助	大盆	昭和時代	栃	1点	他4件
2	工芸	小川一洋	栗拭漆象嵌箱	平成時代	栗、黒柿、指物	1点	他2件
3	工芸	平田郷陽	子雀	昭和時代	木彫、布着せ	1点	他1件 (香取正彦･金工)
4	工芸	古備前	大釣鍋	江戸時代	備前焼	1点	
5	古書画・日本画	森安石象	林和靖図	大正－昭和時代	絹本着色	2曲1隻	
6	古書画・日本画	浦上春琴	山水花鳥押絵貼屏風	文政5(1822)年	紙本淡彩	6曲1双	
7	古書画・日本画	鳥越煙村 他3件	山水図	江戸時代後期	紙本墨画淡彩	6曲1双	他3件
8	古書画・日本画	伊藤花竹	桜花小禽図	嘉永3(1850)年	紙本墨画	1幅	他19件
9	古書画・日本画	西晴雲	山水図	20世紀	紙本着色	1幅	
10	古書画・日本画	浦上玉堂	山雨染衣図	江戸時代後期 (19世紀)	紙本墨画淡彩	1幅	他作品43件資料 11件　計55件
11	洋画	赤松麟作	舞妓	昭和12(1937)年	油彩、キャンバス	1面	
12	洋画	岡崎信吾	赤い扉	昭和50(1975)年	油彩、キャンバス	1面	
13	洋画	小野絵麻	裏道がお好き	昭和52(1977)年	油彩･アクリル絵具、 キャンバス	1面	
14	洋画	小野二三	誕生の詩	昭和49(1974)年	油彩、ボード	1面	
15	洋画	宮忠子	白いたおやなか枯木	昭和51(1976)年	墨、麻紙	1面	
16	洋画	赤木曄児郎	15区のシナゴーグ	昭和52(1977)年	油彩	1面	他油彩1点 水彩9点 計11点
	合計						109点

令和3年度購入品一覧

番号	分野	作家名	作品名	制作年代	材質技法	員数	ほか
1	洋画	松井えり菜	草上のきびだんご 他1点	令和2(2020)年	紙に墨、 水彩絵の具	2点	
2	洋画	草間喆雄	Horizon-1	平成22(2010)年	二重織	1件3点	
	合計						5点

岡山県立美術館
令和３年度　年報
発　　行　岡山県立美術館
岡山市北区天神町８－48
TEL（086）225-4800
印刷製本　株式会社中野コロタイプ
令和4年7月22日発行